

# 業 務 概 況

令 和 2 年 度

福 島 県 県 南 保 健 福 祉 事 務 所



## はじめに

人口の減少や少子高齢社会の進行、生活環境の変化等による慢性疾患の増加など、保健・医療・福祉を取巻く状況は大きく変化しています。特に本県においては、東日本大震災及び原子力災害の影響による生活習慣の変化等により、県民の健康指標の悪化が懸念されております。

また、今年に入り、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、国内においても全国的に感染者が報告され、緊急事態宣言の発令や「新しい生活様式」が求められるなど、生活や経済活動にも甚大な影響を及ぼしており、県民の健康や安心・安全に関する関心は一層高まっています。

県南保健福祉事務所では、本県の保健・医療・福祉施策の方向性を示す「福島県保健医療福祉復興ビジョン」が平成25年3月に策定されたことに合わせ、平成25年度から平成32年度までを計画期間とした「県南地域保健医療福祉推進計画」を策定し、これら計画に基づき、住民の方々が健康で安心して暮らせるよう、管内市町村や被災市町村を始め関係機関・団体と連携し、地域の特性を踏まえた施策を重点的に実施しているところです。

また、新型コロナウイルス感染症対策につきましても、市町村を始め、医療機関や福祉施設、消防など、関係機関の皆様と連携しながら取り組んでまいります。

本書は、当事務所の令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画等を中心に、県南地域における保健・医療・福祉の現状について取りまとめたものです。

県南地域の保健・医療・福祉に関する参考資料として、多くの方々に御利用いただくとともに、当事務所が実施する事業等に対し、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

令和 2 年 1 0 月

福島県県南保健福祉事務所長 河 原 啓 二



# 目 次

	頁
<b>第1章 概況</b>	
<b>I 県南地域の概況</b>	
地域の特性 .....	1
<b>II 県南保健福祉事務所の概況</b>	
1 沿革 .....	3
2 組織機構図 .....	4
3 職員の配置状況 .....	5
<b>III 人口動態</b>	
1 人口動態の推移 .....	6
2 県南地域の死因の推移 .....	9
3 市町村別標準化死亡率（SMR） .....	10
4 死亡数（選択死因・市町村別） .....	12
5 市町村別悪性新生物部位別死亡率（人口10万対） .....	14
6 病類別生活習慣病死亡率（人口10万対）及び割合（%） 県南・県・国比較 .....	15
<b>第2章 令和2年度事業計画</b>	
<b>I 令和2年度県南保健福祉事務所の基本方針及び重点施策</b> .....	17
<b>II 令和2年度主要事業計画</b> .....	22
<b>第3章 令和元年度（平成31年度）事業実績</b>	
<b>令和元年度（平成31年度）県南保健福祉事務所事業体系</b> .....	33
<b>I 復興へ向けた保健・医療・福祉の推進</b>	
I-1 復興へ向けた心身の健康管理対策の推進 .....	35
I-2 県産加工食品の安全性の確保 .....	36
<b>II 全国に誇れる健康長寿の県づくり</b>	
II-1 健康づくり県民運動の推進と健康づくり体制の整備 .....	36
II-2 生活習慣病等対策の推進 .....	42
II-3 地域包括ケアシステムの深化と推進 .....	48
II-4 健全な食生活を育むための食育の推進 .....	49
<b>III 地域医療の推進</b>	
III-1 医療従事者等の確保と資質の向上 .....	49
III-2 安全・安心な医療サービスの確保 .....	50
III-3 感染症対策の推進 .....	57
<b>IV 日本一安心して子どもを産み育てられる環境づくり</b>	
IV-1 子育て支援サービスの充実 .....	64
IV-2 思春期保健対策の推進 .....	69

IV-3	青少年の健全育成を推進するための社会環境の整備	69
<b>V ともにいきいき暮らせる福祉社会の推進</b>		
V-1	高齢者を対象とした介護・福祉サービスの充実	70
V-2	障がいのある方の地域生活への移行支援	74
V-3	生活支援の充実	82
<b>VI 誰もが安全で安心できる生活の確保</b>		
VI-1	生活衛生関係営業施設の衛生水準の維持向上	87
VI-2	安全な水の安定的な供給	89
VI-3	食品等の安全性の確保	91
VI-4	健康危機管理体制の強化	93
VI-5	災害時の保健医療福祉体制の強化	94
<b>各種参照表</b>		
	参照表目次	95
	各種参照表	97

所 在 地

# 第 1 章

# 概 況





# I 県南地域の概況

## 地域の特性

### (1) 地勢

県南地域は、福島県中通り地方の南部に位置し、栃木、茨城の両県に接し、白河市（平成17年11月7日、白河市、表郷村、東村、大信村が合併）、西白河郡及び東白川郡の1市4町4村からなり、その面積は1,233.07 km<sup>2</sup>と県土の8.9%を占めています。

東部に阿武隈山系、西部に奥羽山系、南部に八溝山系があり、地域のほぼ中央を北に流れる阿武隈川と、南東に流れる久慈川の各流域に沿って田園が広がり、清流と緑豊かな美しい源流の郷であります。

気候は、西白河地方は比較的冷涼で、降雨量が多いのに対し、東白川地方は温暖で積雪も少ないのが特徴です。

東北自動車道、国道4号、東北新幹線、東北本線という東日本の大動脈上に位置し、さらに、あぶくま高原道路が平成23年3月に全線開通したことで東北自動車道の矢吹ICと磐越自動車道の小野ICが結ばれ、高速交通体系が一段と充実しました。

また、国道289号の甲子トンネルの開通で幹線交通網の整備が進みました。

### (2) 人口

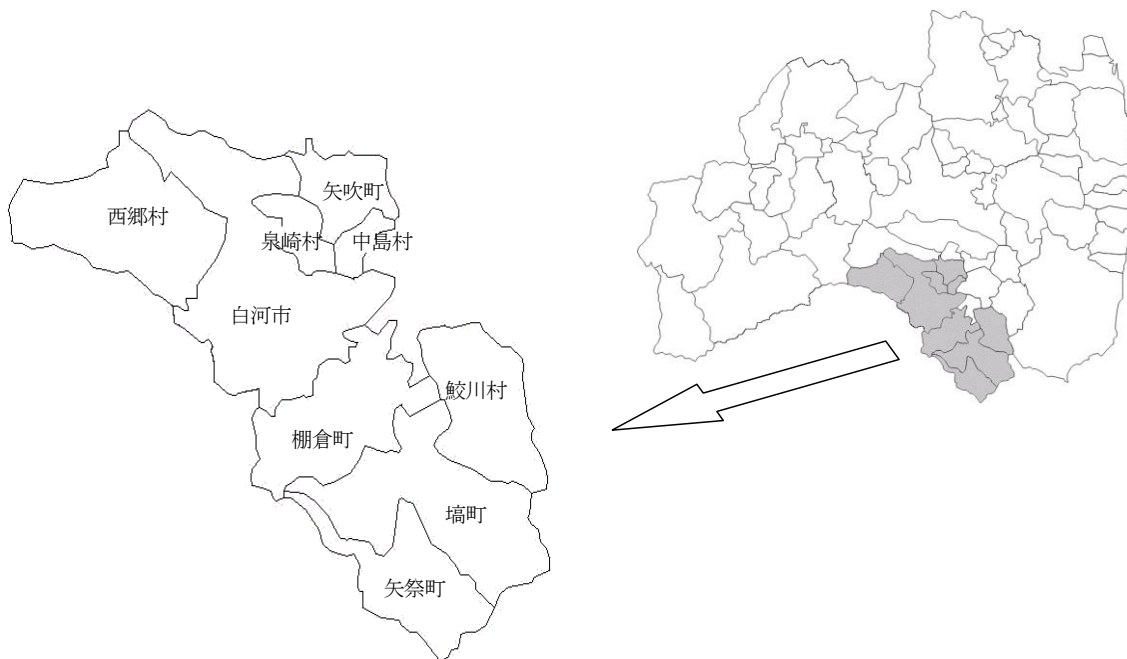
人口は、平成31年4月1日現在で139,210人と県全体1,848,618人の7.5%を占めています。年齢別では、年少人口比率が12.5%と県平均の11.6%より高く、また、老年人口比率は30.3%と県平均の31.3%より低くなっています。

人口の推移を平成31年4月1日現在と平成30年3月1日の比較で見ると、県南地域の人口の減少率1.30%は県全体の減少率1.38%より低くなっています。

### (3) 産業

産業は、白河市及び西白河郡では、電気、機械等の製造業を中心とした企業の立地や各種サービス産業の拡大により、第2次産業や第3次産業の占める割合が高くなっています。一方、東白川郡では、米、畜産、こんにゃく、久慈スギなどの特産物を中心とした農業や林業及び関連地場産業を基幹として発展してきましたが、今日では機械等の製造業が地域経済を牽引しています。

県南地域は、みちのくの玄関口として首都圏に隣接するという地理的優位性を有しており、幹線交通網の整備伸展に伴い、新たな発展の可能性がますます高まっています。



管内市町村の概況（平成31年4月1日）

区分	面積 (Km <sup>2</sup> )	世帯数 (世帯)	人口 (人)	人口密度 (人/Km <sup>2</sup> )	年齢別人口構成比 (%)			
					年少人口 0～14	生産年齢人 口	老年人口 65歳以上	
白河市	305.32	23,250	59,887	196.1	12.5	58.3	29.2	
西白河郡	西郷村	192.06	7,838	20,399	106.2	13.8	60.9	25.3
	泉崎村	35.43	2,154	6,263	176.8	12.8	56.3	30.9
	中島村	18.92	1,465	4,849	256.3	13.1	57.6	29.3
	矢吹町	60.40	5,984	16,987	281.2	12.4	56.4	31.2
	計	306.80	17,441	48,498	158.1	13.1	58.4	28.5
東白川郡	棚倉町	159.93	4,798	13,658	85.4	12.7	56.3	31.0
	矢祭町	118.27	1,916	5,560	47.0	11.3	50.4	38.3
	塙町	211.41	2,980	8,463	40.0	10.8	51.4	37.8
	鮫川村	131.34	1,010	3,144	23.9	10.9	50.3	38.8
	計	620.95	10,704	30,825	49.6	11.8	53.3	35.0
県南地域計	1,233.07	51,395	139,210	112.9	12.5	57.2	30.3	
福島県	13,783.90	748,247	1,848,618	134.1	11.6	57.1	31.3	

※注 調査期日は、「面積」がH30.10.1その他の項目がH31.4.1である。  
〔出典：全国都道府県市区町別村面積調、福島県の推計人口〕

管内市町村の概況（平成30年3月1日）

区分	面積 (Km <sup>2</sup> )	世帯数 (世帯)	人口 (人)	人口密度 (人/Km <sup>2</sup> )	年齢別人口構成比 (%)			
					年少人口 0～14	生産年齢人 口	老年人口 65歳以上	
白河市	305.32	23,067	60,595	198.5	12.7	58.9	28.4	
西白河郡	西郷村	192.06	7,763	20,420	106.3	13.7	62.0	24.3
	泉崎村	35.43	2,131	6,360	179.5	12.8	57.5	29.7
	中島村	18.92	1,444	4,938	261.0	13.3	58.4	28.3
	矢吹町	60.40	5,918	17,145	283.9	12.4	57.1	30.5
	計	306.80	17,256	48,863	159.3	13.1	59.3	27.6
東白川郡	棚倉町	159.93	4,756	13,852	86.6	13.1	56.5	30.4
	矢祭町	118.27	1,889	5,683	48.1	11.3	51.5	37.2
	塙町	211.41	3,019	8,756	41.4	11.1	52.7	36.2
	鮫川村	131.34	1,034	3,284	25.0	11.5	51.5	37.0
	計	620.95	10,698	31,575	50.8	12.0	54.0	33.9
県南地域計	1,233.07	51,021	141,033	114.4	12.7	58.0	29.4	
福島県	13,783.90	745,568	1,874,232	136.0	11.8	57.7	30.5	

※注 調査期日は、「面積」がH29.10.1その他の項目がH30.3.1である。  
〔出典：全国都道府県市区町別村面積調、福島県の推計人口〕

増減の状況 (H31-H30)

区分	面積 (Km <sup>2</sup> )	世帯数 (世帯)	人口 (人)	人口密度 (人/Km <sup>2</sup> )	年齢別人口構成比 (%)			
					年少人口 0～14歳	生産年齢人口 15～64歳	老年人口 65歳以上	
白河市	0.00	183	△ 708	△ 2.3	△ 0.2	△ 0.6	0.8	
西白河郡	西郷村	0.00	75	△ 21	△ 0.1	0.1	△ 1.1	1.0
	泉崎村	0.00	23	△ 97	△ 2.7	0.0	△ 1.2	1.2
	中島村	0.00	21	△ 89	△ 4.7	△ 0.2	△ 0.8	1.0
	矢吹町	0.00	66	△ 158	△ 2.6	0.0	△ 0.7	0.7
	計	0.00	185	△ 365	△ 1.2	0.0	△ 0.9	0.9
東白川郡	棚倉町	0.00	42	△ 194	△ 1.2	△ 0.4	△ 0.2	0.6
	矢祭町	0.00	27	△ 123	△ 1.0	0.0	△ 1.1	1.1
	塙町	0.00	△ 39	△ 293	△ 1.4	△ 0.3	△ 1.3	1.6
	鮫川村	0.00	△ 24	△ 140	△ 1.1	△ 0.6	△ 1.2	1.8
	計	0.00	6	△ 750	△ 1.2	△ 0.2	△ 0.7	1.1
県南地域計	0.00	374	△ 1823	△ 1.5	△ 0.2	△ 0.8	0.9	
福島県	0.00	2679	△ 25614	△ 1.9	△ 0.2	△ 0.6	0.8	

## II 県南保健福祉事務所の概況

### 1 沿革

県では、保健と福祉の連携を強化し、より良い行政サービスを提供するため、平成14年4月1日に、従来の保健所と社会福祉事務所を統合し、県南保健福祉事務所として再編しました。現在、県南保健福祉事務所は、3部6課7チームと東白川福祉相談コーナーで組織されており、さらに、児童相談体制の充実・強化を図るため、県中児童相談所の白河相談室が事務所内に設置されております。なお、保健福祉事務所は、地域保健法による保健所を兼ねています。

#### ○県南社会福祉事務所

- 昭和26年10月 東白川福祉事務所が東白川郡4町村を福祉地区として、また、西白河福祉事務所が西白河郡7町村を福祉地区として設置されました。
- 昭和44年 4月 行政機構改革に伴い従来の福祉地区が統合され、白河社会福祉事務所が設置されるとともに、出張所として東白川福祉事務所が置かれました。
- 昭和48年 4月 機構改革により、東白川福祉事務所の生活保護現業員が白河社会福祉事務所に配置替えされ、東白川福祉事務所は福祉相談を主たる業務とする事務所となりました。
- 平成 6年 4月 機構改革により、事務所の名称が白河社会福祉事務所から県南社会福祉事務所に変更されました。また、東白川福祉事務所は廃止され、東白川福祉相談コーナーとなりました。

#### ○県南保健所

(旧白河保健所)

- 昭和19年10月 白河市新蔵に元逋信省簡易保険相談所の施設の譲渡を受け、西白河郡一円を所管区域として白河保健所が設置されました。
- 昭和30年 8月 白河市字郭内127番地に新築移転しました。
- 昭和53年 7月 庁舎改築着工に伴い、白河市中町郵便局舎に仮移転しました。
- 昭和54年 7月 RC造3階建て庁舎が落成し、仮移転が解消されました。
- 平成 9年 3月 地域保健法の施行に伴う保健所の再編統合により廃止されました。

(旧棚倉保健所)

- 昭和20年 1月 棚倉町大字棚倉字北町甲146番地に東白川郡及び石川郡一円を所轄地区として棚倉保健所が設置されました。
- 昭和23年 5月 石川保健所の設置に伴い、所管区域が東白川郡棚倉町外10町村となりました。
- 昭和29年 3月 棚倉町北町甲149番地に新築移転しました。
- 昭和58年 3月 棚倉町棚倉字城跡34番地1にRC造2階建て庁舎を新築、移転しました。
- 平成 9年 3月 地域保健法の施行に伴う保健所の再編統合により廃止されました。

(県南保健所)

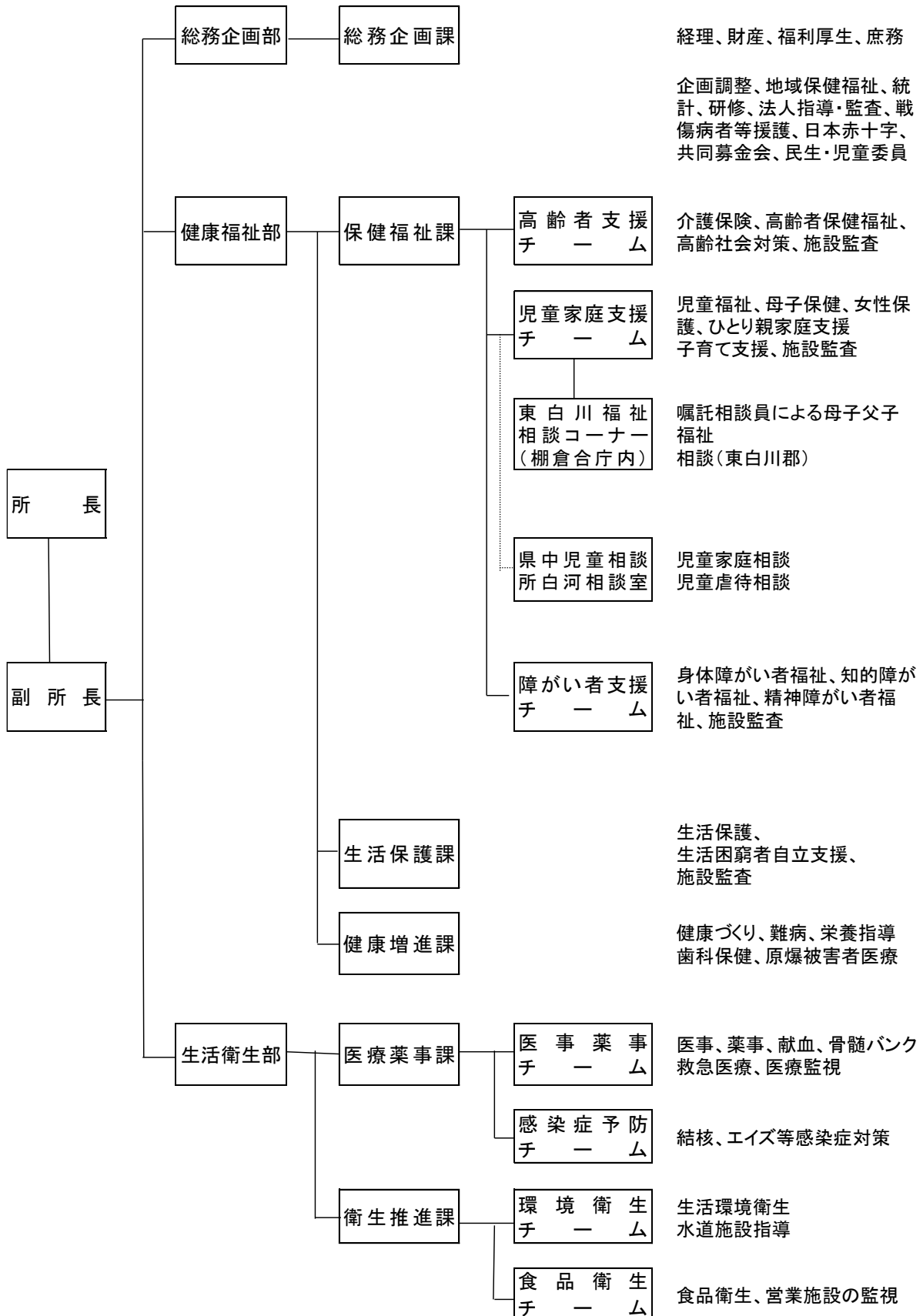
- 平成 9年 4月 地域保健法施行に伴う保健所の再編統合により、白河・棚倉両保健所が統合され、白河市字郭内127番地に新たに県南保健所が、棚倉町棚倉字城跡34番地1に県南保健所棚倉支所が設置されました。
- 平成20年 4月 機構改革により県南保健所棚倉支所が廃止されました。

#### ○県南保健福祉事務所

- 平成14年 4月 社会福祉事務所と保健所の組織統合により、県南保健福祉事務所となりました。
- 平成15年 4月 旧県南保健所庁舎の改修完了に伴い、現在の同一庁舎内組織における執行体制となりました。
- 平成16年 4月 衛生検査体制の再編により、検査部門が衛生研究所県中支所に統合され、衛生推進グループ検査チームが廃止となりました。
- 平成18年 4月 家庭児童相談室は、中央児童相談所白河相談室に統合されました。
- 平成19年 4月 中央児童相談所白河相談室は、県中児童相談所白河相談室となりました。
- 平成20年 4月 県南保健所棚倉支所は、本所と統合されました。
- 平成23年 6月 行政運営体制の再編により、総務課と地域支援課が統合し、総務企画課となりました。
- 平成29年 4月 組織改正により、福島県動物愛護センターが田村郡三春町に設置されたことに伴い、当所で実施していた動物愛護管理業務が移管されました。

## 2 組織機構図

(令和2年4月1日現在)



3 職員の配置状況

(令和2年4月1日)

組織別	職種別	事務 吏員	技 術 支 員									技 能 員	計	嘱 託		
			医 師	獣 医 師	薬 劑 師	線 診 療 技 師 放 射	栄 養 士	齒 科 衛 生 士	保 健 師	技 師	専 門 員			員 力 相 談 員 ・ 支 援 協	運 転 手	
所	長		1										1			
副所長(兼総務企画部長)		1											1			
総務企画部	部長(副所長と兼務)															
	総務企画課	長	1													
		キ ャ ッ プ	2											7		
	課	員	3						1					1	1	
健	部	長	1										1			
康 福 社	副部長(兼健康増進課長)								1				1			
	保 健	課	長	1												
		高支 齡援 者T	キ ャ ッ プ チ ー ム 員	1						1		2				
	福 祉	児家支 童庭T	キ ャ ッ プ	1						1				13		
			チ ー ム 員	1						1				3		
		障い支 が者T	キ ャ ッ プ チ ー ム 員	1						1	1					
	社	生活保護課		長	1											
		キ ャ ッ プ		1										9		
		課		員	4						2	1			4	
	部 生	健康増進課		課長(副部長と兼務)												
キ ャ ッ プ						1						5				
課		員				1	1	2						2		
活 衛 生 部	部		長						1				1			
	副部長(兼衛生推進課長)									1			1			
	医 療 薬 事 課	課		長			1									
		薬 事 T	キ ャ ッ プ													
			チ ー ム 員			3									8	
		感 予 染 防 症 T	キ ャ ッ プ							1						
	チ ー ム 員			1						1		1				
	衛 生 推 進 課	課長(副部長と兼務)														
		環 衛 生 境 T	キ ャ ッ プ			1										
			チ ー ム 員									2			7	
食 衛 生 品 T		キ ャ ッ プ									1					
	チ ー ム 員									3						
本 所 計			19	2	0	5	0	2	1	12	10	4	0	55	10	1
東白川福祉相談コーナー※															1	
白 河 相 談 室 所	県 中 児 童	室	長	(1)									(1)			
		室	員	(2)						(3)			(5)			
		計		(3)						(3)			(6)			
合 計			(3)							(3)			(6)			
合 計			19	2	0	5	0	2	1	12	10	4	0	55	11	1

※東白川福祉相談コーナーには、県南保健福祉事務所の母子・父子自立支援員1人が配置されています。( )内の数字は、県南保健福祉事務所の兼務職員数を表示しています。

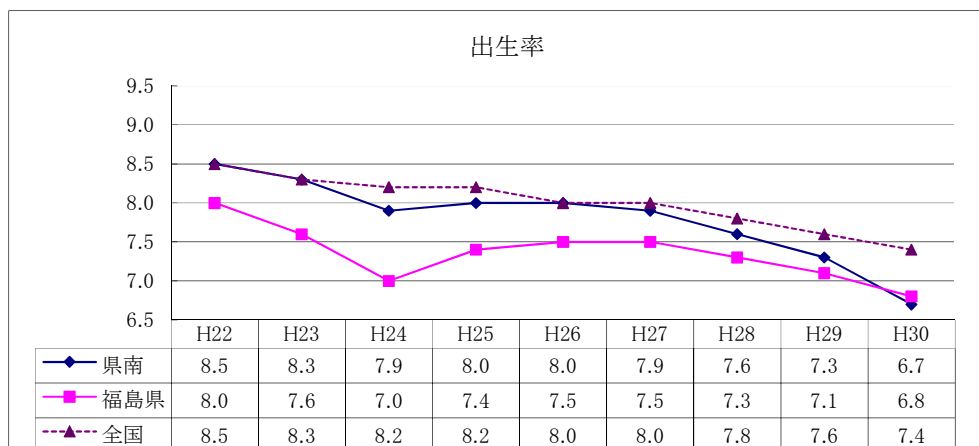
### Ⅲ 人口動態

#### 1 人口動態の推移

##### (1) 出生

平成30年の出生率（人口千対）は、県平均と比較すると0.1ポイント、全国平均より0.7ポイント下回っています。

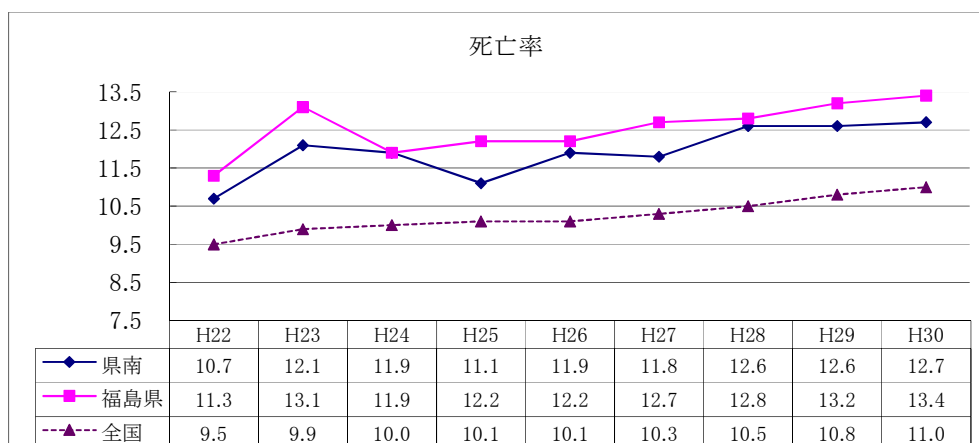
平成22年以降の年次推移をみると、平成22年から増減はあるものの減少傾向にあり、平成22年では、8.5でしたが、平成20年は、平成22年より1.8ポイント減少しています。



##### (2) 死亡

平成30年の死亡率（人口千対）は、12.7と前年より0.1ポイント、県平均より0.7ポイント下回り、全国平均より1.7ポイント上回っています。

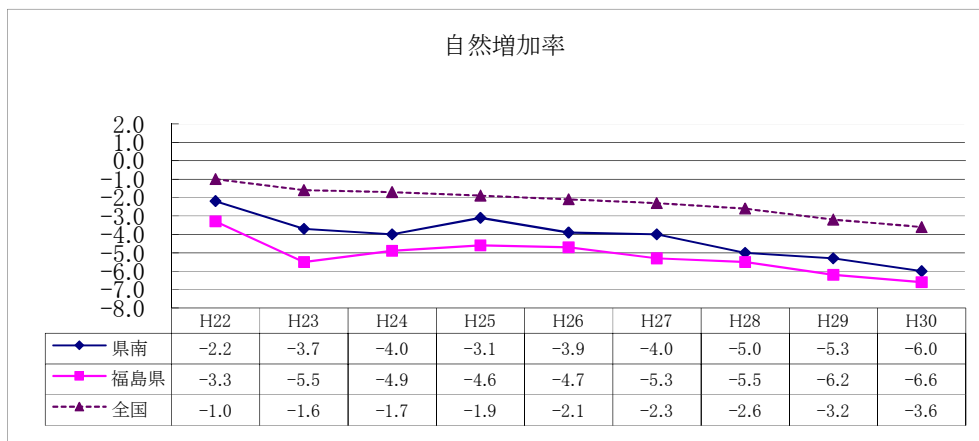
平成22年以降の年次推移をみると、県平均、全国平均は増加傾向にありますが、県南地域では平成24年から減少したものの増加傾向がみられ、平成22年では、10.7でしたが、平成30年は、平成22年より2.0ポイント増加しています。



##### (3) 自然増加

平成30年の自然増加率（人口千対）は、-6.0で前年より0.7ポイント減少し、県平均、全国平均と比較すると、県平均より0.6ポイント上回り、全国平均より2.4ポイント下回っています。

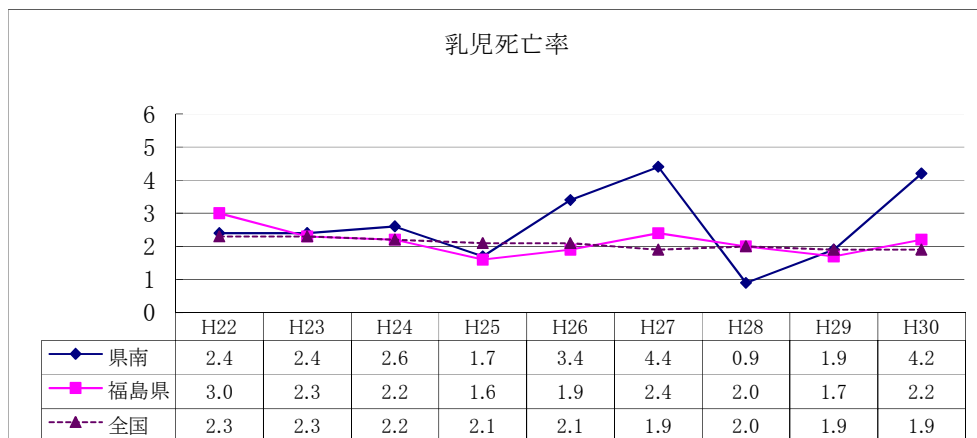
平成22年以降の年次推移をみると、県平均、全国平均と同様に、減少傾向にあり、平成22年では-2.2でしたが、平成30年は、平成22年より3.8ポイント減少しています。



#### (4) 乳児死亡

平成30年の乳児死亡率（出生千対）は、4.2で前年より2.3ポイント、県平均より2.3ポイント、全国平均より2.3ポイント上回っています。

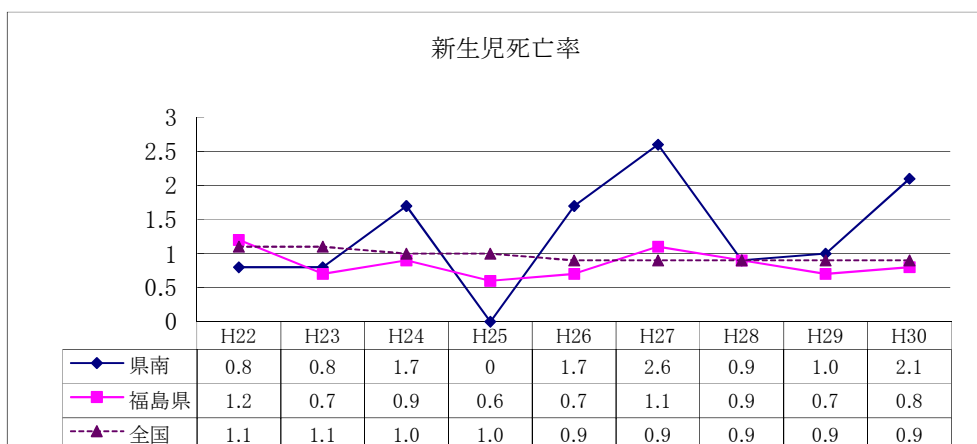
平成22年以降の年次推移をみると、県平均、全国平均を上回った年もあれば、下回った年もあるなど上下の変動幅が大きくなっています。平成22年には2.4でしたが、平成30年は平成22年より1.8ポイント上回っています。



#### (5) 新生児死亡

平成30年の新生児死亡率（出生千対）は、2.1で前年より1.1ポイント上回り、県平均より1.3ポイント、全国平均より1.2ポイント上回っています。

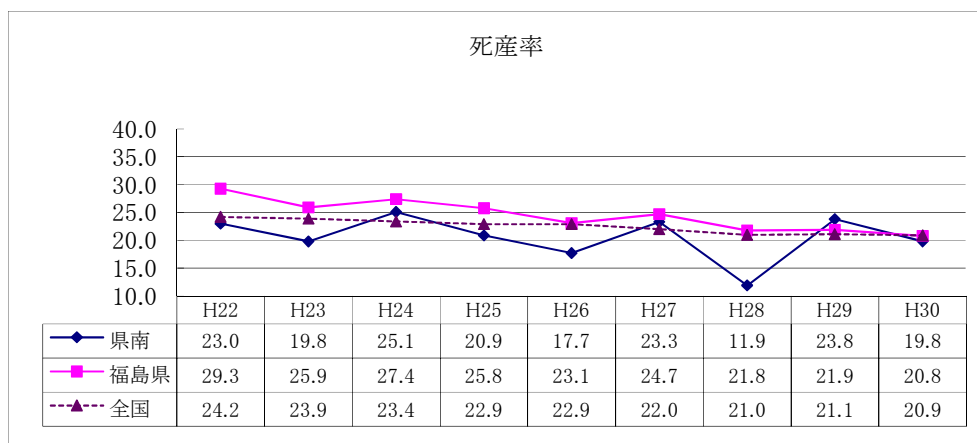
平成22年以降の年次推移をみると、県平均、全国平均を上回った年もあれば、下回った年もあるなど上下の変動幅が大きくなっています。平成22年には0.8でしたが、平成30年は、平成22年より1.3ポイント上回っています。



#### (6) 死産

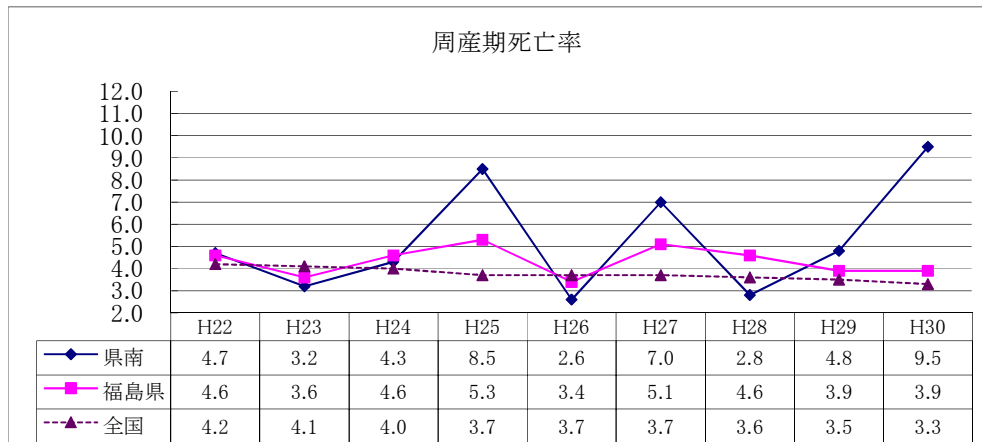
平成30年の死産率（出産千対）は、19.8で前年より4.0ポイント、県平均より1.0ポイント、全国平均より1.1ポイントそれぞれ下回っています。

平成22年以降の年次推移をみると、上下の幅が大きく推移しており、平成22年には23.0でしたが、平成30年は、平成22年より3.2ポイント下回っています。



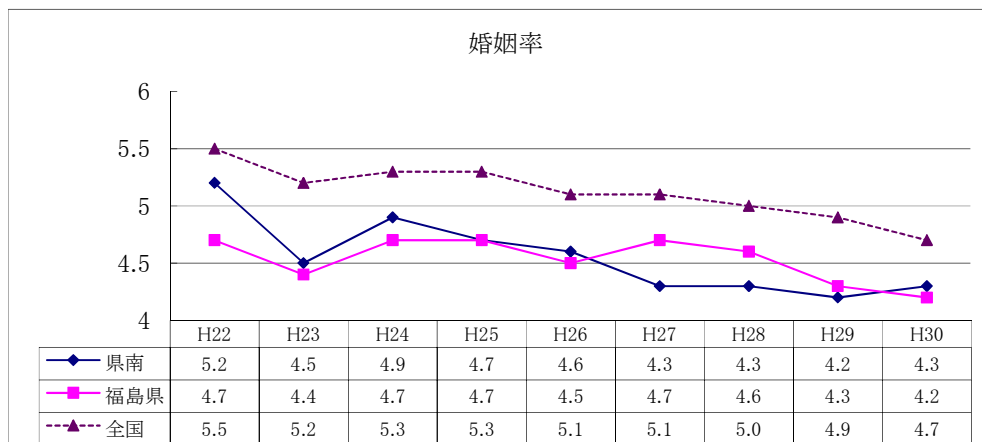
### (7) 周産期死亡

平成30年の周産期死亡率（出産千対）は、9.5で前年より4.7ポイント県平均より5.6ポイント、全国平均より6.2ポイントそれぞれ上回っています。  
 平成22年以降の年次推移をみると、県平均、全国平均を上回った年もあれば、下回った年もあるなど上下の幅が大きく推移しており、平成22年では4.7で、平成30年は、平成22年より4.8ポイント上回っています。



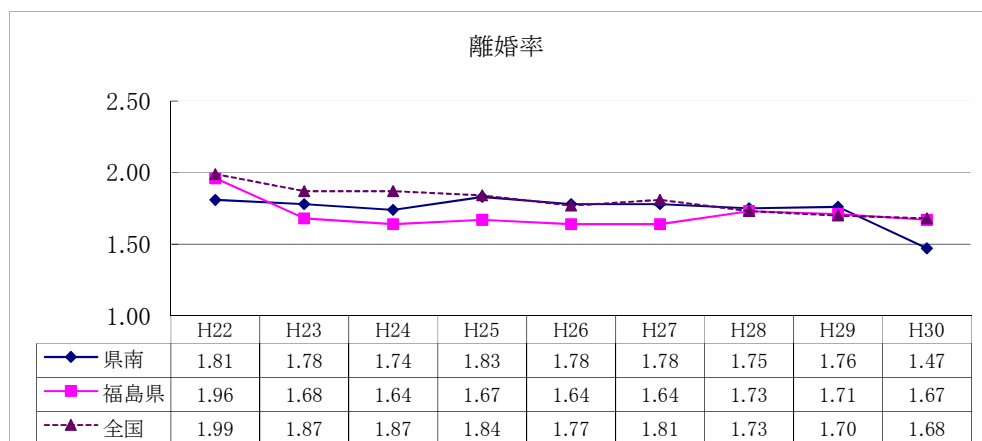
### (8) 婚姻

平成30年の婚姻率（人口千対）は、4.3で前年より0.1ポイント、県平均より0.1ポイント上回り、全国平均より0.4ポイント下回っています。  
 平成22年以降の年次推移をみると、上下の幅が大きく変動しているものの、平成22年では5.2で、平成30年は、平成22年より0.9ポイント下回っています。



### (9) 離婚

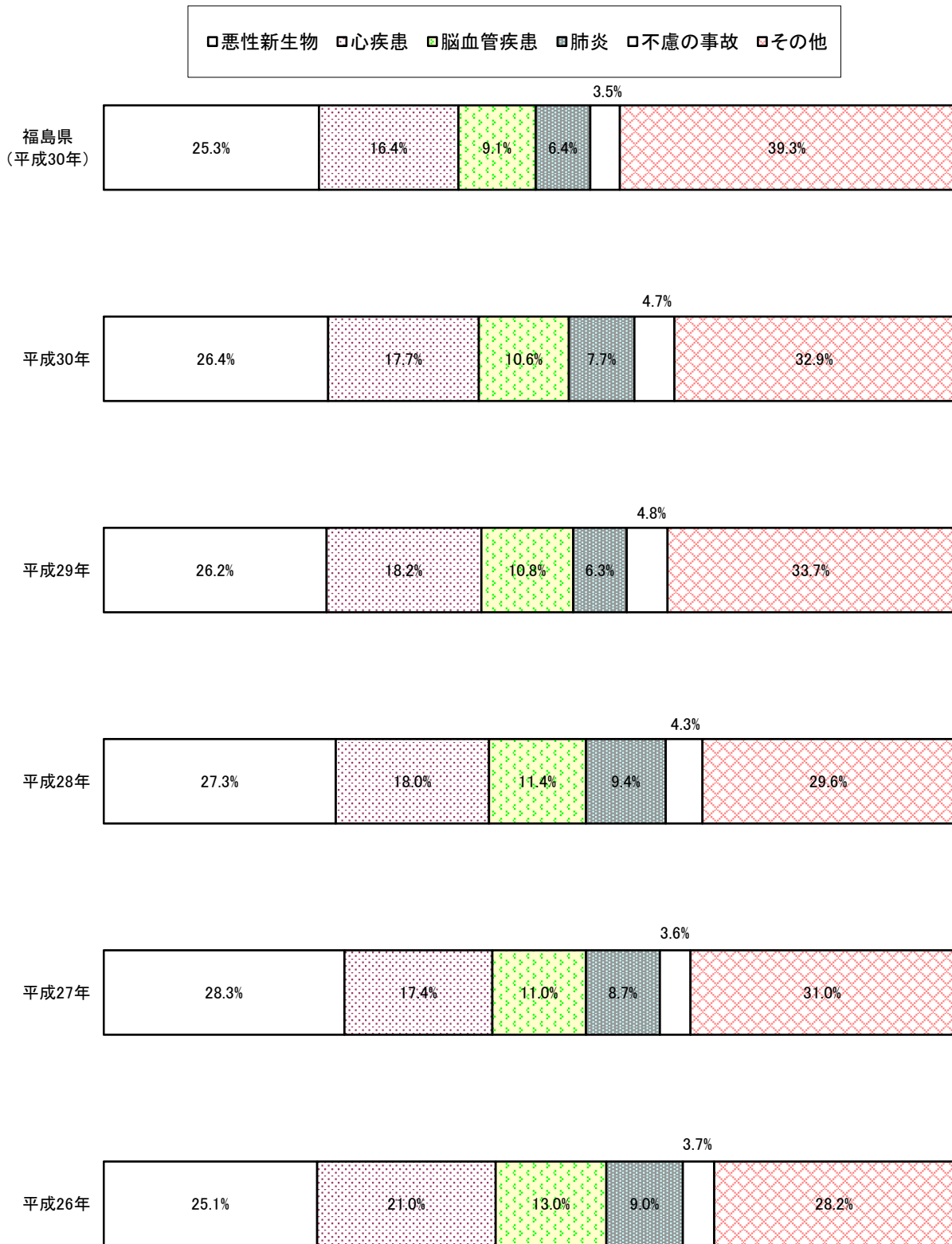
平成30年の離婚率（人口千対）は、1.47で前年より0.29ポイント、県平均より0.2ポイント、全国平均より0.21ポイント下回っています。  
 平成22年以降の年次推移をみると、多少の増減があるものの緩やかな減少傾向を示しており、平成22年では1.81で、平成30年は、平成22年より0.34ポイント下回っています。



< 参考資料：平成22年～30年人口動態統計（確定数）の概況（福島県） >



## 2 県南地域の死因の推移



<参考資料:平成26年~30年人口動態統計(確定数)の概況(福島県)>

3 市町村別標準化死亡比（SMR）：男性（平成26～30年）

死因 市町村	総死亡	悪性 新生物	心疾患 (高血圧症を除く)	脳血管 疾患	肺 炎	肝疾患	腎不全	老 衰	不慮の 事 故	自 殺
県南保健所	112.55	113.27	134.71	131.39	107.66	105.49	100.02	63.79	153.82	137.99
白 河 市	101.60	105.14	128.05	111.92	77.91	270.06	61.24	64.47	135.04	140.22
西 郷 村	95.29	91.05	108.20	142.25	71.69	94.62	68.22	71.09	78.71	110.03
泉 崎 村	98.81	118.09	81.75	117.00	116.35	146.15	124.86	48.76	172.10	72.88
中 島 村	108.05	111.30	94.61	111.85	129.54	49.37	120.28	21.60	175.91	93.92
矢 吹 町	107.94	107.64	142.95	102.13	119.22	66.03	102.86	37.35	135.32	174.39
棚 倉 町	136.78	139.74	137.34	193.07	139.75	119.81	155.56	42.89	238.88	150.89
矢 祭 町	180.99	169.95	226.51	200.50	211.75	288.21	276.27	195.32	264.38	165.68
埴 町	149.90	145.26	190.74	134.74	188.13	105.40	247.22	53.30	244.48	154.19
鮫 川 村	159.08	133.27	216.73	235.74	236.25	133.66	0.00	119.84	219.59	119.84

※ SMR =  $\frac{\text{当該市町村死亡数}}{\Sigma \text{当該市町村年齢階級別人口} \times \text{基準年齢階級別死亡率}}$  SMR = 100 : 全国平均値  
 SMR > 100 : 全国平均値以上  
 SMR < 100 : 全国平均値以下

当該市町村死亡数：市町村別（死因別）死亡数

当該市町村5年階層別人口：市町村5歳階級別人口（資料：福島県の推計人口 年齢5歳階級別人口 平成26～30年10月1日現在）

基準年齢階級別死亡率：全国5歳階級別死亡数 / 全国5歳階級別人口（資料：人口動態統計（平成28年） 年齢5歳階級別人口（平成28年10月1日現在）、厚生労働省ホームページ）

3 市町村別標準化死亡比（SMR）：女性（平成26～30年）

死因 市町村	総死亡	悪性 新生物	心疾患 (高血圧症を除く)	脳血管 疾患	肺 炎	肝疾患	腎不全	老 衰	不慮の 事 故	自 殺
県南保健所	121.79	104.93	147.76	183.38	122.42	107.86	87.40	87.41	178.90	114.00
白 河 市	108.09	104.35	113.24	185.46	104.92	114.24	75.49	71.75	177.77	118.31
西 郷 村	117.73	89.88	112.62	189.97	74.07	88.17	91.60	115.37	207.31	78.75
泉 崎 村	131.61	104.68	117.36	183.20	158.37	68.21	121.08	127.63	138.25	125.19
中 島 村	114.78	100.23	157.76	150.89	76.97	0.00	80.23	107.70	179.90	83.54
矢 吹 町	113.02	107.03	137.78	161.46	121.81	206.11	129.89	49.12	97.31	68.28
棚 倉 町	132.88	121.39	159.11	213.75	112.91	61.54	43.18	61.96	160.65	165.92
矢 祭 町	197.71	273.63	393.01	181.00	221.57	147.31	170.49	270.36	307.35	127.66
埴 町	145.35	99.00	252.45	173.66	226.14	99.62	44.41	59.57	236.81	164.66
鮫 川 村	187.87	112.47	316.10	170.43	316.90	0.00	178.22	154.93	224.26	124.16

※ SMR =  $\frac{\text{当該市町村死亡数}}{\Sigma \text{当該市町村年齢階級別人口} \times \text{基準年齢階級別死亡率}}$  SMR = 100 : 全国平均値  
 SMR > 100 : 全国平均値以上  
 SMR < 100 : 全国平均値以下

当該市町村死亡数：市町村別（死因別）死亡数

当該市町村5年階層別人口：市町村5歳階級別人口（資料：福島県の推計人口 年齢5歳階級別人口 平成26～30年10月1日現在）

基準年齢階級別死亡率：全国5歳階級別死亡数 / 全国5歳階級別人口（資料：人口動態統計（平成28年） 年齢5歳階級別人口（平成28年10月1日現在）、厚生労働省ホームページ）

4 死亡数（選択死因・市町村別）：男性（平成26～30年）

（単位：人）

死因 市町村	総死亡	結核	悪性 新生物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患 (高血圧症を 除く)	脳血管 疾患	肺炎	慢性閉 塞性肺 疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事故	自殺
県南保健所	4,450	2	1,448	51	21	742	422	379	95	1	64	72	86	204	122
白河市	1,724	1	577	17	4	303	167	117	41	0	26	19	38	77	53
西郷村	544	0	168	8	3	86	56	37	11	0	8	7	14	15	14
泉崎村	173	0	67	2	1	20	18	19	2	0	4	4	3	10	3
中島村	147	0	49	3	1	18	11	16	5	0	1	3	1	8	3
矢吹町	525	0	169	4	2	97	39	51	17	0	5	9	6	22	19
棚倉町	530	0	175	6	7	74	58	48	8	0	7	11	6	31	13
矢祭町	287	0	87	2	2	50	25	29	5	0	7	8	10	14	6
塙町	367	1	115	7	1	65	31	41	3	1	4	11	4	20	8
鮫川村	153	0	41	2	0	29	17	21	3	0	2	0	4	7	3

<参考資料：平成26年～30年人口動態統計（確定数）の概況（福島県）>

4 死亡数（選択死因・市町村別）：女性（平成26～30年）

（単位：人）

死因 市町村	総死亡	結核	悪性 新生物	糖尿病	高血圧 性疾患	心疾患 (高血圧症を 除く)	脳血管 疾患	肺炎	慢性閉 塞性肺 疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事故	自殺
県南保健所	4,343	3	896	42	33	880	590	342	16	6	35	62	342	168	42
白河市	1,661	1	384	13	11	291	258	127	6	2	16	23	125	72	19
西郷村	584	0	107	8	7	93	85	29	2	0	4	9	62	27	4
泉崎村	215	0	41	3	2	32	27	21	0	1	1	4	22	6	2
中島村	144	0	30	1	0	33	17	8	0	0	0	2	15	6	1
矢吹町	486	1	110	4	1	99	62	41	6	2	8	11	22	11	3
棚倉町	471	0	103	6	8	94	68	30	1	0	2	3	25	15	6
矢祭町	292	0	44	1	1	97	24	25	0	0	2	5	42	12	2
塙町	330	0	54	5	2	96	36	40	1	0	2	2	15	14	4
鮫川村	160	1	23	1	1	45	13	21	0	1	0	3	14	5	1

＜参考資料：平成26年～30年人口動態統計（確定数）の概況（福島県）＞

5 市町村別悪性新生物部位別死亡率(人口10万対)

(平成30年)

区分	悪性新生物 (全体)	食 道	胃	結 腸	直腸S状結 腸移行及び 直 腸	肝 及 び 肝 内 胆 管	胆のう及び その他胆道	膵	気管、気管 支及び肺	乳 房	子 宮	白 血 病
県南地域	335.4	14.3	61.4	25.7	15.0	16.4	17.8	31.4	55.7	2.1	6.4	10.0
白 河 市	300.4	18.3	51.4	23.2	16.6	16.6	19.9	28.2	46.5	3.3	3.3	10.0
西 郷 村	240.0	9.8	53.9	14.7	0.0	9.8	24.5	39.2	29.4	4.9	4.9	0.0
泉 崎 村	347.1	15.8	63.1	31.6	15.8	0.0	0.0	31.6	78.9	0.0	0.0	31.6
中 島 村	328.4	20.5	41.1	20.5	0.0	41.1	0.0	0.0	20.5	0.0	0.0	20.5
矢 吹 町	386.9	11.7	58.6	23.4	5.9	0.0	17.6	35.2	117.2	0.0	11.7	5.9
棚 倉 町	472.7	14.5	109.1	36.4	21.8	50.9	21.8	36.4	58.2	0.0	7.3	21.8
矢 祭 町	499.0	0.0	89.1	35.6	71.3	17.8	35.6	0.0	89.1	0.0	35.6	0.0
埴 町	325.2	0.0	58.1	34.8	11.6	11.6	0.0	69.7	34.8	0.0	11.6	11.6
鮫 川 村	468.8	31.3	93.8	62.5	31.3	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0

<参考資料:平成30年人口動態統計(確定数)の概況(福島県)>

6 病類別生活習慣病死亡率(人口10万対)及び割合(%) 県南・県・国比較

	平成27年						平成28年						平成29年						平成30年					
	死亡率			割合(%)			死亡率			割合(%)			死亡率			割合(%)			死亡率			割合(%)		
	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国	県南	県	国
合 計	681.7	698.9	557.4	100.0%	100.0%	100.0%	748.8	697.8	562.2	100.0%	100.0%	100.0%	716.2	713.1	570.9	100.0%	100.0%	100.0%	720.8	702.7	564.5	100.0%	100.0%	100.0%
脳血管疾患	129.3	130.1	89.4	19.0%	18.6%	16.0%	143.5	125.9	89.6	19.2%	18.0%	15.9%	136.4	127.4	88.2	19.1%	17.9%	15.4%	134.2	120.6	85.6	18.6%	17.2%	15.2%
（脳内出血）	25.5	34.3	25.6	3.7%	4.9%	4.6%	35.0	31.9	25.7	4.7%	4.6%	4.6%	34.6	33.3	26.2	4.8%	4.7%	4.6%	35.0	32.6	26.1	4.9%	4.6%	4.6%
（脳梗塞）	90.8	81.6	51.5	13.3%	11.7%	9.2%	90.3	77.7	51.6	12.1%	11.1%	9.2%	87.7	79.4	49.8	12.2%	11.1%	8.7%	84.2	73.2	47.7	11.7%	10.4%	8.5%
（その他）	13.1	14.2	12.2	1.9%	2.0%	2.2%	18.2	16.2	12.3	2.4%	2.3%	2.2%	14.1	14.7	12.1	2.0%	2.1%	2.1%	15.0	14.7	11.7	2.1%	2.1%	2.1%
悪性新生物	331.5	330.8	295.5	48.6%	47.3%	53.0%	361.1	339.2	298.2	48.2%	48.6%	53.0%	329.5	343.4	299.5	46.0%	48.2%	52.5%	335.4	336.2	295.5	46.5%	47.8%	52.3%
（食道）	10.3	9.4	9.4	1.5%	1.4%	1.7%	11.2	9.7	9.2	1.5%	1.4%	1.6%	7.1	10.3	9.3	1.0%	1.4%	1.6%	14.3	9.1	9.0	2.0%	1.3%	1.6%
（胃）	44.7	42.7	37.2	6.6%	6.1%	6.7%	55.3	46.8	36.4	7.4%	6.7%	6.5%	43.1	44.1	36.3	6.0%	6.2%	6.4%	61.4	42.2	35.0	8.5%	6.0%	6.2%
（結腸）	38.5	34.4	27.4	5.7%	4.9%	4.9%	28.7	33.6	27.6	3.8%	4.8%	4.9%	31.8	33.6	28.4	4.4%	4.7%	5.0%	25.7	32.5	28.0	3.6%	4.6%	5.0%
（直腸及びS字結腸）	12.4	14.4	12.3	1.8%	2.1%	2.2%	9.8	14.3	12.5	1.3%	2.1%	2.2%	19.1	15.8	12.3	2.7%	2.2%	2.2%	21.4	16.6	12.1	3.0%	2.4%	2.1%
（肝臓）	17.9	21.5	23.1	2.6%	3.1%	4.1%	29.4	21.3	22.8	3.9%	3.1%	4.1%	15.6	21.5	21.8	2.2%	3.0%	3.8%	24.3	21.7	20.5	3.4%	3.1%	3.6%
（胆のう）	20.6	19.7	14.5	3.0%	2.8%	2.6%	25.2	22.3	14.4	3.4%	3.2%	2.6%	17.7	20.8	14.6	2.5%	2.9%	2.6%	16.4	19.3	14.4	2.3%	2.8%	2.6%
（膵臓）	24.1	29.5	25.4	3.5%	4.2%	4.6%	24.5	29.1	26.8	3.3%	4.2%	4.8%	34.6	31.1	27.5	4.8%	4.4%	4.8%	31.4	30.8	28.0	4.4%	4.4%	5.0%
（気管・気管支・肺）	70.2	66.0	59.4	10.3%	9.4%	10.6%	51.8	65.5	59.0	6.9%	9.4%	10.5%	56.6	66.1	59.5	7.9%	9.3%	10.4%	55.7	65.3	58.8	7.7%	9.3%	10.4%
（乳房）	4.8	10.1	10.9	0.7%	1.4%	2.0%	18.2	12.5	11.3	2.4%	1.8%	2.0%	9.9	10.7	11.5	1.4%	1.5%	2.0%	2.1	11.6	11.7	0.3%	1.7%	2.1%
（子宮）	6.2	4.8	5.1	0.9%	0.7%	0.9%	6.3	5.7	5.1	0.8%	0.8%	0.9%	12.0	6.0	5.3	1.7%	0.8%	0.9%	6.4	5.9	5.4	0.9%	0.8%	1.0%
（白血病）	5.5	6.2	6.9	0.8%	0.9%	1.2%	8.4	6.8	7.0	1.1%	1.0%	1.3%	5.7	6.9	6.9	0.8%	1.0%	1.2%	10.0	9.0	7.0	1.4%	1.3%	1.2%
（その他）	76.4	71.9	64.0	11.2%	10.3%	11.5%	92.4	71.6	66.2	12.3%	10.3%	11.8%	76.4	76.5	66.3	10.7%	10.7%	11.6%	66.4	72.2	65.8	9.2%	10.3%	11.6%
心疾患	203.6	215.7	156.5	29.9%	30.9%	28.1%	227.4	208.6	158.2	30.4%	29.9%	28.1%	229.8	217.0	164.3	32.1%	30.4%	28.8%	224.1	217.5	164.7	31.1%	31.0%	29.2%
（急性心筋梗塞）	61.9	74.7	29.7	9.1%	10.7%	5.3%	58.1	63.9	28.7	7.8%	9.2%	5.1%	61.5	63.1	28.0	8.6%	8.8%	4.9%	60.7	57.7	26.5	8.4%	8.2%	4.7%
（心不全）	64.7	72.1	57.3	9.5%	10.3%	10.3%	81.9	73.2	58.8	10.9%	10.5%	10.5%	83.4	80.9	64.8	11.6%	11.3%	11.4%	84.9	81.8	65.9	11.8%	11.6%	11.7%
（その他）	77.0	68.9	69.4	11.3%	9.9%	12.5%	87.5	71.4	70.7	11.7%	10.2%	12.6%	84.8	73.0	71.5	11.8%	10.2%	12.5%	78.5	78.0	72.3	10.9%	11.1%	12.8%
高血圧疾患	5.5	7.7	5.4	0.8%	1.1%	1.0%	4.2	7.9	5.5	0.6%	1.1%	1.0%	7.8	10.4	7.7	1.1%	1.5%	1.3%	7.9	11.1	7.6	1.1%	1.6%	1.3%
糖尿病	11.7	14.7	10.6	1.7%	2.1%	1.9%	12.6	16.3	10.8	1.7%	2.3%	1.9%	12.7	15.0	11.2	1.8%	2.1%	2.0%	19.3	17.3	11.2	2.7%	2.5%	2.0%

<参考資料：平成26年～30年人口動態統計（確定数）の概況（福島県）>





## 第 2 章

# 令和2年度事業計画



# I 令和2年度県南保健福祉事務所の基本方針及び重点施策

## (基本方針)

少子高齢化の急速な進行とこれに伴う人口減少や東日本大震災及び原子力災害等の影響により、地域医療や福祉サービス提供体制の再構築をはじめとして、県南地域における保健・医療・福祉を取り巻く状況は、大きく変化しています。

「福島県保健医療福祉復興ビジョン」の最終年度となる令和2年度は「めざす将来の姿」の実現に向け、引き続き6つの基本目標を達成するための重点施策を積極的かつ効果的に進めてまいります。

## (重点施策)

### 1 復興へ向けた保健・医療・福祉の推進

#### (1) 保健・医療・福祉の連携の推進

住民が可能な限り住み慣れた地域で、健康を維持しながら自立した日常生活を営むことができるよう、保健・医療・福祉の向上と増進のため関係機関の役割分担を明確にしながら連携のさらなる推進を図ります。

#### (2) 復興へ向けた心身の健康支援対策の推進

被災者の健康状態の悪化予防及び健康不安の解消を図るため、避難生活の長期化や生活環境の変化など被災者や被災市町村の置かれている状況を踏まえつつ、心のケアを含めた健康サポート・相談支援等の事業を実施するなど、今後も市町村や関係団体と連携して、被災者に寄り添った支援を実施します。

#### (3) 県産加工食品の安全性の確保

食品等事業者に対し、食品衛生管理手法の国際標準となっているHACCPによる衛生管理に放射性物質対策を加えた「ふくしまHACCP」の導入を推進し、加工食品の安全性の確保に努めます。

### 2 全国に誇れる健康長寿の県づくり

#### (1) 健康づくり県民運動の推進と健康づくり体制の整備

ア 住民一人ひとりが実践する健康づくりを基本に、家庭、学校、職域、地域が一体となって、ふくしま“食の基本”推進キャンペーンなどの健康的な生活習慣の確立等に取り組む「健康づくり県民運動」の展開を図り、関係機関との連携により健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指します。

イ 県民の様々なライフステージに応じた健康の保持・増進を図るため、地域保健・職域保健の連携を強化し健康経営の積極的な推進を図るとともに、自殺者の減少を目標に市町村が取り組む自殺関連事業を支援します。

ウ 健康増進センターなどの専門機関と連携し、健康づくりに関する医療等のデータを活用した地域の健康課題の見える化を図ることによって効果的な健康情

報を提供するとともに、民間企業のノウハウも活用しながら健康づくりに取り組む市町村や事業所等の支援に努めます。

## (2) 生活習慣病等予防対策の推進

ア 生涯を通じた生活習慣病の予防推進を図るため、喫煙、栄養・食生活、身体活動・運動、休養・心の健康、飲酒、歯・口腔の健康などについて望ましい生活習慣の確立を目指すとともに、住民一人ひとりが健康に関心を持ち、健康づくりに取り組みやすいよう、受動喫煙防止等の普及啓発による健康意識の向上や健康を支える環境の整備を図ります。

イ がん予防に関する正しい知識の普及啓発を図り、がん検診の受診率向上に努めるとともに、医療保険者による特定健診・特定保健指導の着実な実施を支援し、生活習慣病の発症予防や重症化予防の徹底を目指します。

ウ う蝕や歯周疾患等の歯科疾患に関する予防意識の浸透を図り、口腔の健康の保持増進を図るため、関係機関との連携の下にライフステージに応じた歯科保健思想の普及啓発を図ります。

また、震災後、顕著となっている子どものむし歯増加への対応として、安全で高い効果が得られるフッ化物洗口事業の推進を図ります。

## (3) 地域包括ケアシステムの深化と推進

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、市町村や関係団体と連携しながら、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を一体的に提供していく地域包括ケアシステムの深化と推進に取り組めます。

## (4) 健全な食生活を育むための食育の推進

住民一人ひとりが、自らの食を見直し、健全な食生活と豊かな人間性を育むために、家庭、学校、地域が一体となった食育の取組みを推進します。

# 3 地域医療の推進

## (1) 医療従事者の確保と資質の向上

ア 将来的に県南地域への医師の確保・定着を図るため、医学生を対象とした県南地域の魅力と医療の現状を理解する地域医療体験研修及び小学生を対象とした地域の医療、福祉等を学ぶ親子学習会に継続して取り組めます。

イ 限られた医療資源において、医療従事者の資質の向上に努めます。

## (2) 安全、安心な医療サービスの確保

保健・医療・福祉の連携を強化するとともに、住民が、安全で安心できる医療が受けられるよう、福島県地域医療構想（県南区域）等に基づき、医療機能の分化と連携に向けて医療機関の取組みへの支援を行い、安全で質の高い効率的な医療提供体制の確保を推進します。

### (3) 感染症対策の推進

感染症発生時には疫学調査等を実施し、まん延防止を図るとともに、感染症に間する正しい知識の普及を行います。

また、予防接種や感染症についての情報提供に努めるほか、エイズ等の検査を実施するとともに、肝炎については、相談や検査の受検機会の拡大に努めます。

## 4 日本一安心して子どもを産み育てられる環境づくり

### (1) 子育て支援サービスの充実

ア 保育施設の整備の促進及び保育の質の向上や、認可外保育施設への支援など多様なニーズに対応した子育て支援サービスの推進に努めます。

イ 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の未設置市町村への個別支援を行うとともに、支援が必要な家庭の早期把握・早期支援を行えるよう市町村への支援を行い、センターの機能充実に努めます。

### (2) 思春期保健対策の推進

地域の保健・医療機関等との連携・協力体制を構築し、教育機関と一体となって、思春期の若者や保護者に対する思春期保健対策を推進します。

### (3) 青少年の健全育成を推進するための社会環境の整備

県青少年健全育成条例の適正な運用を図るため、有害図書類等に関する規制等を行い、社会環境の健全化に努めます。

## 5 ともにいきいき暮らせる福祉社会の推進

### (1) 高齢者を対象とした介護・福祉サービスの充実

高齢者がその状態に応じた適切で質の高いサービスを利用できるよう、市町村や事業者の支援・指導に努めるとともに、「うつくしま高齢者いきいきプラン」に基づき、計画的に介護サービス基盤や高齢者が安心して暮らせる環境の整備を推進します。

### (2) 障がいのある方の地域生活への移行支援

ア 障がい者が、自分らしい生活と社会参加を実現できるよう、地域自立支援協議会等の地域における障がい者の自立に対する理解促進と支援体制の充実に努め、障がいのある方自身のニーズに適切に対応しながら、地域で安心して暮らすための取組みを進めます。

イ 障がい者の就労支援や居住環境の整備など生活環境全般への取組み（介護、生活訓練など）を積極的に展開するとともに、障がいのある方がより適切で質の高いサービスを利用できるよう市町村や事業者の支援・指導に努めます。

### (3) 生活支援の充実

ア 生活保護法に基づき、生活に困窮する方に対し、その困窮の程度に応じて必要な

保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することを目的として、要保護者の必要に応じた各種の扶助を実施します。

イ 就労可能な被保護者に対し、生活保護からの早期脱却を目指すため、就労自立に向けた計画的、集中的な就労支援を実施します。

ウ 長期入院している被保護者のうち、受入条件が整えば退院可能な者に対し、個々の退院阻害要因の解消等を計画的に行うことにより、長期入院患者等の地域生活への移行を促進します。また、被保護者の生活習慣病予防と健康管理支援に取り組みます。

エ 生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者等に対する、自立相談支援事業・住宅確保給付事業・子どもの学習支援事業・一時生活支援事業を委託事業者と連携して実施します。

ちゅうしょう

## 6 誰もが安全で安心できる生活の確保

### (1) 生活衛生関係営業施設の衛生水準の維持向上

住民の生活に密接な関係を有する生活衛生関係営業施設に対する計画的な監視指導の実施、営業者による適切な自主管理の実施に対する支援など、衛生水準の維持向上のための対策を推進します。

### (2) 安全な水の安定的な供給

ア 住民が安全な水を将来にわたって安定的に享受できるよう、水道事業者の適正な供給管理体制と事業運営体制の維持、向上を支援します。

イ 飲料水の安全・安心を確保するため、水道水の放射性物質モニタリング検査及び飲用井戸水等の放射性物質検査の支援を行います。

### (3) 食品等の安全性の確保

ア 消費者が安心して食品を選ぶことができるよう、消費者の視点を重視し、食品関連事業者や消費者、関係機関と相互の連携を図りながら、生産から流通、消費に至る一貫した食品安全確保対策を推進します。

イ 食品等事業者に対し、食品衛生管理手法の国際標準となっている<sup>ハ</sup><sup>サ</sup><sup>ツ</sup><sup>ブ</sup>HACCPによる衛生管理に放射性物質対策を加えた「<sup>ハ</sup><sup>サ</sup><sup>ツ</sup><sup>ブ</sup> Fukushima HACCP」の導入を推進し、加工食品の安全性の確保に努めます。

ウ 県内産農林水産物を原料とする加工食品を中心に放射性物質検査を実施し、市場等に流通する食品の安全確保と消費者の安心の実現を図ります。

### (4) 健康危機管理体制の強化

医薬品、食中毒、感染症、飲料水その他何らかの原因により、住民の生命・健康の安全を脅かす事態に対して行われる健康被害の発生予防や拡大防止に関する業務（健康危機管理）の充実強化に努めます。

### (5) 災害時の保健医療福祉体制の強化

ア 高齢者や障がい者等の避難行動要支援者を迅速かつ的確に安全な場所へ避難させるため、避難行動要支援者避難支援個別計画の策定と要支援者避難訓練の

全市町村での実施を支援します。

イ 災害発生時に備え、広域避難が生じた場合も想定した保健・医療・福祉の専門職チーム（DHEAT等）の派遣体制の充実強化に取り組むとともに、避難行動要支援者等の県内外の医療機関や福祉施設での受入確保など、関係団体との災害時連携体制の強化を図ります。

## II 令和2年度主要事業計画

### 1【復興へ向けた保健・医療・福祉の推進】

#### (1) 復興へ向けた心身の健康管理対策の推進

事業名	事業概要	担当課
被災者健康サポート事業	借上げ住宅、復興公営住宅等で生活している被災者等が健康的な生活を維持していくことができるよう、健康支援活動の実施体制整備を図りながら、被災者に対する健康支援活動を行う。 (1) 被災市町村連絡会の開催 (2) 被災者健康支援活動 (3) 子どもの健康支援事業	健康増進課

#### (2) 県産加工食品の安全性の確保

事業名	事業概要	担当課
HACCPによる衛生管理の導入推進	食品等事業者に対し、食品衛生管理手法の国際標準となっている HACCP による衛生管理に、放射性物質管理を加えた県独自の衛生管理手法「ふくしま HACCP」の導入を推進します。 (1) 専用アプリ及び業種別手引き書を用いた実習型研修会の開催 (2) HACCP 導入済施設のフォローアップ	衛生推進課

### 2【全国に誇れる健康長寿の県づくり】

#### (1) 健康づくり県民運動の推進と健康づくり体制の整備

事業名	事業概要	担当課
健康長寿ふくしま推進事業	「第二次健康ふくしま21計画」の基本目標である健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指します。 (1) ふくしま【健】民パスポート事業 (2) ふくしま健康情報ステーション事業	健康増進課
県南の地域・職域連携推進	地域保健と職域保健が連携し、生涯を通じた継続的な保健サービスを提供する体制の整備を図ります。 (1) 県南の地域・職域連携推進協議会の開催 (2) 地域・職域連携事業 (3) 元気で働く職場応援事業	
自殺予防対策の充実	自殺者数の減少を目標に、自殺予防のための人材育成及び相談支援体制の整備を図るとともに、関係機関と連携し、市町村が取り組む自殺関連事業を支援します。 (1) 県南地域自殺対策推進協議会 (2) 自殺予防対策に係る人材育成研修会、キャンペーン等 (3) 自殺対策緊急強化基金事業(市町村事業補助金)	保健福祉課



保健師・栄養士等現任教育支援事業	県南地域の健康課題について、市町村保健師等とともに、管理者研修、特定保健指導研修、地域診断、事例検討等の研修会を開催し、資質の向上を図ります。	総務 企画課
------------------	---	-----------

## (2) 生活習慣病等対策の推進

事業名	事業概要	担当課
健康長寿のための予防啓発事業	喫煙や受動喫煙は健康に大きな影響を及ぼすことから、住民に受動喫煙防止等の普及啓発や、禁煙施設・車両の認証・周知を図ることで、望まない受動喫煙を防止する環境づくりを推進します。 (1) 世界禁煙デー等普及啓発キャンペーンの実施 (2) 禁煙等支援者セミナーの開催 (3) 受動喫煙防止対策に関する相談・啓発 (4) 「空気のきれいな施設・車両」の普及拡大	健康 増進課
特定給食施設管理事業	給食施設設置や管理者、給食従事者に対し、健康増進に果たす給食の役割や給食運営等に関する情報提供を行うことにより、住民の栄養の改善及び健康の保持増進を図ります。 (1) 特定給食施設等巡回指導 (2) 特定給食施設等講習会の開催	
ふくしま”食の基本”推進事業	県民の食行動や栄養摂取状況を改善し、生活習慣病の発症・重症化予防を図るため、主食・主菜・副菜がそろったバランスの良い食事に「減塩」を加えたふくしま”食の基本”を県民に浸透させ、日々の実践につなげるための普及啓発、人材育成を実践する。 (1) ふくしま”食の基本”推進キャンペーン (2) 福島県食行動実態把握調査の実施 (3) 事業推進のための体制整備事業 (4) うつくしま健康応援店の普及拡大	
地域の栄養サポート体制整備事業	市町村を中心として地域住民の慢性疾患重症化を予防するための栄養サポート体制の整備を図ります。 (1) 地域の栄養サポート体制整備支援検討会	
健康長寿サポーター養成講座	健康づくりに係る講座を開催し、その受講者を「福島県健康長寿サポーター」に認定することで、サポーターの健康への意識改革を図るとともに県民への伝播を図ります。 (1) 「健康長寿サポーター養成」出前講座の実施	
歯科保健対策	市町村の地域特性に応じた支援を行うために、市町村歯科保健強化推進研修会及び検討会を開催し、歯科保健支援体制の構築を図ると共に、地域住民の健康の保持増進を推進します。 (1) 市町村歯科保健強化推進事業 (2) 地域歯科保健活動推進事業	

	生涯を通した歯の健康づくりを推進するため、在宅療養者らに対し口腔保健指導を行うとともに、施設等の保健担当者への助言指導を行います。 (1) ヘル歯ケア推進事業	健康増進課
	震災後、子どもの肥満やむし歯の増加が目立っていることから、これまで取り組んできた歯磨き指導や食生活の指導を継続及び効果的なフッ化物歯面塗布を普及啓発するとともに、安全で高い効果が得られるフッ化物洗口事業を実施し、口腔衛生の切り口から子ども達の健康を促し、健康増進を推進します。 (1) 子どものむし歯緊急対策事業	

### (3) 地域包括ケアシステムの深化と推進

事業名	事業概要	担当課
在宅医療・介護連携の推進	医療、介護、介護予防、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムに向けた市町村等の取組みを支援します。 (1) 県南地域在宅医療・介護連携推進会議 (2) 県南地域における退院支援ルール策定会議 (3) 地域医療構想調整会議	総務 企画課 保健 福祉課 医療 薬事課

### (4) 健全な食生活を育むための食育の推進

事業名	事業概要	担当課
ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業	子どもたちの食に関連する健康課題について、食環境整備の観点から保健福祉部・農林水産部・教育委員会等関係機関が連携し、家庭・学校・地域が一体となって地域における食育推進体系を構築し「元気なふくしまっ子」が育つ食環境整備を推進します。 (1) 子どもの食を考える地域ネットワーク会議 (2) 食の指導者育成研修会	健康増進課
市町村栄養・食生活支援事業	管内市町村において栄養・食生活の改善に関する施策の充実及び推進を図るため、栄養・食生活事業の実施状況や課題を把握するとともに、課題解決の為に優先的に取り組むべき事業について助言等の支援を行います。 (1) 市町村栄養士資質向上のための研修会及び検討会等	

### 3【地域医療の推進】

#### (1) 医療従事者等の確保と資質の向上

事業名	事業概要	担当課
医師定着促進事業	将来的に県南地域へ医師が定着するよう、医学生を対象とし、県南地域の魅力と医療の現状を理解する地域医療体験研修等を行います。 (1) 地域医療体験研修事業 (2) 福島県立医大と連携した体験型実習の実施 (3) 小学生を対象とした医療現場見学等の親子学習会の開催	総務 企画課
臨床研修医、実習生に対する研修	臨床研修病院からの研修医や保健医療福祉学生等の実習生を受入れ、県南地域の保健・医療の現状を踏まえながら、研修や実習指導を行います。	

#### (2) 安全、安心な医療サービスの確保

事業名	事業概要	担当課
地域医療体制の整備	病院や診療所の医療機関における、院内感染対策をはじめとする医療安全の確保を図ります。 (1) 医療安全研修会の開催 (2) 県南地域医療安全ネットワーク会議の開催 (3) 医療法に基づく医療機関への定期的立入	医療 薬事課
救急医療体制の整備	県南地域における救急医療関係協議会等にて情報交換と問題点の協議を行います。 (1) 県南地域救急告知病院の夜間休日診療体制情報の集約と提供	
献血者の確保	安定した献血者数を確保するため、各種啓発を行います。 また、骨髄バンクドナー登録を推進します。 (1) 街頭献血キャンペーン (2) 献血協力事業所等の訪問 (3) 市町村献血担当者会議の開催 (4) 献血併行型骨髄ドナー登録実施	
医薬品の有効性・安全性の確保	適正な医薬分業の推進や薬事営業者等の立入指導により医薬品等による健康被害や毒物劇物による事故防止及び麻薬等の管理の徹底を図ります。 (1) 薬局等薬事営業者への立入指導 (2) 毒物劇物営業者への立入指導 (3) 麻薬等取扱施設への立入指導	
薬物乱用の防止	薬物乱用の低年齢化や違法薬物への対策のため、若年層に重点をおいた普及啓発を行います。 (1) 小中高等学校の薬物乱用防止教室への講師派遣 (2) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動による啓発 (ヤング街頭キャンペーン)	

### (3) 感染症対策の推進

事業名	事業概要	担当課
感染症対策の推進	<p>感染症の発生時には患者等に適切な医療を受ける機会を提供するとともに、必要に応じて疫学調査や保健指導を実施して感染症の拡散防止を図ります。</p> <p>また、関係機関に対する感染症情報の提供や地域住民等に対する啓発も行います。</p> <p>(1) 感染症発生時疫学調査や療養支援の実施            (2) 感染症発生動向調査事業            (3) 感染症情報の定期的な発行            (4) エイズ等予防対策事業            (5) 肝炎治療特別促進事業            (6) 社会福祉施設等感染症予防対策研修会の開催</p>	医療薬事課
結核対策の推進	<p>結核のまん延を防止するため、患者の療養支援や地域住民に対する啓発を行います。</p> <p>(1) 結核医療事業 (患者治療費の公費負担)            (2) 結核患者療養支援事業 (患者検診・接触者健診、DOTSの実施等)            (3) 結核予防事業 (普及啓発等)</p>	

## 4【日本一安心して子どもを産み育てられる環境づくり】

### (1) 子育て支援サービスの充実

事業名	事業概要	担当課
認可外保育施設運営支援事業	<p>民間の認可外保育施設のうち事業所内施設を除く施設の入所児童の健康診断、教材等の購入及び運営に要する経費を市町村が補助する場合、当該市町村に対し補助金を交付することで、認可外保育施設における乳幼児の処遇の向上を図ります。</p>	保健福祉課
ふくしま保育料支援事業	<p>3人以上の子どもを養育している世帯に対する保育所保育料の軽減措置を行う市町村に対し補助金を交付することで、子育てにかかる保護者の経済的な負担感の軽減を図ります。</p>	
子育て世代包括支援センター機能充実事業	<p>妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターの未設置の市町村への個別支援を行うとともに、支援が必要な家庭の早期発見・早期支援を行えるよう市町村への支援を行い、センターの機能充実を図ります。</p>	
こどもを守る地域ネットワーク研修事業	<p>妊産婦は、身体的ケアやメンタルヘルスケアに加え、子どもを守るための虐待防止の視点からも配慮が必要であることから、医療機関や市町村、児童相談所、子育て関係機関、地域の子育て支援関係者（民生・児童委員など）の関係者等を対象とした研修会等開催し、他職種連携の体制整備を図ります。</p>	

子どもの目を守る健診体制強化事業（新規）	3歳児健康診査において、視覚検査の屈折検査を導入し、治療可能な弱視の見逃しをなくし、早期治療に繋げるため、屈折検査未実施の市町村に対し、検査機器を貸し出し、子どもの健康を守るための体制を強化していきます。（3年間のモデル事業）	保健福祉課
----------------------	---	-------

## （２）思春期保健対策の推進

事業名	事業概要	担当課
県南地域思春期保健対策推進事業	関係機関との連携・協力により、思春期保健の健康問題や教育状況を把握・分析し、思春期保健対策の充実に努めます。 （１）思春期保健教育等実施状況調査の実施 （２）若者の健康情報交換会の開催 （３）関係機関等への情報提供 等	保健福祉課

## （３）青少年の健全育成を推進するための社会環境の整備

事業名	事業概要	担当課
青少年の健全育成の推進	青少年健全育成条例により青少年の健全育成を推進するための社会環境の整備を図ります。 （１）有害図書類指定に係る図書類の購入及び指定後調査（年３回） （２）社会環境実態調査（図書類自動販売機実態調査・図書類取扱業者実態調査）	総務企画課

# ５【ともにいきいき暮らせる福祉社会の推進】

## （１）高齢者を対象とした介護・福祉サービスの充実

事業名	事業概要	担当課
地域支援事業の充実	県南地域における高齢者福祉計画等の進捗状況の管理や新計画策定に向けた課題の検討等を行います。 さらに、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化と推進に向け、各市町村地域支援事業の充実の取組みを支援します。 （１）高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画に係る県南圏域連絡会議の開催 （２）地域包括ケアシステム体制構築圏域別連絡会議 （３）各市町村の地域支援事業の充実に向けて、研修会、情報交換会、地域ケア会議支援等	保健福祉課
おもいやり駐車場利用制度の推進	店舗や公共施設などに設けられている車いすマークのある駐車スペースを利用しやすくするため、歩行が一定程度困難と認められる方に利用証を交付する「おもいやり駐車場利用制度」の推進を図ります。	

## (2) 障がいのある方の地域生活への移行支援

事業名	事業概要	担当課
障がい者の地域移行・地域定着推進事業	障がい者の地域移行を促進するため人材を育成するとともに、関係機関との連携強化のもと地域生活の定着を目指します。 (1) 精神障がい者地域移行・地域定着支援事業に係る研修会等の開催 (2) 県南地域生活移行圏域連絡会の開催	保健福祉課
相談支援体制及び生活を支えるサービスの充実	地域自立支援協議会を中心として、相談支援体制や生活を支えるサービスの充実が図られるよう、市町村の取り組みを支援します。 (1) 市町村の相談支援体制整備への助言・指導 (2) 専門的な療育指導及び相談支援 (3) 重度障がい者支援事業、市町村地域生活支援事業補助金	
難病対策の推進事業	医療費支給により医療費の負担軽減を図るとともに、関係機関と連携を図り、患者・家族等が安心して療養生活を送ることができるよう支援体制の整備を図ります。 (1) 特定医療費支給認定 (2) 難病在宅療養者支援体制整備事業 ・難病患者地域支援連絡会議 ・医療相談事業 ・相談指導事業 ・訪問診療事業 ・難病ボランティア活動支援 (3) 遷延性意識障害者治療研究事業 (4) 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業 (5) 原子爆弾被爆者対策事業 (6) 石綿による健康被害・救済給付事業	健康増進課

## (3) 生活支援の充実

事業名	事業概要	担当課
生活保護事業	生活に困窮する方に対して、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立の助長に向け、その困窮の程度に応じ、必要に応じた各種扶助を実施します。 また、保護受給者の課題に応じた援助方針を策定し、適切な支援、各種調査等の実施、町村や医療機関等の関係機関との連携の上、保護の適正な実施並びに漏給・濫給の防止を目指します。	生活保護課

就労自立促進事業	<p>就労可能な被保護者に対して、生活保護からの早期自立を目指し、求職活動計画を策定し、受給者の能力に応じた就労支援を実施します。</p> <p>また、ハローワークと連携し、被保護者の求職活動状況や求人情報の共有化などを通して、被保護者の就労による自立を目指します。</p>	生活保護課
被保護者健康管理支援事業	<p>レセプトデータ等から健康管理支援の支援対象者を選定し、支援対象者が健診を受診できるよう受診勧奨を行うとともに、健康管理指導を行うなどにより、被保護者の適切な医療扶助の実施を目指します。</p>	
長期入院患者等退院促進事業	<p>長期入院している被保護者のうち、退院可能な者に対し、個々の退院阻害要因の解消や退院に向けた指導援助を行うことにより、受け入れ先を確保し、地域生活への移行を目指します。</p>	
生活困窮者自立支援事業	<p>(1) 自立相談支援事業 生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護に至る前の段階で、生活困窮者を対象に、委託事業者と連携して、課題解消に向け必要な情報提供及び助言等を行い、必要なサービスの提供につなぎます。</p> <p>(2) 住宅確保給付事業 離職等により経済的に困窮し、住居を失った又はそのおそれがある者を対象に、住居確保給付金を支給することにより、安定した住居の確保、さらに就労による自立を目指します。</p> <p>(3) 子どもの学習支援事業 生活困窮者等の世帯の小学1年生以上高校3年生以下（中退者・未入学者も含む）を対象に、委託事業者と連携して学習支援等を行い、貧困の世代間連鎖の解消を目指します。</p> <p>(4) 一時生活支援事業 居住を持たない者等を対象に、委託事業者と連携し、一定期間内に限り宿泊場所等の提供を行い、生活困窮者の自立の促進を目指します</p>	

## 6【誰もが安全で安心できる生活の確保】

### (1) 生活衛生関係営業施設の衛生水準の維持向上

事業名	事業概要	担当課
生活衛生関係営業施設の衛生確保事業	<p>生活衛生関係営業施設に対する計画的な監視指導の実施、営業者による適切な自主管理に対する支援のほか、旅館や公衆浴場の浴槽水の検査等を行い、衛生水準の維持向上を図ります。</p> <p>(1) 生活衛生関係営業施設の監視指導            (2) 旅館、公衆浴場の浴槽水のレジオネラ属菌検査            (3) 理容所・美容所における器具類の細菌検査</p>	衛生推進課

### (2) 安全な水の安定的な供給

事業名	事業概要	担当課
水道事業への支援及び飲用井戸等の衛生対策の推進	<p>水道事業者等に対し、水道施設の立入検査を実施し、適正な水質管理や施設の維持管理等についての指導助言を行うとともに、国庫補助を活用した水道施設の計画的な整備促進の支援に努めます。</p> <p>また、安全な水の安定的な供給に資する知見等の情報収集に努め、水道事業者等に対し必要な情報の提供に努めます。</p> <p>(1) 水道施設への立入指導（書類検査及び現場検査）            (2) 水道施設の計画的な整備促進への支援（水道国庫補助事業（生活基盤施設耐震化等交付金等）の指導及び助言）            (3) 飲用井戸等の衛生対策指導</p>	衛生推進課
飲料水の放射性物質検査事業	<p>飲料水の安全・安心を確保するため、水道水の放射性物質モニタリング検査及び飲用井戸水等の放射性物質検査の支援を行い、検査結果に応じて助言等を行います。</p>	

### (3) 食品等の安全性の確保

事業名	事業概要	担当課
食品の安全性の確保事業	<p>「平成31年度福島県食品衛生監視指導計画」に基づき、食品営業施設等の監視指導を重点的、効率的かつ効果的に実施するほか、流通食品等の病原微生物などの各種検査（収去検査）を実施し、飲食に起因する健康被害や不良食品の発生を未然に防止するとともに、消費者や食品等事業者に対し、食の安全に関する正しい知識の普及啓発を図ります。</p> <p>(1) 食品製造施設等の監視指導            (2) 食品表示の適正化に係る指導            (3) 食品の収去検査（食品の安全対策事業含む）            (4) 食品衛生思想の普及啓発</p>	衛生推進課



HACCP による衛生管理の導入推進（再掲）	<p>食品等事業者に対し、食品衛生管理手法の国際標準となっている HACCP による衛生管理に、放射性物質管理を加えた県独自の衛生管理手法「ふくしま HACCP」の導入を推進します。</p> <p>(1) 専用アプリ及び業種別手引き書を用いた実習型研修会の開催</p> <p>(2) HACCP 導入済施設のフォローアップ</p>	衛生推進課
食品の放射性物質検査事業	<p>市場等に流通する食品の安全を確認するため、県内産農林水産物を原材料とする加工食品を中心に放射性物質検査を実施します。</p>	

#### (4) 健康危機管理体制の強化

事業名	事業概要	担当課
健康危機管理体制整備事業	<p>原因が特定できない健康被害の発生や、大規模な健康被害が発生した時などの健康危機管理対策に万全を期すため、関係機関との連携体制整備や平常時から模擬訓練等による対応能力の向上を図り、マニュアルに基づく迅速かつ適切な対応に努めます。</p> <p>(1) 平常時対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所内体制整備等</li> <li>・ 模擬訓練等の実施</li> <li>・ 災害時医薬品等の備蓄</li> <li>・ 災害時用医療資機材の保管管理</li> </ul> <p>(2) 発生時対応（24時間体制）</p>	医療薬事課

#### (5) 災害時の保健医療福祉体制の強化

事業名	事業概要	担当課
避難行動要支援者避難支援個別計画策定等支援	<p>避難行動要支援者を迅速かつ的確に安全な場所へ避難させ、避難に伴う健康被害を最小限に抑えるため、避難行動要支援者避難支援個別計画の策定と要支援者避難訓練の全市町村での実施を支援します。</p> <p>水害や土砂災害に備えるため、浸水想定区域や土砂災害警戒区域にある要配慮者利用施設における避難計画の作成や避難訓練の実施について支援します。</p> <p>災害発生時に備え、広域避難が生じた場合も想定した保健・医療・福祉の専門職チーム（DHEAT等）の派遣体制の充実強化に取り組むとともに、避難行動要支援者等の県内外の医療機関や福祉施設での受入確保など、市町村や関係団体との災害時連携体制の強化を図ります。</p>	総務企画課



## 第 3 章

# 令和元年度(平成 31 年度)事業実績



令和元年度（平成31年度）県南保健福祉事務所事業体系

大項目	中項目	小項目
I 復興へ向けた保健・医療・福祉の推進		
	1	復興へ向けた心身の健康管理対策の推進（健康増進課）
		(1) 被災者健康サポート事業
	2	県産加工品の安全性の確保（衛生推進課）
		(1) HACCPによる衛生管理の導入推進
II 全国に誇れる健康長寿の県づくり		
	1	健康づくり県民運動の推進と健康づくり体制の整備（健康増進課・保健福祉課・総務企画課）
		(1) 健康長寿ふくしま推進事業（健康増進課）
		(2) 県南の地域・職域連携推進（健康増進課）
		(3) 自殺予防対策の充実（保健福祉課）
		(4) 自らの能力を発揮できる地域づくりの推進（保健福祉課・高齢者支援チーム）
		(5) 保健師・栄養士等現任教育支援事業（総務企画課）
	2	生活習慣病を予防するための環境づくりの推進（健康増進課）
		(1) 健康長寿のための予防啓発事業
		(2) 特定給食施設管理事業
		(3) ふくしま“食の基本”推進事業
		(4) 地域の栄養サポート体制整備支援事業
		(5) 健康長寿サポーター養成講座
		(6) 歯科保健対策
	3	地域包括ケアシステムの深化と推進（総務企画課・保健福祉課・医療薬事課）
		(1) 在宅医療・介護連携の推進
	4	健全な食生活を育むための食育の推進（健康増進課）
		(1) ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業
		(2) 市町村栄養・食生活支援事業
III 地域医療の推進		
	1	医療従事者等の確保と資質の向上（総務企画課）
		(1) 医師定着促進事業
		(2) 臨床研修医、実習生に対する研修
	2	安全・安心な医療サービスの確保（医療薬事課）
		(1) 地域医療体制の整備（医療薬事課）
		(2) 救急医療体制の整備（医療薬事課）
		(3) 献血者の確保（医療薬事課）
		(4) 医薬品の有効性・安全性の確保（医療薬事課）
		(5) 薬物乱用の防止
	3	感染症対策の推進（医療薬事課）
		(1) 感染症対策の推進
		(2) 結核対策の推進
IV 日本一安心して子どもを産み育てられる環境づくり		
	1	子育て支援サービスの充実（保健福祉課）
		(1) 認可外保育施設運営支援事業
		(2) ふくしま保育料支援事業
		(3) 子育て世代包括支援センター設置促進・機能充実事業
		(4) 障がいのある子どもへの支援
		(5) 妊産婦等に対する支援事業
		(6) 特定不妊治療費支援事業・不育症治療費支援事業

大項目	中項目	小項目
	2	思春期保健対策の推進（保健福祉課）
		（1） 県南地域思春期保健対策推進事業
	3	青少年の健全育成を推進するための社会環境の整備（総務企画課）
		（1） 青少年の健全育成の推進
V ともにいきいき暮らせる福祉社会の推進		
	1	高齢者を対象とした介護・福祉サービスの充実（保健福祉課）
		（1） 地域支援事業の充実
		（2） 介護保険の認定
		（3） おもいやり駐車場利用制度推進事業
		（4） 「福島県やさしさマーク」交付事業
	2	障がいのある方の地域生活への移行支援（保健福祉課・健康増進課）
		（1） 障がい者の地域移行・地域定着推進事業（保健福祉課）
		（2） 相談支援体制及び生活を支えるサービスの充実（保健福祉課）
		（3） 難病対策の推進事業（健康増進課）
	3	生活支援の充実（生活保護課）
		（1） 生活保護事業
		（2） 自立支援プログラムの実施状況
		（3） 長期入院患者退院促進事業
		（4） 生活困窮者自立支援事業の実施状況
VI 誰もが安全で安心できる生活の確保		
	1	生活衛生関係営業施設の衛生水準の維持向上（衛生推進課）
		（1） 生活衛生関係営業施設の衛生確保事業
		（2） その他の事業
	2	安全な水の安定的な供給（衛生推進課）
		（1） 飲料水の安全確保事業
		（2） 飲用井戸等の衛生対策指導
		（3） 飲料水の放射性物質検査事業
	3	食品等の安全性の確保（衛生推進課）
		（1） 食品の安全性の確保事業
		（2） HACCPによる衛生管理の導入推進（再掲）
		（3） 食品の放射性物質検査事業
	4	健康危機管理体制の強化（医療薬事課）
		（1） 健康危機管理体制整備事業
	5	災害時の保健医療福祉体制の強化（総務企画課）
		（1） 避難行動要支援者避難支援個別計画策定等支援

## I 【復興へ向けた保健・医療・福祉の推進】

### I - 1 復興へ向けた心身の健康管理対策の推進（健康増進課）

#### （1）被災者健康サポート事業

##### ① 被災市町村との連絡会の開催

被災者の健康支援を被災市町村等との緊密な連携のもとに継続的に実施するため、連絡会及び打合せを行いました。

##### ア 被災市町村との連絡会

双葉町 5 回、浪江町 1 回、大熊町 1 回、富岡町 2 回 計 9 回実施

##### イ 関係機関との打合せ

心のケアセンターとの打合せ 3 回

県栄養士会との打合せ 2 回

本庁、相双保健福祉事務所との打ち合わせ 1 回

##### ② 被災者健康支援事業

心のケアセンターや社会福祉協議会等関係機関との連携のもとに、借上げ住宅及び復興公営住宅入居者等に対する訪問及び健康相談活動等を実施しました。

##### ア 借上住宅入居者支援

###### ■ 集団支援

###### ○ 県南地域に避難している男性への健康支援（男遊クラブ）

開催場所：白河市産業プラザ人材育成センター等

開催回数：9 回

参加者：延 54 人

内容：運動、健康づくり、栄養・食生活、交流支援等

###### ○ 双葉町社協サロン(交流会)

開催場所：白河中央老人福祉センター

開催回数：5 回

参加者：延 145 人

###### ○ 白河市社協サロン

開催場所：白河中央老人福祉センター

開催回数：3 回

参加者：延 43 人

###### ■ 個別支援

家庭訪問件数：延 12 人（南相馬市 2 人、浪江町 10 人）

来所等による個別相談：延 18 人（内訳：浪江町 14 人、双葉町 4 人）

##### イ 災害公営住宅入居者支援

家庭訪問件数：延 3 人（内訳：浪江町 3 人）

##### ウ 自宅再建者への支援

家庭訪問件数：延 91 人

（内訳：南相馬市 28 人、浪江町 44 人、双葉町 18 人、富岡町 1 人）

##### エ 子ども健やか訪問事業（被災した子どもの健康・生活支援対策等総合支援事業）

対象者：1 歳児、4 歳児、前年度継続者

対応状況：訪問 延 4 人（浪江町 3 人、富岡町 1 人）

従事者：1 人（雇い上げ助産師）

## I-2 県産加工食品の安全性の確保(衛生推進課)

### (1) HACCPによる衛生管理の導入推進

食品事業者に対し、国際標準の食品衛生管理手法であるHACCPによる衛生管理に放射性物質対策を加えた本県独自の「ふくしま食品衛生管理モデル」(通称:ふくしまHACCP)の導入を推進しました。

#### ① HACCP導入のための業種別手引きの作成

福島県で開催したHACCPワーキンググループ会議に参加し、同会議においてHACCP導入普及のための支援マニュアル「ふくしまHACCP導入手引き書」を施設の営業形態別や食品の種類別ごとに作成し、管内の対象施設に配布しました。

#### ② 手引き書等を用いた研修会等の開催

食品事業者等を対象とする講習会において、HACCPに沿った衛生管理の制度化について説明しました。

#### ■ HACCPに沿った衛生管理の制度化について説明した衛生講習会

区 分	実施回数	受講者数
食品関係営業者等講習会	12	277
食品衛生責任者養成講習会	3	103
食品衛生責任者実務講習会	13	132
計	28	512

#### ③ 食品事業者の衛生管理計画への指導・助言

HACCPに取り組む食品事業者を支援するため、ふくしまHACCP導入支援研修会を開催し、県が開発したスマートフォン用アプリを活用して、HACCPの考えを取り入れた衛生管理計画の作成を支援することにより、HACCP導入の促進を図りました。

#### ■ ふくしまHACCP導入支援研修会の実施状況

実施回数	受講施設数
12	246

## II 【全国に誇れる健康長寿の県づくり】

### II-1 健康づくり県民運動の推進と健康づくり体制の整備

(健康増進課・保健福祉課・総務企画課)

#### (1) 健康長寿ふくしま推進事業(健康増進課)

(根拠) 健康長寿推進に関する基本戦略、ふくしま【健】民パスポート事業実施要領、ふくしま健康情報ステーション事業実施要領、「元気で働く職場」応援事業実施要領  
県民一人ひとりが生涯にわたり健やかで心豊かに生活できる「健康長寿社会」の実現にむけ、健康長寿の実現に不可欠な3本の柱(食、運動、社会参加)をベースに、県民総ぐるみ



の施策・事業を推進し、健康づくりに根ざした社会環境の整備、健康な地域づくりを目指し、各事業を行いました。

① 市町村健康増進計画策定支援等

(根拠) 健康増進法第8条

市町村の健康づくりの基本方針である健康増進計画の策定について、健康増進計画の評価改訂を行う市町村に対しては、健康づくり推進協議会への参加や打合せ等の実施により助言指導を行いました。

- ・計画評価改訂市町村：2町（矢吹町、矢祭町）

<参考>健康増進計画策定状況(令和元年度末現在) 策定済み：9市町村

市町村名	健康増進計画	第二次健康増進計画	第三次健康増進計画
白河市	H16年度～H25年度	H26年度～H35年度	
西郷村	H15年度～H19年度	H26年度～H29年度	H30年度～H39年度
泉崎村	—	—	H31年度～H35年度
中島村	—	H29年度～H38年度	
矢吹町	H22年度～H26年度	H27年度～H31年度	R2年度～R6年度
棚倉町	H18年度～H27年度	H27年度～H31年度	
矢祭町	H22年度～H26年度	H27年度～H31年度	R2年度～R6年度
塙町	—	H27年度～H34年度	
鮫川村	H22年度～H26年度	H25年度～H34年度	

② 市町村健康づくり推進協議会に対する支援

各市町村が設置する市町村健康づくり推進協議会から委員と委嘱されている市町村に出席し、健康づくり施策への助言等を行いました。

- ・白河市2回、中島村1回、矢吹町2回、矢祭町1回、塙町1回

③ 健康増進事業技術的助言

管内市町村における健康増進事業・栄養関係事業の実施状況や実施上の課題及びその対応等についての情報交換や相談助言を目的として、管内市町村担当者会議を1回(令和2年3月18日)開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対応により中止となりました。

④ 健康増進事業費補助事業

市町村が住民の健康の向上のため実施する健康増進事業の補助事業で、計画書及び実績等の確認・進達事務を行いました。(補助率2/3)

⑤ ふくしま【健】民パスポート事業

ア 事業の普及啓発に関すること

元気の職場応援事業、健康長寿サポーター養成事業、所主催会議・研修会、各種健康週間の機会にあわせ、チラシ等配布による啓発活動を実施しました。

イ 市町村との連携実施に関すること

市町村への実施に係る相談に対応しました。

⑥ ふくしま健康情報ステーション事業(総務企画課)

オーダーメイド解析事業

福島県が福島県立医科大学健康増進センターに委託している「健康長寿ふくしま推進事業」のモデル市町村事業として西郷村の健康データ分析を行いました。

## (2) 県南の地域・職域連携推進（健康増進課）

（根拠）地域保健法第4条、健康増進法第9条、県南の地域・職域連携推進協議会設置要項  
地域保健と職域保健が連携し、生涯を通じた継続的な保健サービスを提供する体制の整備を図りました。

### ① 県南の地域・職域連携推進協議会の開催

月 日 令和2年2月5日（水）

会 場 白河市「白河市立図書館 地域交流会議室」

出席者 構成機関16名 事務局4名 計20名

議 題 ア 管内の健康課題について

全国健康保険協会福島支部、福島県国民健康保険団体連合会等より

イ 管内における地域・職域で連携した取組みの実施方法について

健診受診率向上対策／喫煙対策／高血圧予防・減塩対策／健康意識向上  
改善対策の各項目について

ウ 地域・職域連携事業

エ 元気で働く職場応援事業

### ② 地域・職域連携事業

平成30年度事業報告・令和元年度事業計画を県南の地域・職域連携推進協議会で報告

### ③ 元気で働く職場応援事業

管内の1事業所をモデル事業所として選定し、福島労働保健センター・管轄市町村・県南地方振興局等と連携しながら、事業所の健康課題や健康増進対策のあり方等を整理し、事業所の健康増進対策や職場環境改善等の支援を行いました。

ア 検討会の開催 4回（令和元年6月17日 AM/PM、令和2年3月9日 AM/PM）

イ モデル事業所における健康支援活動

- ・民間企業健康プログラムを活用した事業の実施
- ・モデル事業所健康増進対策の実施内容及び方法等の企画調整
- ・元気で働く職場応援事業費補助金活用に関する支援
- ・働き盛りの健康づくり担当者研修会の開催

月 日 令和2年2月5日（水）

会 場 白河市「白河市立図書館 地域交流会議室」

出席者 参加者30名 事務局7名 計37名

## (3) 自殺予防対策の充実（保健福祉課）

### ① 県南地域自殺対策推進協議会

管内の自殺者の減少を図るため、市町村・医療・教育・労働・司法関係者等の関係機関と情報共有や連携の推進を目的に実施しました。

日 時 令和元年9月25日（水）13:30～14:50

場 所 白河合同庁舎 大会議室

出席者 構成機関16名 事務局5名 合計21名

- 内 容
- ・県南地域自殺対策推進協議会設置要綱の一部改正について
  - ・県南地域の自殺の現状と取組みについて
  - ・自殺未遂者への支援について等

### ② 自殺予防対策に係る人材育成研修会、キャンペーン等 自殺対策関連事業

（根拠）福島県自殺対策推進行動計画

自殺者の減少に向けて「福島県自殺対策推進行動計画」に基づき、自殺予防に関する普

及啓発の推進、地域の人材育成、市町村の自殺対策への支援等を実施しました。

ア 市町村人材育成事業（自殺予防セミナー）の開催

第3次福島県自殺対策推進行動計画の重点施策に、子ども・若者の自殺予防が挙げられたことから、教育関係機関も対象の対象に加えゲートキーパーの役割について理解することを目的に開催しました。

日 時 令和元年8月27日（火）14:30～16:30

場 所 白河合同庁舎 大会議室

参加者 教育関係者、医療関係者、福祉サービス事業者等 23名

内 容 行政説明「県南地域の自殺の現状について」

講演「地域で守ろう、大切ないのち～精神疾患と自殺予防について～」

講師 コスモス通り心身医療クリニック 院長 圓口 博史氏

イ 心の健康相談事業

（根拠）福島県精神保健相談・訪問指導要領

心の悩みや不安、アルコール、自殺、ひきこもりに関することなど様々な心の問題に対して、心の健康相談窓口を設置し、精神科嘱託医及び保健師が相談に応じるとともに、精神障がい者と医療機関の結びつけ、早期治療の促進、精神障がい者を持つ家族への対応に関する助言等を行いました。

相談区分	開催回数	相談人数	
		実人数	延人数
心の健康相談 *	9	13	15
その他来所相談	随時	22	26
所外相談	随時	8	22
電話相談	随時	94	492
家庭訪問	随時	13	54
	計	150	609

注1) \*精神科医による相談

注2) 「相談人数」の「実人数」について、1人の相談者が2種類以上の「相談区分」で相談実績がある場合（ex. その他来所相談&電話相談）、実人数を把握するため一番上の相談区分（ex. その他来所相談）のみに計上しています。

ウ ひきこもり家族教室

（根拠）福島県精神保健相談・訪問指導要領

ひきこもりに悩む家族に集まる場を提供し、家族同士で話し合い、学び合うこと家族の心理的な安定を図り、ひきこもりへの対応能力を高めることを目的にひきこもり家族教室を実施しました。

参加者 実11人 延べ16人

開催場所 県南保健福祉事務所 大会議室および小会議室

開催日時	内容等
令和元年 8月19日(月) 10:30～12:00	公開講座「ひきこもる心を理解する」 講師 福島県ひきこもり支援センター 主任ひきこもり支援コーディネーター 若月 ちよ氏
令和元年 9月30日(月) 10:30～11:45	家族交流会 助言者 福島県ひきこもり支援センター職員 県南保健福祉事務所職員

令和元年 10月28日(月) 10:30～11:45	家族交流会 助言者 福島県ひきこもり支援センター職員 県南保健福祉事務所職員
----------------------------------	--

③ 自殺対策緊急強化基金事業(市町村事業補助金)

自殺対策緊急強化基金事業

(根拠) 福島県自殺対策緊急強化基金事業実施要綱

自殺者数の減少を図るため、県民ひとりひとりが追い込まれることなく、早期に相談窓口を活用できるよう普及啓発活動等を実施し地域における自殺対策の強化を推進しました。

ア 普及啓発事業

一般住民に対して、自殺や心の健康等に関する正しい知識や各種相談窓口の普及のため、自殺予防街頭キャンペーンを実施しました。

開催日	場 所	主な内容	配布数	備 考
令和元年 7月17日(水)	白河高校、白河第二高校 白河旭高校、白河実業高校	チラシ及び 啓発グッズ の配布	2,269部	教職員へも配布
令和元年 7月18日(木)	修明高校、塙工業高校、 修明高校鮫川校、光南高校		1,394部	
令和元年 9月28日(土) ～29日(日)	白河市総合運動公園		1,400部	しらかわキャラ市 2019参加者に配布
令和元年 3月(強化月間)	白河労働基準監督署他3カ所		760部	各機関に啓発グッズ 等の設置

イ 市町村自殺対策緊急強化支援事業

(根拠) 福島県自殺対策緊急強化基金事業補助金交付要綱

地域における自殺対策を緊急に強化するため必要な経費を交付し、地域の実情を踏まえて自主的に取り組む市町村の活動を支援するため、補助金を交付しました。

- ・ 補助金交付市町村数 9市町村
- ・ 補助金交付額 2,951,000円

ウ 家族のためのうつ病教室

うつ病の方の家族に対して、うつ病の基礎知識や対応方法の基本などの必要な情報を伝えるとともに、自身の健康に目を向ける機会や家族同士の気持ちを分かち合う場を提供すること、また家族の支える力を高めることを目的として、家族のためのうつ病教室を開催しました。

日 時 令和元年12月4日(水) 13:30～15:40

場 所 県南保健福祉事務所 大会議室

参加者 家族、医療関係者等 14名

内 容 講話「うつ病と発達障害の関連について～家族・支援者に知ってもらいたい対応のポイント～」

講師 県立矢吹病院 臨床心理士 吉田 英記氏

家族交流会

(4) 自らの能力を発揮できる地域づくりの推進(保健福祉課)

① 老人クラブ活動等事業

(根拠) 福島県老人クラブ活動等事業実施要綱

老人クラブが行う、高齢者自らの生きがいを高め健康づくりを進める活動や、ボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする活動等に対し補助金を交付しました。

- ・実施市町村 9市町村
- ・補助額 2,722千円

## ② 百歳高齢者知事賀寿事業

(根拠) 百歳高齢者知事賀寿実施要綱

百歳の高齢者に対し、その長寿を祝い、併せて県民の間に広く老人福祉についての関心と理解を深めるとともに、老人の健康の増進に努める意欲を高めることを目的に、知事からの祝状及び記念品を贈呈しました。

- ・令和元年度贈呈者数 35人

(平成30年度 31人、平成29年度41人、平成28年度37人、平成27年度26人、平成26年度43人、平成25年度24人、平成24年度22人、平成23年度32人)

## (5) 保健師・栄養士等現任教育支援事業(総務企画課)

### ① 地域保健福祉活動推進研修

(根拠) 地域保健福祉活動推進研修実施要領

市町村及び関係機関等において地域保健福祉事業及び活動に従事する関係者の資質の向上を図り、地域保健福祉対策が推進することを目的に開催しました。

研修名：「管理者研修」

日時：令和元10月18日(金)13:30～15:30

場所：県南保健福祉事務所会議室

対象者：市町村国保担当課長及び保健担当課長、統括保健師等

参加者：16名

講義：災害保健活動の実践から学ぶ地域保健活動の原点と保健師の役割  
「ソーシャルキャピタルを醸成する健康づくり&地域づくり活動」

講師：公立大学法人福島県立医科大学  
災害公衆衛生看護学講座  
教授 末永カツ子

### ② 保健師現任教育

#### ア 集合研修

第1回 日時：令和元年8月26日(月)13:30～15:30

場所：県南保健福祉事務所会議室

講義：「中堅期に求められる能力(キャリアラダー)」

講師：文教学院大学保健医療技術学部看護学科 准教授 稲毛 映子

出席者：17名

第2回 日時：令和元年12月10日(火)13:30～15:40

場所：県南保健福祉事務所会議室

講義：「事例検討の進め方」

講師：公立大学法人福島県立医科大学看護学部 講師 古戸 順子

出席者：19名

#### イ 市町村新任期保健師・栄養士現任教育支援事業

- ・県南地域市町村保健師・栄養士現任教育運営検討会

実施回数 3回

構成員 管内各市町村・県南保健福祉事務所統括保健師 10人

- ・新任期保健師栄養士研修及び情報交換会

実施回数 3回 参加者延べ数 45人

内容 テーマ別グループワーク、

## Ⅱ－２ 生活習慣病等対策の推進（健康増進課）

### （１）健康長寿のための予防啓発事業（健康増進課）

#### ① 受動喫煙防止対策講習会の開催

県民に対して、禁煙・受動喫煙防止等に関する正しい知識の普及啓発を図るとともに健康増進法一部改正による新たな受動喫煙防止措置について周知しました。

	日時	場所	参加者数
棚倉会場	令和元年7月1日（月） 14：00～16：00	棚倉町立図書館 多目的ホール	34名
白河会場	令和元年7月29日（月） 14：00～16：00	白河市産業プラザ人材育成センター 講堂	31名

対象者：県南地域に居住または勤務している県民、就学前施設・学校等の健康づくりに関わる職員、市町村職員等

#### ② 保健福祉事務所における普及啓発活動

下記普及月間時に、以下のキャンペーン並びに、当所ホームページへの情報掲載、当所・管内県出先機関・事業所等でのチラシ・ティッシュ等の設置配布、のぼり旗の掲示等を実施し、啓発を行いました。

##### ア 「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」（5/31-6/6）

###### ◇街頭キャンペーンの実施

場 所：新白河駅前

実施内容：啓発資材（当所作成啓発用リーフレット付ティッシュ）の配布

配 布 数：500 部

###### ◇普及啓発資材の掲示・配布

場 所：管内県出先機関、管内事業所3か所

実施内容：普及啓発資材（のぼり、三角コーン、当所作成啓発用リーフレット付ティッシュ）の掲示・配布

配 布 数：1,250 部（リーフレット）

##### イ 健康増進普及月間（9/1～9/30）

###### ◇街頭キャンペーンの実施（JA あぐり夢みなみ「り菜あん」）

実 施 日：令和元年9月21日（土）

場 所：り菜あん

実施内容：来店者に啓発資材（食事・受動喫煙防止・健民カードに関する普及啓発資材付ウェットティッシュ）の配布

配 布 数：100 部

###### ◇街頭キャンペーンの実施（しらかわキャラ市2019）

実 施 日：令和元年9月28日（土）、29日（日）

場 所：白河小峰城（城山公園）

実施内容：啓発資材（当所作成啓発用リーフレット、缶バッチ）の配布  
日本循環器学会と協働したブースの運営

配 布 数：リーフレット1,000部、缶バッチ50個

###### ◇普及啓発資材の掲示・配布

実 施 日：令和元年9月1日～9月30日

場 所：当所、白河合同庁舎、棚倉合同庁舎

実施内容：普及啓発資材（ポスター、食事・受動喫煙防止・健民カード関係啓発

資材付ティッシュ)の展示及び配布

配布数：啓発資材 450 部

ウ がん検診受診率 50%達成集中キャンペーン月間 (10/1~10/31)

◇棚倉町食フェスタにおけるキャンペーンの実施

実施日：令和元年 10 月 27 日 (日)

場所：棚倉町食フェスタ会場 (棚倉町城址公園)

実施内容：イベント来場者に啓発資材 (がん検診受診促進に関する当所作成リーフレットつきポケットティッシュ)の配布

配布数：500 部

◇普及啓発資材の掲示・配布

実施期間：令和元年 10 月 1 日 (火) ~10 月 31 日 (木)

場所：当所

実施内容：啓発資材 (がん検診受診促進に関する当所作成リーフレットつきポケットティッシュ)の展示及び配布

配布数：100 部

エ 世界 COPD デー (11/20)

◇普及啓発資材の配布

実施期間：令和元年 11 月 18 日 (月) ~令和元年 11 月 29 日 (金)

場所：当所、管内事業所 4 か所

実施内容：啓発資材 (ティッシュまたはキシリトールガム付き当所作成啓発用チラシ)の配布

配布数：1,000 部

オ 女性の健康週間 (3/1~3/8)

◇普及啓発資材の展示及び配布

実施期間：令和 2 年 3 月 2 日 (月) ~3 月 6 日 (金)

場所：当所

実施内容：普及啓発資材 (当週間ポスター、ポケットティッシュつき子宮頸がん・乳がん検診受診促進啓発チラシ)の展示及び配布

配布数：30 部 (啓発チラシ)

③ 受動喫煙防止対策に関する相談・啓発

健康増進法 (受動喫煙防止) に関する施設類型に応じた禁煙のルール等の周知や受動喫煙の健康影響に関する普及啓発を行いました。

ア 相談対応

対応種別	件数	相談者
電話	25	行政機関 7、事業所 7、飲食店 9、その他 2
来所	4	飲食店
実地調査・訪問指導	7	行政機関 (市町村 3、県 2)、事業所 1、飲食店 1

イ 喫煙防止教育のための教材の整備と貸出及び提供

	件数	貸出先
媒体貸出 (喫煙対策)	3	小学校 1 件、市町村 2 件

ウ 出前講座

管内事業所 (1回 24名 対象：喫煙者)

エ 改正健康増進法 (受動喫煙防止措置) に関する周知活動

食品衛生講習会及び理美容組合衛生消毒講習会等における周知活動 16 回  
リーフレット配布数 396 部

④ 「空気のきれいな施設・車両」の拡大

禁煙に取り組む施設を登録・紹介することで、たばこの煙にふれない環境づくりを推進しています。

申請・届出件数

種別	新規申請	変更申請	辞退届	年度合計	管内総計(R2.3月末現在)
施設	4	0	0	4	108件
車両	0	0	0	0	3事業所、52台

(2) 特定給食施設管理事業（健康増進課）

① 特定給食施設等巡回指導

特定かつ多数の者に対して継続的に食事を提供する施設のうち、栄養管理が必要な施設に対し、指導を実施しました。

ア 特定給食施設数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度
特定給食施設	70	70	70	72
小規模特定給食施設	54	55	57	56
計	124	125	127	128

イ 巡回指導

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度
実施施設数	57	60	56	54

② 特定給食施設等講習会の開催

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度
開催回数	3	3	4	2
参加延人数	133	128	139	124
参加延施設数	104	94	104	93

(3) ふくしま“食の基本”推進事業（健康増進課）

福島県民の食習慣の課題（食事バランスの乱れ、若い世代の野菜摂取不足、塩分の過剰摂取）を改善するために、県南地域におけるふくしま“食の基本”（バランスのよい食事「主食+主菜+副菜」+「減塩」）及びベジ・ファーストの普及啓発及び実践に結びつける方策を検討しました。

① ふくしま“食の基本”推進キャンペーン 9回

下記の機会において、店舗内等に栄養相談コーナーを設置し、バランスのよい食事とベジ・ファーストについて普及啓発を行いました。

ア 管内スーパーにおける普及啓発活動 1回

イ 農産物直売所における普及啓発活動 5回

ウ 市町村等の地域イベントにおける普及啓発活動 1回

エ 夢みなみ農業共同組合イベントにおける普及啓発活動 2回

② ふくしま“食の基本”推進のための人材育成事業

ア ふくしま“食の基本”推進検討会 2回

(ア) 一回目

日 時 令和元年6月28日（金）14:00～15:30

場 所 県南保健福祉事務所「大会議室」

参集機関 福島県栄養士会県南支部、食生活改善推進協議会、福島県保育協議会県南支部、西白河幼稚園・こども園教育研究会、東白川幼稚園・こども園教育研究会、学校給食研究会栄養士部会県南方部会、



夢みなみ農業共同組合、市町村、県南農林事務所、県南保健福祉事務所

参加名 15機関17名、事務局5名 計22名

内 容

説明「ふくしま“食の基本”推進事業について」

協議「県南地域におけるふくしま“食の基本”及びベジ・ファーストの普及啓発について」

(イ) 二回目

日 時 令和元年10月28日（月）14:00～15:30

場 所 県南地方振興局「別棟 大会議室」

参集機関 福島県栄養士会県南支部、食生活改善推進協議会、福島県保育協議会県南支部、西白河幼稚園・こども園教育研究会、学校保健会東西しらかわ支部養護教諭部会、学校給食研究会栄養士部会県南方部会、東西しらかわ農業共同組合、市町村、市町村教育委員会、県南教育事務所、県南保健福祉事務所

参加名 15機関16名、事務局5名 計21名

内 容

県南地域における「ふくしま“食の基本”」及び「ベジ・ファースト」の普及啓発について

説明「第1回検討会結果について」

協議「今後の取組方針について」

イ ふくしま”食の基本”推進のための人材育成研修会 3回

(ア) 一回目 働き盛りの健康づくり担当者研修会 (Ⅱ-1(2)③イ) と併せて実施

(イ) 二回目

日 時 令和2年2月18日（火）10:00～13:15

場 所 夢みなみ農業共同組合しらかわ地区支援センター「調理室及びホール」

出席者 夢みなみ農業共同組合7支部の女性部会役員、女性部会担当職員  
(21名出席)

内 容

説明 「福島県民の健康状態について」

調理実習 「子どもがもっと野菜を好きになる！レシピ」

講話 「子どもの望ましい食習慣～保護者の皆様に知っておいてほしいこと」

グループワーク「各支部で、本日の内容を普及する方法について」

(ウ) 三回目

日時 令和2年2月25日（火）13:30～16:00

場所 サンフレッシュ白河「会議研修室」

出席者 ふくしま“食の基本”推進検討会構成機関、保育所・幼稚園・こども園・小中学校等の食育担当者、市町村食育担当者、食生活改善推進員  
(33施設43名出席)

内 容

説明 「ふくしま“食の基本”推進事業について」

事例発表 「県南地域における『“食の基本”推進デー』を実施して」

発表1 「“食の基本”推進デーの取り組みについて」

発表2 「子ども自身の『食べる力』を育む食育について」

基調講演 「みんなが健康になるために、私たちができること」

グループ討議「健康的な食行動を実践できるようになるための具体的な方策について」

③ うつくしま健康応援店の普及拡大

応援店の登録について : 新規登録店舗 3 店舗  
応援店への支援について : 健康づくり講座 2 回 延べ 4 店舗 延べ 7 人  
健康応援店登録状況 : 新規登録店 3 店舗、廃止 0 店舗、管内応援店 87 店舗

(4) 地域の栄養サポート体制整備事業 (健康増進課)

① 地域の栄養サポート体制整備支援検討会

ふくしま“食の基本”推進検討会 ((3)-②-ア) と併せて実施しました。

(5) 健康長寿サポーター養成講座 (健康増進課)

① 「健康長寿サポーター養成」出前講座の実施

健康長寿を目指し、働き盛り世代の県民を中心に、出前講座の一環として「健康長寿サポーター養成講座」を実施しました。

開催年月日	事業所・団体	参加者数	選択項目
令和元年8月21日	あったかサロン双石	16人	がん検診
令和元年10月10日	福島森林管理署 白河支署	24人	アルコール
令和元年11月20日	白河地区電気工事協同組合	59人	がん検診

(6) 歯科保健対策 (健康増進課)

① 市町村歯科保健強化推進事業

市町村の地域特性に応じた支援を行うために、市町村歯科保健強化推進検討会を開催し、歯科保健支援体制の構築を図りました。

ア 歯科保健情報システムの運用

例年、市町村の歯科保健に関する情報について、集計、分析を行い、市町村歯科事業評価及び計画を支援しています。(参照資料編 表 2)

イ 市町村歯科保健強化推進検討会の開催

子どものむし歯緊急対策検討会と併せて実施 (④-イ 記載内容参照)

② 地域歯科保健活動推進事業

地域保健対策における歯科口腔に関する地域住民の健康の保持及び増進を推進させることを目的に実施しました。

ア 地域における歯科保健事業に関する企画、調整、指導の実施 (計 2 件)

イ 歯科保健対策の推進に必要と認められる事項

- (ア) 歯科保健の普及啓発に関すること (出前講座 3 回、延べ 136 名)
- (イ) 歯科保健に関する相談、情報提供等 (計 7 件)

③ ヘル歯一ケア推進事業

生涯を通した歯の健康づくりを推進するため、在宅療養者らに対し口腔保健指導を行うとともに、施設等の保健担当者への助言指導を行いました。

ア 電話相談 (在宅療養者)

相談のあった難病患者に対し、口腔保健指導を行いました。

対象種別	実人数	延人数
難病患者	3 人	3 人
援護者	2 人	2 人
計	5 人	5 人

イ 家庭訪問指導

難病患者及び家族に対し、口腔保健指導を行いました。

対象種別	実人数	延人数
難病患者	1人	1人
援護者	1人	1人
計	2人	2人

ウ 施設入所者・通所者等

下記施設の通所者及び施設職員に対し、口腔保健指導及び助言指導を行いました。

施設名	回数	利用者		支援者（職員等）	
		実人数	延人数	実人数	延人数
甲子の里希望の家	1回	49人	49人	7人	7人
生活介護事業 マーブル	1回	12人	12人	4人	4人
放課後等デイサービス	1回	10人	10人	3人	3人
発達支援センターまきびと	3回	35人	35人	8人	10人
計	6回	106人	106人	22人	24人

④ 子どものむし歯緊急対策事業

子どものむし歯を予防するため、市町村において乳幼児及び小学校の児童・生徒を対象としてむし歯予防事業を総合的、体系的に実施することにより、地域における歯科保健水準の向上を図ることを目的とし、以下の事業を行いました。

ア 子どものむし歯緊急対策研修会の開催

日 時：令和元年8月7日(水)14:00～16:00

場 所：サンフレッシュ白河 会議研修室

参加者：管内保育所・幼稚園・小学校・市町村職員、歯科医師、歯科衛生士等  
40名（内事務局4名）

内 容：(ア)情報提供「福島県及び県南地域のむし歯の現状について」

説明者 県南保健福祉事務所 健康増進課

(イ)講話講話「小児の口腔管理に必要な最新の知見

～う蝕予防から口腔機能管理まで～」

講師 東北大学大学院 歯学研究科 口腔保健発育学講座

小児発達歯科学分野 教授 福本 敏 先生

イ 子どものむし歯緊急対策検討会の開催（1回）

市町村歯科保健強化推進検討会と併せて実施。

日 時：令和2年1月30日(木)13:15～14:50

場 所：県南保健福祉事務所 大会議室

参集者：管内歯科医師会、歯科衛生士会、管内保育協議会・幼稚園教育研究会、  
養護教諭部会、市町村歯科保健担当者、市町村教育委員会担当者  
計21名（内事務局5名）

内容：(ア)説明「県内及び管内のむし歯の状況及びフッ化物洗口実施状況について」

(イ)協議「市町村歯科保健指導事業（妊産婦期～学齢期）の実施状況について」  
「歯科保健に関する課題及び目標の共有状況について」

ウ 市町村フッ化物洗口実施に関する情報交換会

日 時：令和2年1月30日（木）15:00～16:00（子どものむし歯緊急対策検討会開催後）

場 所：県南保健福祉事務所 大会議室

参集者：市町村歯科保健担当者、市町村教育委員会担当者 計15名（内事務局3名）

内 容：効果的な継続実施につなげるため、各市町村のフッ化物洗口実施状況等の情報交換を行った。

<情報交換内容>

- ・同意書の取り方について
- ・ディスペンサーボトルの洗浄について、ボトルの消毒液について
- ・就学前施設におけるフッ化物洗口開始時期について
- ・年少児（3歳児）のむし歯予防の取組みについて
- ・フッ化物洗口実施回数について

**エ 市町村フッ化物洗口事業開始に係る市町村支援**

- ・説明会等講師派遣（1市1回）

**オ フッ化物洗口事業に対する補助**

就学前集団施設（保育所・幼稚園・認定こども園等）及び小学校において、フッ化物洗口を実施する市町村への補助事業で、計画書及び実績等の確認・進達事務を行いました。

## Ⅱ－3 地域包括ケアシステムの深化と推進（総務企画課・保健福祉課・医療薬事課）

### （1）在宅医療・介護連携の推進

① 県南地域在宅医療・介護連携推進会議

2月に開催予定でしたが新型コロナウイルス感染症対策のため開催を見送りました。

② 県南地域在宅医療・介護連携推進事業

県南地域における在宅医療・介護連携を推進するための住民セミナーを開催しました。

日 時 令和元年11月25日（月）14:00～16:00

場 所 矢吹町保健福祉センター

内 容 人生100年時代の自分の最期を考える、通いの場住民体験談、楽しく生きるコツ

③ 県南地域における退院支援ルール策定会議

在宅医療・介護連携の推進と、退院後の高齢者の円滑な在宅復帰を目指す「県南地域における退院支援ルール策定会議」を開催しました。

日 時 令和2年2月20日（木）14:30～15:30

場 所 サンフレッシュ白河 会議研修室

内 容 退院支援ルールの運用状況、ガイドラインの改訂について

④ 地域医療構想調整会議

県南地域の医療構想の実現に向けた関係者との会議を開催しました。

ア 第1回

日 時：令和元年8月1日（木）16:00～17:30

場 所：県南保健福祉事務所 大会議室

内 容：病床機能の定量基準に対する各病院の検討状況について 他

イ 第2回

日 時：令和2年1月31日（金）18:30～20:00

場 所：県南保健福祉事務所 大会議室

内 容：外来医療計画について、民間医療機関の2025プランについて 他

ウ 第3回

日 時：令和2年2月28日（金）書面開催

内 容：「福島県外来医療計画（案）」に関する意見徴収

## Ⅱ－４ 健全な食生活を育むための食育の推進(健康増進課)

### (1) ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業(健康増進課)

- ① こどもの食を考える地域ネットワーク会議 2回  
ふくしま“食の基本”推進検討会(Ⅱ-2(3)②ア)と併せて実施しました。
- ② 保育所等を対象とした食の指導者育成研修会 1回  
ふくしま“食の基本”推進のための人材育成研修会(Ⅱ-2(3)②イ)(3回目)と併せて実施しました。

### (2) 市町村栄養・食生活支援事業(健康増進課)

- ① 市町村栄養士資質向上のための研修会及び検討会等  
ア 市町村食育推進計画策定に向けた支援  
令和元年度に食育推進計画改定予定である矢吹町と矢祭町に対し、進捗状況確認等の声かけ支援を行いました。

#### 【市町村訪問】

月日 令和元年5月22日(水) 支援市町村 矢吹町(支援者数 3名)  
内容 行政栄養士配置に対する働きかけ、食育推進計画改定作業の確認

#### イ 市町村栄養業務担当者会議(福島県行政栄養士現任教育研修会と同時開催)

月日 令和元年6月28日(金)  
会場 県南保健福祉事務所「大会議室」  
支援市町村・支援者数 7市町村 8名(管理栄養士・栄養士・統括保健師)  
内容 説明「行政栄養士人材育成の必要性について」  
グループワーク「住民を主体にした食育・栄養行政のめざす姿について」

## Ⅲ 【地域医療の推進】

### Ⅲ－１ 医療従事者等の確保と資質の向上(総務企画課)

#### (1) 医師定着促進事業

- ① 地域医療体験研修  
県内外の医学生を対象に、地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、東白川地域等における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうため、宿泊体験研修を実施しました。  
日 時：令和元年8月21日～23日(2泊3日)  
参加者：14名(福島県立医科大学3年生13名、大阪市立大学3年生1名)  
内 容：塙厚生病院、特別養護老人ホームユアアイホーム等医療・介護現場の視察  
医師等医療関係者との懇談会  
鮫川村国保診療所医師の講話  
地域住民との交流(健康教室)
- ② 福島県立医大と連携した体験型実習の実施  
“ひがししらかわ”ふれあい交流事業  
地域医療に従事する医師確保の推進のため、福島県立医科大学での実習とタイアップし、医学生が東白川地域の生活を地域住民とのふれあいを通して学ぶことができる体験型実習を棚倉町で実施しました。  
日 時：令和元年11月5日(火)、11月12日(火)、12月3日(火)

参加者：10名（福島県立医科大学医学部3年生）、棚倉町5家庭  
 内容：健康問題を課題とする家庭を訪問し、交流を通じて課題を把握する。

③ 小学生を対象とした医療現場見学等の親子学習会の開催  
 “ひがししらかわ” 未来の医療人は君だ！ 事業

小学生のうちから、地域医療等について学ぶ機会を提供し、地域医療等への関心を高めるため、夏休みに親子学習会を実施しました。

日時：令和元年7月26日（金）

参加者：東白川郡管内の小学校4～6年生及びその保護者  
 親子3組（6名）

内容：塙厚生病院見学～特別養護老人寿恵園 昼食（介護食）・見学～  
 白河オリンパス見学（内視鏡操作体験）

(2) 臨床研修医、実習生に対する研修

① 医師臨床研修「地域保健・医療」研修

(根拠) 医師法及び「福島県保健福祉事務所標準研修プログラム」

平成16年度から医師臨床研修制度に基づく「地域保健・医療」研修がスタートしたことに伴い、臨床研修病院から研修医を受入れ、当事務所における研修プログラムに基づき、県南地域の保健・医療の現状を踏まえながら地域保健・医療研修の充実に努めました。

人数：6人

時期：令和元年7月3日～令和2年1月24日

期間：各3日間

② 実習生に対する教育・実習指導

(根拠) 福島県保健医療福祉関係実習生受入実施要綱

保健福祉事務所の実習を通して、地域保健福祉活動の理解を深めることを目的に、保健医療・福祉学生等の実習指導を行いました。

■実習生受入状況

養成施設名	実習人数	実習期間
福島県立医科大学看護学部2年	14人	令和元年10月28日(一斉講義) 令和元年11月5日～11月8日 11月11日～11月14日
ポラリス保健看護学院4年	9人	令和元年5月27日
郡山女子大学3年	4人	令和元年8月26日～8月30日
独協医科大学医学部5年	2人	令和元年10月29日～11月1日
奥羽大学薬学部5年	1人	令和元年7月3日、10月3日

Ⅲ-2 安全・安心な医療サービスの確保（医療薬事課）

(1) 地域医療体制の整備

① 医療安全研修会の開催

医療安全対策は医療政策の最重要課題であり、地域住民に安心・安全な医療を提供するためには、すべての関係者が共通意識を持って取り組む必要があります。

そこで、医療機関が医療安全対策に組織的に取り組むことができるよう意識の向上と実践できる知識の習得を図りました。

日時：令和元年11月8日（金） 19：00～20：30

場所：新自信ビル イベントホール

対象者：管内の医療機関の管理者、医療従事者及び事務担当職員等

参加者：186名

内容（講演1）「医療安全トピックス」

講師 県南保健福祉事務所 専門薬剤技師 鈴木智子

（講演2）「医療機器管理のポイント」

講師 一般社団法人福島県臨床工学技士会

副会長 西勝光紀 先生

## ② 県南地域医療安全ネットワーク会議の開催

県南地域8病院のリスクマネージャーを構成メンバーとする情報連絡会議を定期的に行い、医療安全（院内感染対策）に関する事例検討や情報交換を行うとともに、リスクマネージャー等のレベルアップを図りました。

ア 目的

各病院における医療安全管理の責任者であるリスクマネージャー（医療安全推進者）間の情報交換及び安全対策意識の向上を図ることにより、医療現場における事故減少並びに安全管理体制の確保に努めることを目的とする。

イ 実施内容

日時：令和2年2月14日（金）15：00～17：00

場所：県南保健福祉事務所 大会議室

参加者：リスクマネージャー、看護師等 21名

内容：検体検査の精度の確保に係る標準作業書、日誌等の作成について 他

## ③ 医療法に基づく医療機関への定期的立入

病院、診療所、助産所等について、関係法令に規定された構造設備及び適正人員の配置状況、さらには、適正な管理が行われているか等について立入検査を実施し、県民に適正な医療が提供できるよう指導・助言を行いました。

（参照資料編 表3）

### ■医療監視実施数

立入実施数	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
病院	8	8	8	8	8
一般診療所	47	19	34	36	28
歯科診療所	23	12	22	24	26
助産所		1	0	1	1
施術所	19	16	21	19	18
歯科技工所	1	0	0	0	8
合計	98	56	85	88	89

## ④ 医療相談

患者、家族からの医療に関する苦情、心配事などの相談に迅速に対応するとともに、医療機関への情報提供、指導を実施しました。

医療相談件数 15件

## ⑤ 医療法等に基づく許認可事務

医療機関の開設（病院を除く。）許可、使用許可等の事務を行いました。

診療所開設許可 11件

病院診療所変更許可 6件（病院 4・診療所 2）

病院診療所使用許可 3件（病院 3・診療所 0）

(2) 救急医療体制の整備（医療薬事課）

① 県南地域救急告知病院の夜間休日診療体制情報の集約と提供

ア 県南地域救急医療対策協議会の実施

地域の救急医療体制の整備、充実を図るため、医療・行政・消防など関係機関による検討、協議を必要に応じ実施しますが、今年度は資料の配付を行いました。

イ 第二次救急医療体制の整備

休日、夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の救急医療体制については、救急医療輪番病院群により実施しています。

■ 第二次救急医療機関

令和2年3月31日現在

医療機関名	住 所	病院群 輪番制	救 急 病 院
福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院	白河市豊地上弥次郎2-1	○	○
医療法人社団恵周会 白河病院	白河市六反山10-1	○	○
公益財団法人会田病院	西白河郡矢吹町本町216	○	○
福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院	東白川郡塙町大字塙字大町1丁目5	○	○
計		4	4

(3) 献血者の確保（医療薬事課）

① 街頭献血キャンペーン

令和元年 7月11日（木） 白河駅前イベント広場  
令和元年 11月28日（木） 白河駅前イベント広場

② 献血協力事業所等の訪問

市町村、血液センター、保健福祉事務所の3者により事業所を訪問し、引き続き献血への理解と協力を求めました。

令和元年 6月10日～令和元年 10月25日 3日間  
訪問事業所数（延べ） 31件

③ 市町村献血担当者会議の開催

令和2年1月23日（木） 県南保健福祉事務所 大会議室

④ 献血併行型骨髄ドナー登録の実施

福島県骨髄バンク連絡協議会と連携し、移動献血併行型登録会を開催するとともに、毎週水曜日には所内でも登録を受け付けています。

■ 管内の骨髄バンク登録者数の推移

年 度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
開催件数（件）	6	6	15	15	18
登録者数（人）	32	54	66	77	83



(4) 医薬品の有効性・安全性の確保（医療薬事課）

① 薬局等薬事営業者への立入指導

医薬品等の安全性を確保するために、医薬品等の製造業者、薬局薬店等に立入検査を実施し、不良医薬品等の発見、法令の遵守状況の監視取締り及び指導を行いました。

■ 薬事監視結果

令和2年3月31日現在

業 種 別	対 象 施設数	立入検査施設数		違 反 発見数	処 分 件 数	
		実 数	延 数		説 諭	そ の 他
医薬品						
薬局	51	17	19	9	9	
製造業	専業	5	5	9		
	薬局	2	1	1		
製造販売業（薬局のみ）	2	1	1			
店舗販売業	32	9	9	7	7	
卸売販売業	4	1	1			
薬種商販売業						
特例販売業	1					
配置販売業	1					
医薬部外品						
製造業	5	4	5			
化粧品						
製造業	4	3	4			
医療機器						
製造業	10	5	5			
修理業	2	2	2			
販売業	高度管理医療機器等	54	13	13	4	4
	管理医療機器	244	14	14	2	2
賃貸業	高度管理医療機器等	17	3	3	1	1
	管理医療機器	14				
再生医療等製品販売業	1					
合 計	449	78	86	23	23	
30年度	437	102	114	46	46	
29年度	474	129	189	70	70	1
28年度	425	98	122	45	45	
27年度	414	112	112	8	8	

\*：含始末書

○薬局開設・医薬品販売業の許可事務

■薬局・医薬品等販売業等の許可等処理件数

令和2年3月31日現在

区 分	新 規	許 可 更 新	許 可 証 書		変更届	廃止届	休止届	再開届
			書換交付	再交付				
薬 局	2	3			134	1		
医 薬 品 販 売 業	店舗	1	3	1	71			
	卸売				2			
	薬種商							
	特例							
配置								
配置身分証明書		6				※ 3		
薬局医薬品製造販売業		1						
薬局医薬品製造業		1						
高度管理医療機器等販売・貸与業	1	1			12			
高度管理医療機器等販売業		3			16	1		
高度管理医療機器等貸与業								
管理医療機器販売・貸与業	1							
管理医療機器販売業	10				12	3		
管理医療機器貸与業								
再生医療等製品販売業								
合 計	15	18	1	0	247	8	0	0
30年度	38	22	9		272	20		
29年度	42	32	2		215	33	1	1
28年度	50	32	8	2	260	24	2	
27年度	90	18	5		204	33		1

※返納届

② 毒物劇物営業者への立入指導

毒物及び劇物取締法に基づいて、毒物劇物製造業者及び販売業者並びに業務上取扱者に対する指導取締りを行い、事故の未然防止に努めました。

■監視指導実施結果

令和2年3月31日現在

業 種 別	対 象 施設数	立入検査 施設数	違反発見 件 数	処 分 件 数	
				説 諭	その他*
毒物劇物製造業	2	2			
毒物劇物輸入業					
販 売 業	一般	41	9	4	2
	農薬用品目	43	15	9	8
	特定品目	1			
業 務 上	電気メッキ業	1	1		
	金属熱処理業				
	運送業	1			
届出不要		9			
特定毒物使用者					
特定毒物研究者					
合 計	89	36	13	10	3
30年度	87	45	20	18	1
29年度	83	49	11	10	1
28年度	82	41	16	15	1
27年度	92	85	2	1	1

○毒物劇物販売業の登録事務

■毒物劇物販売業登録等の事務処理件数

令和2年3月31日現在

区分	新規	登録 更新	登録票		変更届	責任者 ・設置・ 変更届	廃止
			書換 交付	再交付			
製造・輸入業							
販 一般	3	4	1		1	7	1
売 農業用品目	1	4			1	7	1
業 特定品目							
特定毒物使用者							
特定毒物研究者							
業務上取扱業者							
合計	4	8	1		2	14	2
30年度	6	16	1		7	12	2
29年度	4	8			12	13	3
28年度	4	20	1	1	7	20	7
27年度	12	8	9		12	17	17

③ 麻薬等取扱施設への立入指導

ア 麻薬取扱者指導取締事業

麻薬及び向精神薬取締法に基づき、麻薬取扱施設の監視指導を行いました。

- ・立入検査 34件

■麻薬取扱者数

令和2年3月31日現在

卸売業者	小売業者	施用者	管理者	研究者	施用施設	合計
3	42	187	14	1	48	295

イ 覚醒剤等取扱者指導取締事業

覚醒剤取締法に基づき、覚醒剤等取扱施設の監視指導を行いました。

- ・立入検査 75件

■覚醒剤等取扱者数

令和2年3月31日現在

施用機関	研究者	原料研究者	原料取扱者	合計
0	0	1	※223	224

※病院・一般診療所・歯科診療所・薬局（219）含む

ウ 向精神薬取扱者指導取締事業

麻薬及び向精神薬取締法に基づき、向精神薬取扱施設の監視指導を行いました。

- ・立入検査 75件

■向精神薬取扱者数

令和2年3月31日現在

製造製剤業者	試験研究施設	みなし業者	計
0	1	※223	224

※病院・一般診療所・歯科診療所・薬局・卸

④ 麻薬及び向精神薬取締法に基づく麻薬免許等事務

麻薬及び向精神薬取締法に基づき、事務処理を行いました。

ア 麻薬免許事務件数

- ・免許申請 131件
- ・免許証記載事項変更届 30件
- ・業務廃止届 22件

イ 麻薬廃棄等届出件数

- ・麻薬事故届 14件
- ・調剤済麻薬廃棄届 29件
- ・麻薬廃棄届 20件
- ・麻薬現在量届 2件
- ・麻薬譲渡届 1件
- ・麻薬受払等届 88件
- ・麻薬営業者法人役員変更届 9件

⑤ 覚醒剤取締法に基づく覚醒剤取扱指定等事務

・覚醒剤原料廃棄届 2件 覚醒剤原料事故届 1件

⑥ 不正大麻・けし撲滅運動の実施（5月15日～7月31日）

啓発活動を行うとともに不正大麻・けしのパトロール等により発見した不正けし・大麻を抜去しました。

・抜去本数 けし 1本（1件）

（5）薬物乱用の防止（医療薬事課）

① 小中高等学校の薬物乱用防止教室への講師派遣

薬物乱用の低年齢化が進行していることから、若年層に重点を置いた啓発事業を展開し、薬物乱用防止教室への講師派遣による啓発を実施しました。

■薬物乱用防止教室講師派遣状況

実施校		受講者数
小学校	3校	192人
中学校	4校	606人
高校	5校	766人
その他	3校	181人
計	15校	1,745人

② 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動による啓発

■ヤング街頭キャンペーン

覚醒剤・シンナー等の薬物乱用を防止するため、保護司・民生児童委員・薬剤師等からなる各地区薬物乱用防止指導員協議会（白河地区指導員29名・東白川地区指導員30名）高校生及びボランティア団体の協力を得て街頭キャンペーンを行い、地域に根ざした街頭啓発活動を実施しました。

地区名	白河地区	東白川地区
実施年月日・場所	令和元年6月22日（土）・白河市	令和元年7月5日（金）・棚倉町

■薬物乱用防止指導員協議会の育成指導

地域や団体等における啓発を図るため、薬物乱用防止指導員に対する研修会を開催し、活発な自主活動の展開に向けての技術的な支援を行いました。

ア 研修会への講師派遣

協議会名	白河地区薬物乱用防止指導員協議会	東白川地区薬物乱用防止指導員協議会
開催日	令和元年5月29日（水）	令和元年5月30日（木）

イ 研修会の開催

薬物乱用防止指導員等を対象に、白河地区及び東白川地区薬物乱用防止指導員協議会と共催で研修会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染対策のため中止となり、啓発資料を用いて自宅学習しました。

### Ⅲ－3 感染症対策の推進（医療薬事課）

#### （1） 感染症対策の推進

##### ① 平常時対策

（根拠）感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）  
感染症に関する正しい知識の普及、情報の収集・分析や公表、人材の養成・資質の向上、  
感染症発生時の医療提供体制の整備等を行いました。

##### ② 令和元年度県南地域新型インフルエンザ等対応訓練（病院実動訓練）

福島県新型インフルエンザ等対策マニュアルに基づき、白河病院の協力を得て実施しました。

日 時：令和元年 11 月 13 日（水） 14:00～15:20

場 所：白河病院 1 階ロビー

参加者：41 名

内 容：講義及び演習「新型インフルエンザ等発生時の医療体制について」  
「白河病院における病院実働訓練について」

講 師 白河病院 和久病院長

説明及び見学「患者搬送用資機材の展示・説明」

白河病院職員、県南保健福祉事務所医療薬事課職員

##### ③ 所内における研修会の開催

新型インフルエンザ発生時に速やかに対応し、感染拡大防止を図るために保健所内の体制と対応等について、研修を実施しました。

日 時：令和元年 5 月 22 日、6 月 12 日 計 2 回

場 所：県南保健福祉事務所 会議室

参加者：県南保健福祉事務所職員、病院職員、医師会、消防本部職員等 54 人

内 容：標準予防策について

個人防護具着脱訓練 他

④ 感染症発生動向調査事業

(根拠) 福島県結核・感染症発生動向調査事業実施要綱

ア 感染症患者届出状況・全数把握

医師が感染症法に定められた疾病であると診断し届出が行われた場合は、その感染症に係る発生状況等を正確に把握・分析し、その結果を住民や医療関係者への確に提供・公開しました。

イ 感染症患者報告状況・定点把握

感染症発生動向調査指定届出機関から、管内における患者情報及び病原体情報を収集しました。また、医師会等の関係機関に対して、感染症に関する情報を解析・提供しました。

■全数把握報告数

単位:件

年度	1類	2類	3類	4類	5類	新型インフルエンザ等	平成31年度内訳
26	0	12	2	5	3	0	2類 結核 6件
27	0	13	1	12	2	0	3類 腸管出血性大腸菌感染症 5件
28	0	15	7	12	2	0	4類 つつが虫病 5件
29	0	17	0	15	2	0	レジオネラ 3件
30	0	14	3	10	21	0	A型肝炎 1件
31	0	6	5	9	12	0	5類 百日咳 1件 梅毒 6件 他

⑤ 感染症患者発生時対策

疫学調査の実施

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第15条の規定に基づく調査が必要な感染症が発生した際に積極的疫学調査を実施し、地域における詳細な流行状況の把握や感染源及び感染経路の究明を図りました。

また、接触者等に対して健康診断を行い、二次感染の防止に努めました。

平成31年度内訳

結核6件、腸管出血性大腸菌感染症5件、つつが虫病5件、レジオネラ3件、梅毒6件等 32件

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
実施件数	43件	44件	48件	32件

■ 定点把握疾患別報告数(平成31年)

単位:件

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
インフルエンザ	1,243	932	212	134	60	16	8	0	18	20	48	645	3,336
RSウイルス感染症	10	6	5	2	6	5	9	36	59	23	10	1	172
咽頭結膜熱	4	2	4	0	5	6	6	1	2	1	4	5	40
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	33	27	31	34	27	16	18	18	23	28	27	303
感染性胃腸炎	103	73	60	90	125	127	56	26	7	11	36	44	758
水痘	2	7	9	7	17	7	7	7	2	1	4	0	70
手足口病	2	0	0	0	4	33	290	110	66	19	20	12	556
伝染性紅斑	52	44	21	8	6	10	3	2	2	1	4	4	157
突発性発しん	2	2	3	8	5	18	5	5	5	6	9	0	68
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	5	48	33	14	2	0	0	102
流行性耳下腺炎	5	2	4	2	2	7	2	0	1	2	0	1	28
急性出血性結膜炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
流行性角結膜炎	9	6	11	20	20	4	17	5	7	4	36	20	159
細菌性髄膜炎※1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	3	2	0	0	1	0	0	0	4	1	0	11
クラミジア肺炎※2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎※3	0	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	8
インフルエンザ(入院)	15	27	5	3	0	0	0	0	0	1	1	21	73
性器クラミジア感染症	4	3	3	4	3	3	4	3	2	6	1	2	38
性器ヘルペスウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
尖圭コンジローマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
淋菌感染症	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	6	3	6	5	3	2	3	4	2	3	4	5	46
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

※2 オウム病は除く。

※3 ロタウイルスに限る。

⑥ 感染症情報の定期的な発行

県南地域の社会福祉施設（高齢者施設、児童福祉施設、障がい者施設等）、医療機関及び教育委員会を対象に感染症に関する情報を定期的に提供した。

県南地域感染症情報共有システムの構築

平成22年6月より毎月1回程度（情報提供が必要な事態が発生した場合は随時）感染症情報を対象施設に電子メール及びファックスにより送信しています。（254か所）

平成31年度は、定期号11回と臨時号6回の、計17回発信しました。

⑦ エイズ等予防対策事業

エイズ等予防対策

（根拠）福島県HIV検査実施要領

ア エイズ等相談・HIV抗体・梅毒検査事業

毎週木曜日、夜間検査として第2・4木曜日（月2回）実施しています。

■相談・検査実施件数

単位：件

年度	エイズ相談件数			HIV抗体検査 ( )は夜間検査			梅毒検査		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
27	46	19	65	11	5	16(7)			
28	49	31	80	14	10	24(12)	6	1	7(1)
29	58	15	73	15	5	20(6)	15	5	20(6)
30	61	22	83	15	5	20(6)	13	5	18(5)
31	35	11	46	8	3	11(5)	8	3	11(5)

HIV：ヒト免疫不全ウイルス梅毒検査：H28.12月より実施しています。

イ エイズ等予防啓発事業

エイズ予防出前講座

エイズや性感染症に関する正しい理解を図り、エイズ・性感染症の予防と患者・感染者への差別・偏見の解消について考える機会として健康教育を行いました。

■エイズ等予防出前講座の実施状況

単位：回又は人

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0	0	0
高等学校	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	19	1	22	1	9	1	19
計	1	19	1	22	1	9	1	19

■世界エイズデー関連事業

県立高校等に対し学校を通じて全校生徒・学生へ啓発資材を配付し、エイズに関する正しい知識、レットリボンの意味、検査の受け方に関する啓発を行いました。また、街頭キャンペーンにより住民等への啓発を行いました。

啓発資材配付数	県立高校（3校）	400個
	看護学校（2校）	50個
	短期大学（1校）	50個
リーフレット配布数	管内住民	500部

⑧ 肝炎治療特別促進事業

（根拠）福島県肝炎治療特別促進事業実施要綱

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎について、肝硬変・肝がん等への進行予



防および肝炎治療を推進するため、インターフェロン治療患者、インターフェロンフリー治療患者及び核酸アナログ製剤治療患者の経済的負担の軽減と受診機会の拡大を図りました。

**医療費助成**

対象医療：C型ウイルス性肝炎の根治を目的とするインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療で、保険適用となっているもの。B型ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療で保険適用となっているもの。

助成期間：同一患者について1年以内。（延長規定、2回目の制度利用規定有り、核酸アナログ製剤治療に関しては助成期間の更新有り）

**肝炎治療特別促進事業受給者証発給状況**

申請件数：95（B型肝炎 70件、C型肝炎 25件）

- ・受給者証発給数：95件
- ・不承認数：0件

**肝炎ウイルス検査及び陽性者フォローアップ事業**

（根拠）福島県肝炎ウイルス検査及び陽性者フォローアップ事業実施要領

利用者の利便性に配慮した肝炎ウイルス検査を実施することにより、肝炎ウイルス陽性者を早期に発見するとともに相談やフォローアップにより陽性者を早期治療につなげ、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を図ります。

**肝炎ウイルス検査**

毎週木曜日に実施しています。

単位：件

年度	HCV・HBs相談	HCV検査	HBs抗原検査
27	347	6	6
28	279	8	8
29	260	6	6
30	201	17	17
31	213	6	6

（HCV：C型肝炎ウイルス HBs：B型肝炎ウイルス抗原）

**初回精密検査費用及び定期検査費用の助成**

- 初回精密検査 3件
- 定期検査 6件

**⑨ 社会福祉施設等感染症予防対策研修会の開催**

情報交換を行い、施設毎に感染症発症時の対策が図れるよう支援するとともに研修会を通して、各施設の職員の感染症予防対策のさらなる向上を図りました。

**県南地域感染制御ネットワーク支援研修会の開催**

日時：令和元年7月10日、7月17日（2回）

対象：高齢者、児童福祉、障がい者及び生活保護法に基づく施設の管理者、職員等

場所：県南保健福祉事務所 大会議室

内容：社会福祉施設等における感染症対策について

講師：県南保健福祉事務所 部長、職員

参加者：97人

(2) 結核対策の推進（医療薬事課）

市町村別結核患者新登録患者数

平成31年の新登録患者3人のうち、喀痰塗抹陽性であった者は2人となっています。

ア 新結核患者登録者数（年別・市町村別・活動分類別）

（当該年に新たに結核患者として登録された数）

単位：人

区分 年別 市町村別	活動性肺結核								※罹患率 (人口10 万対)	別掲 潜在性 結核 感染症
	総数	肺結核活動性						肺外結 核活動 性		
		総数	喀痰塗抹陽性			その他 の結核 菌陽性	菌陰性 その他			
		総数	初回治療	再治療						
平成27年	9	5	1	1	0	2	2	4	6.2	3
平成28年	7	4	2	2	0	2	0	3	4.9	5
平成29年	13	11	3	3	0	8	0	2	9.2	3
平成30年	17	11	4	3	1	4	3	6	12.1	2
平成31年	3	3	2	2	0	1	0	0	※2.2	2
白河市	0	0	0	0	0	0	0	0		1
西郷村	2	2	1	1	0	1	0	0		0
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0		0
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0		0
矢吹町	0	0	0	0	0	0	0	0		1
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0		0
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0		0
塙町	1	1	1	1	0	0	0	0		0
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0		0

※ 平成31年の罹患率については、県南保健所集計によるものです。

※罹患率（人口10万対）：10.1 現在人口より

令和元.10.1 現在人口 138,927人

イ 市町村別結核患者登録数

■ 結核患者登録数（年別・市町村別・活動性分類別）

R1.12.31 現在

（当該年に新たに結核として登録された者とそれ以前からの登録者で年末に登録のある結核患者数）単位：人

区分 年別 市町村別	総数	活動性結核								不活 動性 結核	活動性 不明	別掲 潜在性 結核 感染症	登録率	※ 有病率 (人口10 万対)
		総数	肺結核活動性						肺外 結核 活動 性					
			総数	登録時喀痰塗抹 陽性			登録時 その他 の結核 菌陽性	登録時 菌陰性 ・その 他						
		総数	初回 治療	再治 療										
平成27年	34	8	5	1	1	0	2	2	3	26	0	10	23.5	5.6
平成28年	16	3	2	0	0	0	2	0	1	13	0	9	11.2	2.1
平成29年	21	7	6	1	1	0	5	0	1	14	0	11	15.0	5.0
平成30年	29	10	6	2	2	0	2	2	4	13	6	10	20.7	7.1
平成31年	20	2	1	0	0	0	1	0	1	16	2	6		
白河市	9	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	1		
西郷村	5	2	1	0	0	0	1	0	1	3	0	1		
泉崎村	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0		
中島村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
矢吹町	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3		
棚倉町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
矢祭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
塙町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
鮫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

※平成31年の登録率については、県南保健所集計によるものです。

① 結核医療事業（患者治療費の公費負担）

平成19年4月より結核予防法を統合した改正感染症法の下に新しい結核対策がスタートしました。結核はポリオ、ジフテリア、SARSとともに二類感染症に位置付けられました。

結核医療事業

感染症診査協議会開催

（根拠）福島県感染症の診査に関する協議会運営要綱

開催回数 月1回程度（入院勧告を行う場合は臨時に開催する）

■感染症診査協議会診査件数

年 度	H27	H28	H29	H30	H31
開催回数	12回	11回	15回	13回	13回
診査件数	32件	36件	35件	27件	16件

② 結核患者療養支援事業（患者検診・接触者健診、DOTSの実施等）

結核患者管理事業

結核罹患率

管内の結核罹患率は、全国・県と比較すると、平成25年を除き平成15年から低い状況で推移しています。

■結核罹患率の推移（人口10万対）

年	H26	H27	H28	H29	H30
全 国	15.4	14.4	13.9	13.9	12.3
福 島 県	9.6	9.8	8.6	7.3	9.8
県南地域	8.9	6.2	4.9	9.2	7.1

結核対策特別促進事業

結核患者療養支援事業の実施

喀痰塗抹陽性患者の院内DOTS（直接服薬確認療法）を支援するため、白河厚生総合病院等と保健所によるケアカンファレンスを実施しました。

- ・開催回数： 8回
- ・事例件数： 23件

患者検診・接触者健診の実施

（根拠）感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）

患者検診の状況

- ・対象者 29名
- ・実施数 25名 実施率 86% 異常なし21名 経過観察4名

接触者健診の状況

感染症法第17条の規定に基づき、結核の感染が疑われる者、または、結核を他に感染させるおそれのある者等特定の対象者に対して健康診断を行いました。

■接触者健康診断実施状況

単位：人

年 度	対象数	実施数	実施率 %	検診結果		
				要医療	経過観察	異常なし
27	75	69(37)	92.0	1	1	67
28	148	147(137)	99.3	4	12	131
29	482	479(396)	99.4	2	32	445
30	168	168(108)	100	0	21	147
31	183	183(154)	100.0	0	12	171

( )内は、平成26年度まではQFT検査（クオンティフェロンTB検査）を再掲  
平成27年度以降はTスポット、TB検査を再掲

(3) 結核予防事業（普及啓発等）

定期健康診断

定期の健康診断は、下記の者を対象として、事業所・学校及び施設においてはそれぞれの長が、それ以外の住民については市町村長が実施義務者となり実施しています。

- ・高等学校、大学等の学生又は生徒
- ・学校、医療機関及び社会福祉施設の業務に従事する者
- ・65歳以上の者

■平成31年度 結核定期健康診断実施状況

単位：人

	対象者数	受診者数	受診率	間接撮影	直接撮影	喀痰検査	結核患者
高等学校	1,032	1,031	99.9	1,031	0	0	0
大学等	194	194	100	72	122	0	0
施設	1,550	1,484	95.7	139	1,345	0	0
事業所	6,426	6,114	95.1	2,531	3,583	2	0
一般住民	42,860	12,832	29.9	11,928	903	1	0
合計	51,648	21,281	41.2	15,699	5,581	3	0

高齢者施設職員等を対象とした出前講座

結核ミニ講座の実施

実施回数 2回

参加者数 58人

**IV【日本一安心して子どもを産み育てられる環境づくり】**

IV-1 子育て支援サービスの充実（保健福祉課）

(1) 認可外保育施設運営支援事業（保健福祉課）

民間の認可外保育施設のうち事業所内施設を除く施設の入所児童の健康診断、教材等の購入及び運営に要する経費を市町村が補助する場合、当該市町村に対し補助金を交付しました。

対象市町村：1町（1施設）

(2) ふくしま保育料支援事業（保健福祉課）

子育てにかかる経済的負担の軽減を図るため、認可保育所等に入所する第3子以降の3歳児未満児にかかる保育料について、市町村が減免する額の一部を補助しました。（多子世帯保育料軽減事業）

補助先：9市町村

対象人数：206人

### (3) 子育て世代包括支援センター設置促進・機能充実事業（保健福祉課）

国は、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行う子育て世代包括支援センターを令和2年度末までの全国設置を目指している。本県では、前倒しして平成31年度末の設置を目指しています。

市町村における子育て支援センターの設置促進に向けた支援を行うと共に、支援が必要な家庭の早期把握・早期支援を行う体制整備とセンターの機能充実を図るための支援を行った。

#### ① 県南地域母子保健推進連絡会義を開催し、各市町村の包括支援センター事業の情報交換及び助言指導を行いました。

日時：令和元年7月30日（金）

場所：当事務所 大会義室

参加者：管内市町村母子保健担当者 11名

内容：母子保健事業実施状況について  
各市町村の新規・重点事業について  
子育て世代包括支援センターについて  
市町村子育て総合拠点について  
情報交換

#### ② 設置促進のための市町村訪問

本庁子育て支援課と共に、未設置市町村に対し財源の活用や設置の役割や機能について説明を行い設置促進を図りました。

- ・訪問市町村：2町村（泉崎村、中島村）
- ・設置状況及び設置予定（令和2.3.31現在）

	設置市町村	設置予定
平成29年度	白河市	
平成30年度	矢祭町 埴町	
令和元年度	西郷村 棚倉町 矢吹町 鮫川村	
令和2年度		泉崎村 中島村

#### (4) 障がいのある子どもへの支援

##### ① 小児慢性特定疾病医療費支援事業

(根拠) 児童福祉法 19条の2、第53条

福島県児童福祉法施行細則第4条

小児慢性特定疾病の児童等に健全育成の観点から患児家庭の医療費支援を実施しています。対象児には受給者証を交付しています。児童福祉法の改正に伴い平成27年1月1日より対象疾病が拡大され、現在は16疾患群756疾病が対象となりました。

(参照資料編 表5)

##### ② 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

(根拠) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業実施要綱

小児慢性特定疾病児童等とその家族に体し、疾病の状態及び療育の状況に応じた適切な指導・相談・助言を行うと共に、家族の相互交流を目的に交流会を実施しました。

事業名	開催日時・場所	内 容	参加者数
病気や障がいをもつお子さんの家族交流会	令和元年 7月18日(木) 県南保健福祉事務所 会議室	1 講話 「病気や障がいをもつお子さんを育てている方へ ～伝えたいこと～」 講師：星 一枝氏 (障がい児者親の集いこすもす会長) 2 交流・体験 「ご自宅でできるフットケアとおなかケア」 講師：佐々木 せい子 (腸セラピー・骨盤調整 清ら)	計 20名 (内訳) 保護者 12名 関係職員 5名 託児 3名

### ③ 発達障がい児支援者スキルアップ事業

(根拠) 発達障がい児支援者スキルアップ事業実施要綱

#### 発達障がい児支援者スキルアップ研修会（方部別研修）の開催

発達障がい児とその保護者が、地域で安心して生活や子育てができるよう、乳幼児やその保護者を支援する市町村、保育所、幼稚園職員等に対し研修会を開催しました。

開催年月日	内 容	参加者（職種・数）
令和元年 9月13日(金) 白河市立図書館 会議室	<b>スキルアップ研修会</b> 1 説 明 「発達障がい児の支援体制・福祉サービスについて」 講師 発達障がい地域支援マネージャー 鈴木仁 氏 2 講 義 「発達障害の理解と対応」 講師 県立矢吹病院 副院長 角田智哉氏	計 75 名 (内訳) 保育所・幼稚園職員 29 名 児童館等職員 14 名 通所支援事業所職員 13 名 小学校教諭 7 名、 警察・行政職員 7 名
令和元年 10月8日(火) 県南保健福祉 事務所 大会義室	<b>事例検討会</b> 1 講話 「発達が気になるお子さんの理解と対応」 2 事例検討会の進め方 3 事例検討 グループワーク 講師 県発達障がい者支援センター 主任心理判定員 小林育氏 心理嘱託員 成田由美子氏	計 19 名 (内訳) 保育所・幼稚園職員 13 名、 行政職員（保健師等） 4 名
令和元年 11月1日(金) 県南保健福祉 事務所 大会義室	<b>CAREプログラム研修会（第1回）</b> 1 福島県立矢吹病院「児童思春期外来」について 2 講話 CAREプログラムⅠ 3 演習 CAREスキル（減らしたスキル・使いたいスキル）のグループワーク 講師 県立矢吹病院 主任心理判定員 吉田英記 氏	計 23 名 (内訳) 保育所・幼稚園職員 13 名、 保健師 8 名 看護師 2 名
令和元年 11月22日 (金) 県南保健福祉 事務所 大会義室	<b>CAREプログラム研修会（第2回）</b> 1 講話 CAREプログラムⅡ 2 演習 CAREスキル（指示の出し方）のグループワーク 講師 県立矢吹病院 主任心理判定員 吉田英記 氏	計 21 名 (内訳) 保育所・幼稚園職員 13 名、 保健師 8 名 看護師 1 名

④ 自主グループ『障がい児者親の集い こすもす』への支援

県南地域に居住している障がい児（者）を抱えた保護者の集いで、月1回定例開催し交流や情報交換などを行っており、相談に対応しました。

- ・開催場所：太陽の国管理センター会議室
- ・開催回数 11回、参加人数：1回あたり5～6人

⑤ 先天性代謝異常等検査事業

（根拠）福島県先天性代謝異常等検査事業実施要綱

先天性代謝異常症等のマス・スクリーニング検査の結果、要精密検査となった児に対して、結果の確認や保健指導を実施しました。

（参照資料編 表6）

（5）妊産婦等に対する支援事業

（根拠）妊産婦等支援事業実施要綱

不妊等健康教育事業及び女性のミカタ健康サポートコール等事業及び不妊専門相談センター活用事業

生涯を通じた女性の健康の保持増進を図るために、妊娠・出産等にかかる様々な心身の悩みを気軽に相談できる体制を整備しました。

① 不妊等健康教育事業：不妊セミナーの開催

不妊・不育症に悩む夫婦等を対象として、不妊や不育症治療に関する講話、個別相談会を開催しました。（県中保健福祉事務所と共催）

開催日時・場所	実施内容	参加者
令和元年 10月5日(土)	1 講話 「不妊症について学ぶ」 講師 福島県立医科大学 産科婦人科学講座 菅沼亮太医師	5組8名
県中保健福祉 事務所 会議室・相談室	2 個別相談会 対応者 福島県立医科大学 産科婦人科学講座 菅沼亮太医師	3組

② 女性のミカタ健康サポートコール事業

専用ダイヤルを設置し、予期しない妊娠や女性のからだに関する相談、心の悩みに対応しました。

（参照資料編 表7）

③ 不妊専門相談センター活用事業

不妊や不育症等に関する相談や不安に対応しました。

（参照資料編 表8）

また、専門医への相談や専門医からの助言が必要とされる場合、福島県立医科大学病院に設置した不妊専門相談センターへ繋げるなど適切な支援を行いました。

- ・不妊専門相談センターへの連絡票の送付件数 4件

（6）特定不妊治療費支援事業・不育症治療費支援事業

（根拠）福島県特定不妊治療費助成事業実施要綱・福島県不育症治療費助成事業実施要綱

特定不妊治療（体外受精、顕微授精）及びへパリンを主とした不育症治療に要した費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図りました。

（参照資料編 表9, 10）



## IV-2 思春期保健対策の推進（保健福祉課）

### （1）県南地域思春期保健対策推進事業（保健福祉課）

#### ① 思春期保健教育等実施状況調査の実施

県南地域の保健・教育関係機関での思春期保健教育や事業の実施状況を調査し、思春期保健対策の進捗状況を把握・分析しました。

- ・調査時期：令和2年1月
- ・調査対象：県南地域の市町村、全小学校・中学校・高等学校（定時制を含む）・特別支援学校 64 機関

区 分	実施率	内 訳
小学校 (37校)	100%	全校全学年で実施
中学校 (18校)	100%	全校全学年で実施
高等学校 (7校)	100%	全校全学年で実施
定時制高等学校(1校)	100%	全学年で実施
特別支援学校 (1校)	100%	全学年で実施

#### ② 若者の健康情報交換会の開催

- 日 時 令和2年1月22日（水）  
場 所 県南保健福祉事務所 会義室  
参加者 中学校及び高等学校の養護教諭、市町村保健師教育事務所主事等 28名  
内 容 ・行政説明「思春期保健の現状」  
・講話「思春期保健教育の実践を通して伝えたいこと」  
講師 母子支援室「まごころ」 助産師 辺見間智子氏

#### ③ 関係機関等への情報提供 等

思春期の子ども達の様々な相談に応じている小・中・高等学校の養護教諭や保健福祉関係者が「性」の相談対応で困った時に活用していただく「思春期相談マップ」を作成しています。

- ・当所及び県のホームページへ掲載
- ・「思春期相談マップ」をメール提供（市町村、小・中・高等学校）関係機関へ配布

## IV-3 青少年の健全育成を推進するための社会環境の整備（総務企画課）

### （1）青少年の健全育成の推進

#### ① 有害図書類指定に係る図書類の購入及び指定後調査（年3回）

- 有害図書類の購入 令和2年1月  
有害図書類指定後調査 2回（令和元年6月、令和2年1月）  
（11月：台風19号による被害状況から中止）

#### ② 社会環境実態調査（図書類自動販売機実態調査・図書類取扱業者実態調査）

- 令和元年9月実施 9店舗 4台 2カ所 携帯電話確認

## V【ともにいきいき暮らせる福祉社会の推進】

### V-1 高齢者を対象とした介護・福祉サービスの充実（保健福祉課）

#### (1) 地域支援事業の充実

##### ① 高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画に係る県南圏域会議の開催

第八次高齢者福祉計画及び第七次介護保険事業支援計画の進捗状況について確認し、課題等の情報共有を行いました。

日時：令和元年8月1日（木）13:30～15:00

出席者：市町村保健福祉担当課長、医療機関代表者、社会福祉施設代表者、  
居宅系サービス提供機関代表者、地域包括支援センター代表者等

##### ② 地域包括ケアシステム体制構築圏域別連絡会議

県南地域における地域包括ケアシステム構築の課題共有、検討、及び情報共有等を通じ、在宅医療・介護連携を推進するための会議を2回開催しました。

###### ア 第1回

日時：令和元年8月1日（木）13:30～15:00

場所：県南保健福祉事務所 大会議室

内容：・地域包括ケアシステム体制構築にかかる各市町村における取組状況と今後の見通し  
・高齢者福祉計画・介護保険事業計画について

###### イ 第2回

日時：令和2年2月20日（木）13:15～14:15

場所：サンフレッシュ白河 会議研修室

内容：・地域包括ケアシステム体制構築にかかる各市町村における取組実績と次年度の計画

##### ③ 各市町村の地域支援事業の充実に向けて、研修会、情報交換会、地域ケア会議支援等

###### ア 認知症対策

- ・地域支援関係者認知症対応力向上研修会の開催（1回）
- ・認知症地域支援推進員情報交換会の開催（1回）
- ・白河市認知症初期集中支援チーム研修会に参加（1回）
- ・東白川郡認知症初期集中支援チーム研修会に参加、専門職派遣（1回）
- ・認知症カフェ開催支援（西郷村）
- ・認知症疾患医療連携協議会への参加（1回）
- ・アルツハイマーデー街頭活動への支援

###### イ 地域ケア会議等活動支援事業

- ・地域ケア会議に専門職（社会福祉士）派遣（1回、1人）
- ・自立支援型地域ケア会議に参加し助言を行った（6町村8回）

###### ウ 生活支援体制整備事業

- ・生活支援コーディネーター情報交換会・研修会の開催（1回）

###### エ リハビリ職との連携

- ・県南地域リハビリテーション連絡協議会への参加（2回）
- ・地域リハビリテーション研修会への支援

###### オ 在宅医療・介護連携推進事業

- ・白河地域在宅医療・介護連携推進協議会等への出席、助言支援（5回）
- ・東白川郡在宅医療・介護連携推進事業研修会への出席、専門職派遣（1回）

## (2) 介護保険の認定

### ① 介護認定審査会委員研修会

(根拠) 福島県認定調査従事者・介護認定審査会委員研修事業実施要綱

介護認定審査会委員が、要介護認定及び要支援認定における公平・公正かつ適切な審査判定を実施するために必要な知識、技能を修得及び向上させること及び介護認定審査会における審査判定の適正化を図ることを目的に、介護認定審査会委員研修会を開催しました。

#### ■介護認定審査会委員研修会実施状況

開催年月日・場所	内 容	参加者数
令和2年2月14日(金) 白河市立図書館 地域交流会議室	説明 ・介護保険運営状況等について 説明 県南保健福祉事務所職員 講義「介護認定審査会の手順とポイント等について」 講師 しらかわ介護福祉専門学校長 千葉 喜弘氏	介護認定審査会委員 市町村等事務局 23人

### ② 認定調査員研修事業

(根拠) 福島県認定調査従事者・介護認定審査会委員研修事業実施要綱

認定調査員研修会の開催

認定調査に従事する者が、要介護認定及び要支援認定における公平・公正かつ適切な認定調査を実施するために必要な知識、技能を修得及び向上させることを目的に開催しました。

#### ■認定調査員研修会実施状況

開催年月日・場所	内 容	参加者数
令和元年12月3日(火) 矢吹町 文化センター	説明 ・介護保険運営状況等について 説明 県南保健福祉事務所職員 講義「要介護認定業務分析データから」 「基本調査項目のポイント、特記事項記載のポイント等について」 講師：郡山ソーシャルワーカーズオフィス 吉田 光子氏	認定調査員・市町村等職員 白河地方広域市町村圏整備組合 177人

### ③ 市町村別要介護認定状況

認定者数は要介護、要支援とも年々増加する傾向にあります。

#### ■要介護（要支援）認定者数

単位：人

	要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	計
	1	2	1	2	3	4	5	
白河市	244	494	461	615	526	436	291	3,067
西郷村	40	113	112	152	123	89	66	695
泉崎村	21	33	51	64	59	40	27	295
中島村	26	35	30	22	31	36	20	200
矢吹町	40	105	112	169	121	130	75	752
棚倉町	61	117	77	148	154	118	71	746
矢祭町	18	31	37	61	59	55	16	277
塙町	76	128	101	100	96	92	58	651

	鮫川村	18	21	36	34	40	42	27	218
H31.	3月末	544	1,077	1,017	1,365	1,209	1,038	651	6,901
H30.	3月末	480	1,026	868	1,439	1,230	1,006	654	6,703
H29.	3月末	510	1,003	820	1,427	1,143	994	620	6,517
H28.	3月末	553	1,056	826	1,383	1,115	1,026	579	6,538
H27.	3月末	563	1,019	767	1,292	1,072	992	627	6,332
H26.	3月末	541	976	704	1,258	1,035	936	746	6,196
H25.	3月末	499	979	644	1,214	1,012	961	824	6,133
H24.	3月末	524	918	611	1,082	896	952	791	5,774
H23.	3月末	541	904	564	1,060	923	958	770	5,720
H22.	3月末	538	833	538	1,010	924	901	723	5,467

#### ④ 介護保険法事業者指定

介護保険法に基づく事業者指定事務について、令和元年度における居宅介護支援事業者及び居宅サービス事業者の数は、介護給付サービス3事業者減となっています。

施設サービスについては、介護老人保健施設が12床減となっています。

##### ■居宅介護支援事業者及び居宅サービス事業者

区 分		2.4.1 現在	31.4.1 現在	増加数	対前年比
介護給付サービス	居宅介護支援事業者	47	52	▲5	0.90
	居宅サービス事業者	133	131	2	1.02
	訪問介護	35	33	2	1.06
	訪問入浴介護	6	6	-	1.00
	訪問看護	8	8	-	1.00
	訪問リハビリテーション	3	3	-	1.00
	居宅療養管理指導	1	1	-	1.00
	通所介護	26	26	-	1.00
	通所リハビリテーション	7	7	-	1.00
	短期入所生活介護	17	17	-	1.00
	短期入所療養介護	9	9	-	1.00
	特定施設入所者生活介護	3	3	-	1.00
	福祉用具貸与	9	9	-	1.00
	特定福祉用具販売	9	9	-	1.00
小 計	180	183	▲3	0.98	
予防給付サービス	介護予防支援事業者	11	11	-	1.00
	介護予防サービス事業者	71	71	-	1.00
	介護予防訪問入浴介護	5	5	-	1.00
	介護予防訪問看護	8	8	-	1.00
	介護予防訪問リハビリテーション	3	3	-	1.00
	介護予防居宅療養管理指導	1	1	-	1.00
	介護予防通所リハビリテーション	7	7	-	1.00
	介護予防短期入所生活介護	17	17	-	1.00
	介護予防短期入所療養介護	9	9	-	1.00
	介護予防特定施設入所者生活介護	3	3	-	1.00
	介護予防福祉用具貸与	9	9	-	1.00
特定介護予防福祉用具販売	9	9	-	1.00	
小 計	82	82	-	1.00	
合 計	262	265	▲3	0.99	

■施設サービスの状況 ( ) は入所定員

	2.4.1現在	31.4.1現在	増 減	対前年比
介護老人福祉施設	15施設( 989床)	15施設( 989床)	0( 0)	1.00(1.00)
介護老人保健施設	9施設( 704床)	9施設( 716床)	0(▲12)	1.00(0.98)
介護療養型医療施設	0施設( 0床)	0施設( 0床)	0( 0)	1.00(1.00)
合 計	24施設(1,693床)	24施設(1,705床)	0(▲12)	1.00(0.99)

※ 介護老人保健施設はショートステイを含んだベッド数（ショートステイベッド数は特定されていない。）

⑤ 介護保険指定事業所等の運営指導及び監査

(根拠) 福島県介護保険施設等指導要綱

介護保険指定事業所等の適正な施設運営の確保を図るため、本庁と合同で事業所等に対する実地指導及び実地監査を実施しました。

- ・介護保険施設 3施設
- ・居宅サービス事業所 19事業所
- ・介護予防居宅サービス事業所 10事業所

⑥ 老人福祉施設の運営指導及び監査

(根拠) 福島県社会福祉法人・社会福祉施設運営指導及び監査実施要綱

特別養護老人ホーム等の適正な施設運営の確保を図るため、本庁と合同で施設に対する実地指導及び実地監査を実施しました。

- ・特別養護老人ホーム 3施設
- ・養護老人ホーム 0施設
- ・軽費老人ホーム 0施設

⑦ 介護保険業務技術的助言（地域支援事業を含む）

(根拠) 介護保険法第5条第2項、第197条第1項、地方自治法第245条の4第1項

- ・実施市町村 1町2村

(3) おもいやり駐車場利用制度推進事業

(根拠) おもいやり駐車場利用制度実施要綱

スーパー、病院、公共施設などには、歩行が困難な「障がい者、高齢者、妊産婦などが車を停めるためのスペース（車いすマークのある駐車場）が設置されていますが、このスペースを必要としない方々の心ない利用により、「必要としている方が必要としている時に」利用できない場合が多くあります。

この「おもいやり駐車場利用制度」は、福島県がおもいやり駐車場を利用できる者を明確にし、おもいやり駐車場で利用できる共通の利用証を交付することにより、おもいやり駐車場の適正利用を図ることを目的として、平成21年7月1日から実施しています。

- ア 利用証交付数 (令和2年3月31日現在) 県南 3,921件
- イ 利用制度協力施設(令和2年3月31日現在) 県南 63施設

(4) 「福島県やさしさマーク」交付事業

(根拠) 福島県やさしさマーク交付要綱

商店、飲食店、理美容所、金融機関、病院など不特定多数の人が利用する施設で、お年寄りや身体の不自由な人をはじめ、すべての人が安心して利用できるよう段差、通路幅の確保、車いす用トイレの整備など「人にやさしいまちづくり条例」の整備基準を満たしている建物に「やさしさマーク」を交付しています。

(参照資料編 表26)

## V-2 障がいのある方の地域生活への移行支援（保健福祉課・健康増進課）

### (1) 障がい者の地域移行・地域定着推進事業（保健福祉課）

精神障がい者地域生活移行・地域定着支援事業に係る研修会等の開催

#### ① 精神障がい者の措置入院等

（根拠）精神保健福祉法第22条～第31条、第34条

精神障がい者に関する住民、警察官からの通報等を受けて、調査、指定医による診察、入院措置等を実施しました。

#### ■精神保健福祉法に基づく申請・通報・届出・診察実施状況

単位：件

申請 一般人 (22条)	通 報				精神病 院管理 者の届 出 (26条の2)	(移送) (34条)	合 計	診 察 不要	診 察		要 措 置
	警 察 官 (23条)	検 察 官 (24条)	保 護 観 察 所 の 長 (25条)	矯 正 施 設 の 長 (26条)					1 次	2 次	
0	14	5	0	3	0	(0)	22	10	12	5	3

#### ■措置入院患者の状況

単位：人

前年度末措置患者数	新規・転入患者数	解除患者数	転出患者数	年度末患者数
0	3	2	1	0

#### ■医療保護入院患者の状況

入院届件数（33条）	退院届件数
185	171

#### ② 精神科病院実地指導及び入院者の実地審査

（根拠）精神保健福祉法第38条の6

福島県精神科病院実地指導要領

精神科病院に対する指導監督等の徹底を図るため、一般実地指導及び実地審査を実施しました。

- ・実地指導：2病院（一般）1病院（特別）
- ・実地審査：措置入院1人 医療保護入院14人 任意入院6人

#### ア 精神障がい者地域移行・地域定着支援事業に係る研修会等の開催

開催日時・場所	主な内容	講師	
令和元年 12月17日(火) 13:30～15:30 サンフレッシュ 白河 会議研 修室	・行政説明「福島県の精神障がい者の 地域移行の現状及び取り組みについ て」 ・講義「精神障がいにも対応した地域包 括ケアシステム構築にむけて～高齢・ 介護分野とのつながり～」	・福島県障がい福祉課 田崎みずほ ・安積地域包括支援センター 安西里実氏	27

令和2年 2月12日(火) 13:30～16:00 サンフレッシュ 白河 会議研 修室	テーマ「県南圏域における精神障がにも 対応した地域包括ケアシステムを考 える」 ① 入院中の精神障害者の地域移行に ついて ② 措置入院者の退院後の継続支援に ついて ③ しらかわ地域自立支援協議会の取り 組みについて ④ 介護と障がい福祉の連携について	<b>【報告者】</b> ① 矢吹病院 川上興一 ② 県南保健福祉事務所 松崎栄子 ③ 基幹相談支援センター 佐藤隆幸 ④ 居宅介護支援事業所 宮尾直木	40
--	--	---	----

イ 県南地域生活移行圏域連絡会の開催

令和2年3月3日(火)開催予定としたが、コロナウイルス感染防止対策のため、中止とした。

## (2) 相談支援体制及び生活を支えるサービスの充実（保健福祉課）

### ① 市町村の相談支援体制整備への助言・指導

#### ア 自立支援給付費負担金関係事業

障がい者及び障がい児の福祉の増進を図ることを目的に市町村が障害者自立支援法第92条に基づき支弁する費用に対して負担金を交付しました。

#### (ア) 障害福祉サービス費等

(根拠) 福島県障がい者自立支援給付費負担金交付要綱

障がい者及び障がい児が障害福祉サービスを受けた場合、市町村が支弁する介護給付費等に対して負担金を交付しました。

・実施市町村 9市町村

#### (イ) 相談支援給付費等

(根拠) 福島県障がい者自立支援給付費負担金交付要綱

身体障がい者が自立支援医療（更生医療）を受けた場合、市町村が実施する給付事業に対して負担金を交付しました。

・実施市町村 9市町村

#### (ロ) 自立支援医療（更生医療）

(根拠) 福島県障がい者自立支援給付費負担金交付要綱

身体障がい者が自立支援医療（更生医療）を受けた場合、市町村が実施する給付事業に対して負担金を交付しました。

・実施市町村 7市町村

#### (ハ) 療養介護医療費及び基準該当療養介護医療費

(根拠) 福島県障がい者自立支援給付費負担金交付要綱

市町村が実施する、計画相談支援給付事業に対して負担金を交付しました。

・実施市町村 7市町村

#### (ニ) 補装具費

(根拠) 福島県障がい者自立支援給付費負担金交付要綱

市町村が実施する、身体障がい者のための補装具費給付事業に対して負担金を交付しました。

・実施市町村 9市町村

(カ) 高額障害福祉サービス等給付費

(根拠) 福島県障がい者自立支援給付費負担金交付要綱

障害者及び障がい児が負担限度額を超え障害福祉サービスを受けた場合に市町村が支弁する費用等に対して負担金を交付しました。

・実施市町村 2市村

(キ) 自立支援医療（育成医療）

(根拠) 障害者自立支援法第58条

身体に障害のある児童等が放置することで障害を残すと認められ手術により確実な治療効果が期待できる場合に医療を給付した場合に市町村が支弁する費用等に対して負担金を交付しました。（公衆衛生費）

・実施市町村 2市町村

(ク) やむを得ない事由による措置給付費

(根拠) 福島県障がい者自立支援給付費負担金交付要綱

障害者及び障がい児がやむを得ない事由による措置給付費を受けた場合に市町村が支弁する費用等に対して負担金を交付する制度。（令和元年度は実績なし）

・実施市町村 0市町村

イ 市町村自立支援給付支給事務等実地調査

(根拠) 福島県市町村自立支援給付支給事務等実地調査実施要綱

自立支援給付に関する業務等の適正かつ円滑な実施を図るため、実地調査を実施しました。

・実施市町村 5市町村

② 重度障がい者支援事業、市町村地域生活支援事業補助金

ア 重度障がい者支援事業

(根拠) 福島県重度障がい者支援事業費補助金交付要綱

重度心身障がい者に係る医療費等についての支援（以下の(1)～(3)の事業）を行った市町村に対して、補助金を交付しました。

・実施市町村 9市町村

(ア) 重度心身障がい者医療費補助事業

重度心身障がい者の健康保持と福祉増進を図るため、医療費自己負担額についての助成を行った市町村に対して、補助金を交付しました。

(イ) 在宅重度障がい者対策事業

日常生活において、常に医療的処置を必要とする在宅重度障がい者への治療材料等の給付を行った市町村に対して、補助金を交付しました。

(ウ) 人工透析患者通院交通費補助事業

人工透析を受けている通院患者の通院に要する費用の助成を行った市町村に対して、補助金を交付しました。

イ 福島県地域生活支援事業費補助金

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態により効率的・効果的に支援を実施することにより障がい者及び障がい児の福祉の増進を図ることを目的とする事業を実施した市町村に対して補助金を交付しました。



(7) 意思疎通支援事業

(根拠) 福島県地域生活支援事業費等補助金交付要綱

市町村が聴覚、言語機能、音声機能、視覚その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害者等に、手話通訳等の方法により、障害者等とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者等の派遣等を行う事業に対して、補助金を交付しました。

・実施市町村 6市町村

(イ) 日常生活用具給付等事業

(根拠) 福島県地域生活支援事業費等補助金交付要綱

市町村が重度障がいのある人等に対し、自立生活支援用具等日常生活用具の給付又は貸与を行う事業に対して、補助金を交付しました。

・実施市町村 9市町村

■ 日常生活用具給付状況

区 分	件数	区 分	件数
特殊寝台	5	酸素ボンベ運搬車	
特殊マット	2	盲人用体温計（音声式）	2
特殊尿器		盲人用体重計	1
入浴担架		盲人用血圧計	
体位変換器		パルスオキシメーター	
移動用リフト	1	携帯用会話補助装置	
移動・移乗支援用具	2	情報・通信支援用具	2
入浴椅子		点字ディスプレイ	
訓練いす（児のみ）	1	点字器	
訓練用ベット（児のみ）		点字タイプライター	1
エアーマット	1	視覚障害者用ポータブルレコーダー	1
入浴補助用具	6	視覚障害者用活字文書読み上げ装置	
便器		視覚障害者用拡大読書器	3
T字状・棒状のつえ		盲人用時計	10
歩行支援用具	1	聴覚障害者用通信装置	1
頭部保護帽	2	聴覚障害者用情報受信装置	
特殊便器		人工喉頭	3
火災報知器		福祉電話（貸与）	
自動消火器		ファックス（貸与）	
電磁調理器		視覚障害者用ワードプロセッサ	
歩行時間延長信号機用小型送信		点字図書	
聴覚障害者用屋内信号装置		埋込型用人工鼻	3
透析液加湿器		視覚障害者情報受信装置	
ネブライザー（吸引器）	3	ストーマ装具	2,730
電気式たん吸引器	5	紙おむつ等	48
吸引・吸入両用器		収尿器	
身体障害者用自動車	1	住宅改修費	4
手すり		居宅生活動作補助用具	
動脈血中酸素飽和度測定器	1		
		計	2,840

- (ウ) 移動支援事業  
 (根拠) 福島県地域生活支援事業費等補助金交付要綱  
 市町村が屋外での移動が困難な障がいのある人について、外出のための支援を行う事業に対して、補助金を交付しました。  
 ・実施市町村 9市町村
- (エ) 地域活動支援センター機能強化事業  
 (根拠) 福島県地域生活支援事業費等補助金交付要綱  
 障がいのある人が通い、創作的活動又は生産活動の提供、社会との交流の促進等の便宜を図る地域活動支援センターについて市町村が行う機能強化事業に対して、補助金を交付しました。  
 ・実施市町村 9市町村
- (オ) その他の事業  
 (根拠) 福島県地域生活支援事業費等補助金交付要綱  
 市町村の判断により、障がいのある人が、自立した日常生活又は社会生活を営むために行った事業、基幹相談支援センター等機能強化事業及び日常生活支援事業等に対して、補助金を交付しました。  
 ・実施市町村 9市町村

### (3) 難病対策の推進事業（健康増進課）

#### ① 特定医療費支給認定

##### ア 特定疾患治療研究事業

(根拠) 福島県特定疾患治療研究事業実施要綱（平成 27. 4. 1 施行、平成 27. 1. 1 適用）

これまで、56 疾患を対象に調査研究及び医療費の公費負担が行われていましたが、難病患者に関する医療等に関する法律（平成 26 年法律第 50 号）に基づく医療費助成制度が平成 27 年 1 月 1 日から施行されたことに伴い、対象疾患が 5 疾患となりました。

##### ■ 特定疾患医療受給者証所持者（年度末現在）

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人数	0	0	0	0	0

##### イ 特定医療費支給認定事務

(根拠) 福島県特定医療費支給認定実施要綱（平成 27. 4. 1 施行、平成 27. 1. 1 適用）

対象疾患が追加となり、令和元年 7 月 1 日より 333 の疾患に医療費助成が行われています。

平成 29 年 12 月 31 日にて経過措置制度の終了に伴い、更新申請の際に診断基準及び重症度分類を満たすことが必要になったため、平成 29 年度には不承認の件数が多くなり、受給者証の所持者数が減少しました。

##### ■ 特定医療費受給者証所持者（年度末現在）

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人数	895	930	834	875	889

##### ウ 指定医・指定医療機関等の指定申請事務

(根拠) 難病の患者に対する医療等に関する法律（平成 26 年法律第 50 号）

第 14 条第 1 項の規定に基づき指定医療機関の指定、第 6 条第 1 項の規定に基づき指

定医の指定を都道府県知事が行うものです。

■ 指定申請件数及び指定件数（令和 2. 3. 31 現在）

種 別	件 数	新規	変更	更新	辞退	再交付	指定医数・ 指定機関数
難病指定医		4	2	5 5	0	2	7 6
指定医療機関		3	1 4	—	0	0	1 1 2
(再掲)	医療機関	2	0	—	0	0	5 5
	薬 局	1	1 4	—	0	0	4 8
	訪問看護事業者	0	0	—	0	0	9

② 難病在宅療養者支援体制整備事業

（根拠）福島県難病在宅療養者支援体制整備事業実施要綱

ア 難病患者地域支援連絡調整会議

(ア) 難病患者地域支援連絡会議

地域の保健・福祉サービスと医療が総合的に提供できる体制を整備するために、難病患者を支援する関係者が課題と対策を検討するために開催する予定でしたが、国の新型コロナウイルス感染症の対応方針に基づき開催を急遽中止とし、会議資料を送付の上、意見があれば連絡をもらうこととしました。

※以下、開催予定であった内容

日 時：令和2年2月27日（木）13:30～15:30

場 所：県南保健福祉事務所 大会議室

出席者：構成機関22名 事務局4名

内 容：(1)管内における指定難病患者の実態、療養生活状況について  
 (2)難病患者の在宅療養支援状況の現状と課題・その対応策について  
 (3)令和2年度難病患者療養支援に向けた重点的な取組内容  
 (4)その他

(イ) 難病患者在宅ケア調整会議

療養生活をしている難病患者の多様なニーズに対応し、保健・医療・福祉等の各種サービスの総合的な調整を行いました。

当所開催の調整会議：1回開催

関係機関主催の調整会議への出席：3回出席

イ 相談指導事業

面接や電話による相談指導を随時行うと共に、神経難病患者を中心に保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士による家庭訪問を実施し、在宅療養生活を支援しました。

内 容	実件数	延件数
家庭訪問	2 8	3 6
電話相談	—	1 0 9 6
面接相談	9 7 3	1 5 5 6

## ウ 医療相談事業

在宅で療養をしている神経難病患者等を対象に、QOLの向上を図るため、相談及び交流を目的とした医療相談会を実施しました。

開催月日 場所	対象者	内容	講師等	参加人数
令和元年 6月23日(日) 県中保健福祉 事務所 (県中・県南合同開催)	ALS患者、家族	・家族としての体験談 ・コミュニケーション機器 紹介・体験 ・リラックスタイム・交流会		2名 (5)
令和元年 7月28日(日) 県南保健福祉 事務所	新規認定患者、 家族	・交流会「病気になって感じた こと、考えたこと」 ・指定難病医療費助成制度 と関連制度の紹介	臨床心理士	14名
令和元年 10月5日(日) 県南保健福祉 事務所	神経・筋疾患、 黄色靭帯骨化症、 後縦靭帯骨化 症患者、家族	・作業療法士による実技指 導・助言「生活に役立つリ ハビリ」	作業療法士	27名
合計	3回			43名 (他管轄5)

※ 県南保健福祉事務所開催時には、難病ボランティア「ゆいの会」が協力

## エ 訪問診療事業

専門医師、理学療法士等が、患者の家庭（生活の場）において、診療及び療養上の相談や実技指導等を行う事業ですが、今年度は、希望する患者がなく実施していません。

## オ 福島県在宅難病患者一時入院事業

在宅難病患者が介護者の休息（レスパイト）等の理由により、在宅の介護を受ける事が困難となった場合の体制整備を図り、患者や家族等の相談に応じ、申請受理し一時入院受け入れ医療機関との調整を行うものです。

福島県では9医療機関、県南地域は、会田病院が委託契約医療機関になっています。事業利用実績はありません。

## カ 難病ボランティア育成支援

難病患者ボランティア「ゆいの会」（平成15年3月7日発足）の活動助言等支援を行いました。

### (ア) 難病患者会活動支援

家庭訪問等をとおして、会の活動を把握すると共に、対象者に会を紹介する活動を行いました。

- ・オアシス（パーキンソン病友の会福島県支部県南方部患者会）

### (イ) 患者に対し会主催の講演会等の案内について協力しました。

- ・日本ALS協会福島県支部（筋萎縮性側索硬化症の患者と家族の会）
- ・公益社団法人日本リウマチ友の会福島支部
- ・一般社団法人全国ファブリー病患者と家族の会

③ 遷延性意識障害者治療研究事業

(根拠) 遷延性意識障害者治療研究事業実施要綱

事故や疾病等により3ヵ月以上にわたり意識障害が認められる患者を対象に、医療の確立と普及、医療費の自己負担の軽減を図ることを目的に実施しています。

■ 遷延性意識障害治療研究事業認定患者数

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)
人数	4	3	3	3	3	4

④ 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

(根拠) 福島県先天性血液凝固因子障害等治療研究事業実施要綱

医療費の公費負担により、患者の医療負担及び精神的、身体的不安の軽減を図ることを目的としています。

■ 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業認定患者：1人（令和2.3.31現在）

⑤ 原子爆弾被爆者対策事業

(根拠) 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律

健康診断の実施、医療の給付、各種手当の支給等を行い、被爆者の健康保持と福祉の向上を図っています。

ア 原子爆弾被爆者健康手帳所持者：3人（令和2.3.31現在）

イ 原子爆弾被爆者健康診断事業

・健康診断の実施状況

	第1回定期健康診断	第2回定期健康診断	精密検査
受診者数	1	2	0

・希望によるがん検査の実施状況（実人員 1人）

	胃がん 検診	肺がん 検診	大腸がん 検診	乳がん 検診	子宮がん 検診	多発性骨 髄腫検診
受診者数	1	1	1	1	1	1

・希望による一般検診の実施状況（実人数 0人）

ウ 被爆者二世健康診断 受診者 3名

エ 原子爆弾被爆者各種手当支給事業

・健康管理手当支給者 1人（令和2.3.31現在）

⑥ 石綿による健康被害・救済給付事業

(根拠) 石綿による健康被害の救済に関する法律

石綿による健康被害を受けられた方及びそのご遺族の方で、労災補償等の対象とならない方に対し、迅速な救済を図ることを目的として創設された事業です。医療費、療養費、葬祭料などの給付が受けられます。

・認定申請：0件

## V-3 生活支援の充実（生活保護課）

### (1) 生活保護事業

（根拠）生活保護法

管内に居住する生活困窮者に対し、その困窮の程度に応じ、世帯を単位として必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的に生活保護法に基づく各種の扶助（生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭）を実施しました。

#### ■被保護世帯数及び被保護人員の推移（平均値）

区分	被保護世帯数	被保護人員	保護率
22年度	471世帯	608人	7.1‰
23年度	476世帯	635人	7.5‰
24年度	468世帯	608人	7.3‰
25年度	461世帯	584人	7.0‰
26年度	466世帯	575人	7.0‰
27年度	473世帯	580人	7.1‰
28年度	480世帯	583人	7.2‰
29年度	501世帯	610人	7.6‰
30年度	495世帯	599人	7.5‰
令和元年度	500世帯	604人	7.6‰

（出典：福祉行政報告例）

保護率(‰:パーミル・千分率) = 被保護人員 ÷ 管内人口

令和元年度平均の被保護世帯数は500世帯、被保護人員は604人であり保護率は7.6‰となりました。

保護率は、高齢化や雇用情勢等に影響されます。

#### ① 町村別被保護世帯数(平均値)

単位：世帯

西郷村	泉崎村	中島村	矢吹町	棚倉町	矢祭町	埴町	鮫川村	合計
93	29	9	145	101	29	81	13	500

（出典：福祉行政報告例）

令和元年度における被保護世帯の町村別内訳では全500世帯中、矢吹町が145世帯で最も多く、次いで棚倉町が101世帯、西郷村が93世帯、埴町が81世帯となりました。

#### ② 扶助別被保護世帯数(平均値)

単位：世帯

区分	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	その他	合計
22年度	389	268	22	79	424	15	1,197
23年度	405	273	24	86	433	16	1,237
24年度	386	266	20	86	432	15	1,205
25年度	375	253	17	84	429	12	1,170
26年度	379	258	16	89	441	9	1,192
27年度	377	248	14	102	447	5	1,194
28年度	377	245	12	112	422	5	1,172
29年度	384	251	14	117	454	6	1,226
30年度	372	241	11	117	454	9	1,203
令和元年度	381	248	12	126	459	15	1,241

（出典：福祉行政報告例）

令和元年度における被保護世帯の扶助別内訳では、全500世帯中医療扶助は91.8%にあ

る459世帯が受給しており、生活扶助及び住宅扶助と合わせて3つの扶助が、扶助の中心となっています。

③ 保護申請、開始及び廃止件数

単位：件

区 分	申 請	開 始	廃 止
22年度	108	85	49
23年度	86	62	82
24年度	87	70	87
25年度	104	65	47
26年度	88	41	48
27年度	81	69	60
28年度	79	67	54
29年度	91	85	76
30年度	108	89	87
令和元年度	100	79	77

(出典：保護申請・開始・廃止処理システムデータ)

令和元年度における生活保護の申請件数は100件でした。また、年度内の開始は79件、廃止は77件でした。

④ 生活保護開始の主たる要因

単位：世帯

区 分	世帯主の 傷病	世帯員の 傷病	働きによる 収入減少喪失	仕送りの 減少・喪失	手持現金貯金の 減少・喪失	その他	合 計
22年度	21	1	8	9	36	10	85
23年度	11	1	9	3	21	17	62
24年度	22	0	3	5	28	12	70
25年度	13	2	5	4	29	12	65
26年度	10	2	3	3	21	2	41
27年度	15	1	5	8	29	11	69
28年度	15	2	0	4	41	5	67
29年度	11	0	2	5	52	15	85
30年度	0	0	3	1	79	6	89
令和元年度	0	0	7	1	67	4	79

(出典：保護申請処理システムデータ)

令和元年度における生活保護開始の主たる要因は、手持現金貯金の減少・喪失が67世帯で最も多くなっています。

⑤ 生活保護廃止の主たる要因

単位：世帯

区 分	死 亡 失 踪	働きによ る 収入増加	社会保 給付金の 増加	仕送り金 等の増加	施設入所	そ の 他	合 計
22年度	18	5	1	0	1	24	49
23年度	23	7	5	0	1	46	82
24年度	27	15	7	0	3	35	87
25年度	18	8	3	0	1	17	47
26年度	26	5	1	1	1	14	48
27年度	22	11	2	0	3	22	60
28年度	27	5	0	0	1	21	54

29年度	35	12	3	0	2	24	76
30年度	27	14	3	0	2	41	87
令和元年度	29	19	7	0	0	22	77

(出典：保護廃止システムデータ)

令和元年度における生活保護廃止の主たる要因は、死亡が29世帯で最も多くなっています。

⑦ 入院・入院外別、単給・併給別医療扶助人員

単位：人（延人員）

区 分	総医療 扶助人員	入 院			入 院 外		
		医療扶助単給	他扶助併給	計	医療扶助単給	他扶助併給	計
22年度	6,161	279	327	606	244	5,311	5,555
23年度	6,484	272	362	634	317	5,533	5,850
24年度	6,483	252	388	640	318	5,525	5,843
25年度	6,354	262	647	909	357	5,088	5,445
26年度	6,405	254	805	1,059	325	5,021	5,346
27年度	6,481	246	604	850	304	5,327	5,631
28年度	5,983	234	282	516	315	5,152	5,467
29年度	6,441	319	416	735	366	5,340	5,706
30年度	6,470	289	882	1,171	456	4,843	5,299
令和元年度	6,603	325	966	1,291	384	4,928	5,312

(出典：福祉行政報告例)

令和元年度における総医療扶助人員を入院・入院外の別で見ると、入院が延1,291人、入院外が延5,312人となっています。

⑧ 生活保護施設別利用者数

単位：人

区 分	救 護 施 設					矢吹授産場（法別利用内訳）	
	からまつ荘	矢吹緑風園	郡山せいわ園	その他	計	生活保護法	みなし保護
22年度末	21	16	4	1	42	16	6
23年度末	21	16	4	1	42	15	7
24年度末	20	19	4	1	44	15	7
25年度末	21	19	4	1	45	13	8
26年度末	21	22	4	1	48	13	7
27年度末	22	23	4	1	50	13	6
28年度末	19	22	4	1	46	6	6
29年度末	19	22	4	1	46	7	6
30年度末	17	26	5	2	50	8	5
令和元年度末	16	25	5	3	49	8	5

(出典：施設事務費支給台帳等)

令和元年度末における生活保護施設の利用状況は、救護施設では入所者数が前年度末より1名減少しました。

矢吹授産場では、生活保護受給者が8人、みなし保護が5人となっています。



⑨ 被保護世帯の世帯類型別内訳

単位：世帯

区 分	被保護世帯数	内 訳				
		高齢者世帯	母子世帯	障がい者世帯	傷病者世帯	その他の世帯
23年3月分	486	210	22	91	81	82
24年3月分	467	204	18	76	111	58
25年3月分	457	211	20	71	70	85
26年3月分	470	235	19	71	76	69
27年3月分	458	239	15	68	76	60
28年3月分	473	256	12	71	76	58
29年3月分	488	280	14	62	71	61
30年3月分	499	303	16	62	58	60
31年3月分	501	315	13	59	67	47
令和2年3月分	500	321	10	57	60	52

\*保護停止中の世帯を除く

(出典：福祉行政報告)

令和2年3月における被保護世帯の世帯類型は、高齢者世帯が321世帯で最も多く、全世帯の64%以上を占めています。

⑧ 被保護世帯の世帯構成別就労状況

単位：世帯

区分	稼働・非稼働別	単身世帯	複数世帯	合計
24年3月分	働いている者がいる世帯	43	36	79
	働いている者のいない世帯	337	51	388
25年3月分	働いている者がいる世帯	48	34	82
	働いている者のいない世帯	321	54	375
26年3月分	働いている者がいる世帯	49	26	75
	働いている者のいない世帯	342	53	395
27年3月分	働いている者がいる世帯	54	24	78
	働いている者のいない世帯	332	48	380
28年3月分	働いている者がいる世帯	59	25	84
	働いている者のいない世帯	340	49	389
29年3月分	働いている者がいる世帯	54	27	81
	働いている者のいない世帯	368	39	407
30年3月分	働いている者がいる世帯	49	29	78
	働いている者のいない世帯	378	43	421
31年3月分	働いている者がいる世帯	47	31	78
	働いている者がいない世帯	380	43	423
令和2年3月分	働いている者がいる世帯	52	23	75
	働いている者がいない世帯	380	46	426

(出典：福祉行政報告例 年度平均)

被保護世帯の構成を令和2年3月で見ると、単身世帯が432世帯、2人以上の世帯が69世帯となっており、単身世帯が全体の8割以上を占めています。

就労形態別では、働いている者がいる世帯が計75世帯、働いている者のいない世帯が計426世帯となっており、就労している者のいない世帯が全体の概ね8割を占めています。

⑨ 保護費の扶助別支出内訳

上段は構成比、単位：％ 下段は支出額、単位：千円

区 分	生活扶助費	住宅扶助費	医療扶助費	その他の扶助費	施設事務費	合 計
22年度	29.2 266,270	7.1 65,247	48.3 440,867	3.5 31,898	11.9 108,603	100 912,885
23年度	29.7 273,556	7.4 67,903	46.2 424,486	3.9 36,370	12.8 117,441	100 919,756
24年度	29.3 262,292	7.0 62,326	46.5 415,264	3.6 32,069	13.6 121,845	100 893,796
25年度	28.7 248,385	7.1 61,692	47.1 407,768	3.3 28,208	13.8 119,924	100 865,977
26年度	27.7 253,385	6.9 62,866	48.8 446,666	3.0 27,989	13.6 124,426	100 915,332
27年度	25.7 241,837	6.8 63,712	49.5 465,748	3.5 32,026	14.5 136,760	100 940,083
28年度	26.0 243,172	6.9 64,296	49.6 463,816	3.5 33,295	14.0 130,860	100 935,439
29年度	24.2 235,692	6.9 66,619	52.4 510,509	3.7 35,217	12.8 124,671	100 972,708
30年度	23.9 226,361	7.0 66,622	51.2 485,422	3.7 33,948	14.2 135,919	100 948,272
令和元年度	21.8 223,199	6.6 68,092	55.3 566,358	2.6 26,187	13.7 140,556	100 1,024,392

(出典：生活保護費経理状況調)

令和元年度において当所管内で支出した保護費の総額は、本庁払分も含めて1,024,392千円となり、前年を76,120千円上回りました。扶助費の内訳を見ると、医療扶助費が566,358千円で全体の55.3%を占め、全体の半分以上となっています。

(2) 自立支援プログラムの実施状況

被保護世帯における就労による「経済的自立」、「日常生活の自立」および「社会生活の自立」を図るため、自立支援プログラムに基づき、管内の被保護世帯全体の状況を把握した上で、被保護者の状況や自立阻害要因の類型化を図り、それぞれの類型毎に取り組むべき自立支援の具体的内容および実施手順などを定め、個々の被保護者に必要な支援を組織的に実施しました。

(生活保護就労支援員：2名配置 / 生活保護退院促進員：1名(他事務所兼務))

■ 生活保護就労自立促進事業

支援者数 51名  
 就労開始人数 (実人数) 20名  
 ・うち就労開始に伴う廃止世帯 8世帯  
 (※保護辞退を含む)

(3) 長期入院患者退院促進事業

180日を超えて療養病棟に長期間入院を継続している者が退院できない理由を調査し、社会的入院である場合は、退院先の確保を検討し、地域で生活できるように支援する。

退院者数 2名(特別養護老人ホーム1名、救護施設1名)

(4) 生活困窮者自立支援事業の実施状況

生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護に至る前の自立を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、一時生活支援事業及びその他の支援を行いました。

また、貧困の連鎖の防止ため、生活保護受給世帯の子どもを含む生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業を実施しました。(※業務委託による実施:県南管内)

■ 自立相談支援事業 年間相談等支援件数 180件

- 子どもの学習支援事業 支援者数 9名（小中高生）
- 一時生活支援事業 年間支援件数 6件

## VI 【誰もが安全で安心できる生活の確保】

### VI-1 生活衛生関係営業施設の衛生水準の維持向上（衛生推進課）

#### （1）生活衛生関係営業施設の衛生確保事業

##### ① 理容所・美容所・クリーニング所等営業施設の監視指導

（根拠）興行場法、旅館業法、公衆浴場法、理容師法、美容師法、クリーニング業法、墓地埋葬等に関する法律、温泉法他

平成31年度監視指導計画に基づき立入検査を行い、衛生管理体制の向上や健康被害の未然防止の観点から、営業者等に対し必要な指導助言等を行いました。

（参照資料編 表27）

#### ■市町村別生活衛生関係営業施設数

令和2年3月31日現在

市町村	旅館業			興行場	公衆浴場		理容所	美容所	クリーニング所		合計
	旅館・ホテル	簡易宿所	下宿		普通	その他			一般	取次所	
白河市	29	5		3		14	86	153	9	23	322
西郷村	21	5				10	19	28	2	2	87
泉崎村	3	1		1		1	6	9		1	22
中島村		1				1	7	6	1		16
矢吹町	10	1	1	1		7	24	40	2	8	94
小計	63	13	1	5	0	33	142	236	14	34	541
棚倉町	13	2		1		6	25	40	1	9	97
矢祭町	4	9				1	7	10	1	2	34
塙町	9	1				2	15	21	4	5	57
鮫川村	1	11				2	6	5		2	27
小計	27	23	0	1	0	11	53	76	6	18	215
合計	90	36	1	6	0	44	195	312	20	52	756

#### ■生活衛生関係その他の施設

平成31年3月31日現在

市町村	火葬場	墓地・納骨堂	特定建築物	建築物環境衛生登録業	コインランドリー	無店舗取次店	一般プール	温泉		合計
								源泉	利用施設	
白河市	注		26	5	18	1	7	7	3	67
西郷村		59	7		3		2	29	16	116
泉崎村		10		1			1	3	1	16
中島村		14			2			1	2	19
矢吹町	1	49	6		5		1	8	9	79
小計	1	132	39	6	28	1	11	48	31	297
棚倉町	1	92	4		3		1	2	3	106
矢祭町		69	1		2		1	3	2	78

塙町		89	1	2	2		1	10	5	110
鮫川村		49			1		1	5	1	57
小計	1	299	6	2	8		4	20	11	351
合計	2	431	45	8	36	1	15	68	42	648

注) 平成23年4月1日より白河市に権限移譲

## ② 旅館及び公衆浴場浴槽水のレジオネラ属菌検査

(根拠) レジオネラ属菌水質検査事業実施要領

旅館及び公衆浴場の浴槽水等のレジオネラ属菌行政検査を実施し、関連設備の衛生管理指導を行いました。

レジオネラ属菌が検出された施設に対しては、直ちに立入検査を行うとともに、清掃及び塩素消毒の徹底等について指導し、改善対策実施後の自主検査において基準値以下となったことを確認しました。

### ■レジオネラ属菌水質検査結果

検査施設数 (検体数)	検査結果		備考 (基準値)
	不検出	検出	
10(10)	9	1	10CFU未満/100ml

## ③ 理容所・美容所における使用器具の細菌検査

(根拠) 理容所美容所衛生対策確保対策事業実施要領

皮膚に接する器具の消毒効果確認のため、フードスタンプを用いてブドウ球菌の検査を実施し、その結果に基づき適切な消毒方法について指導、啓発を行いました。

### ■フードスタンプ検査結果

	理容所					美容所				
	検査施設数	一般細菌のみ 検出数	ブドウ球菌のみ 検出数	両方 検出数	不検出	検査施設数	一般細菌のみ 検出数	ブドウ球菌のみ 検出数	両方 検出数	不検出
はさみ	5	2	0	0	3	10	3	0	1	6
くし	5	1	0	0	4	10	5	0	1	4
カミソリ	5	0	0	0	5	-	-	-	-	-

## ④ 業種別衛生講習会の開催

理美容組合員を対象に、理美容所で使用する器具類の消毒方法を中心に講習を行いました。

### ■衛生講習会実施状況

区分	主催者	回数	受講者数(人)
理容師衛生消毒講習会(東白川)	理容組合東白川支部	1	16
理容師衛生消毒講習会(矢吹)	理容組合矢吹支部	1	12
理容師衛生消毒講習会(白河)	理容組合白河支部	1	28
計		3	56

## (2) その他の事業

### ① 家庭用品安全対策試買検査

(根拠) 家庭用品試買検査実施要領

乳幼児用衣服や繊維製品、家庭用洗剤等の家庭用品について試買検査を実施しました。検査の結果、全て基準に適合していることを確認しました。

#### ■家庭用品安全対策試買検査状況

	ホルムアルデヒド (生後24ヶ月以内の 乳幼児のもの)	ホルムアルデヒド (生後24ヶ月以内の 乳幼児のものを除く)	水酸化カリウム 又は水酸化ナト リウム	計
検体数	5	4	2	11
不適数	0	0	0	0

### ② ねずみ・衛生害虫等の相談対応

住民からの害虫等の同定、駆除等に関する相談に応じました。

#### ■ねずみ・衛生害虫の相談状況

	アタマジラミ	ハチ	ダニ	その他	合計
苦情・相談数	0	2	2	2	6
被害者数	0	0	2	0	2

## VI-2 安全な水の安定的な供給 (衛生推進課)

### (1) 飲料水の安全確保事業

#### ① 水道施設への立入指導 (書類検査及び現場検査)

(根拠) 水道法

水道施設等の維持管理状況を立入検査等で確認し、衛生指導を行いました。

(参照資料編 表 28)

平成30年度末現在の管内の水道普及率は93.9%と県平均94.2%よりわずかに低い状況ですが、ここ5年間での水道普及率は、ほぼ横ばい傾向です。

安全な水の安定的供給に向けて、市町村等の水道施設整備が計画的かつ効率的に進められるよう、水道事業者に対する指導助言を実施しました。

#### ■市町村別水道普及状況

(H31.3.31 現在)

市町村	行政区域 内総人口	給水人口	水道普及 率(%)	年度末水道普及率 (%)			
				29年度	28年度	27年度	26年度
白河市	59,833	57,814	96.5	97.3	96.9	97.3	96.8
西郷村	20,398	20,069	98.4	98.4	97.9	96.5	98.7
泉崎村	6,263	5,317	84.9	84.4	84.4	84.0	84.1
中島村	4,848	4,683	96.6	96.7	96.2	95.1	94.5
矢吹町	16,987	15,999	94.2	93.9	94.0	93.3	93.3
小計	108,379	103,882	95.9	96.2	95.9	95.6	95.9
棚倉町	13,657	13,374	97.9	97.8	97.7	97.9	97.4
矢祭町	5,560	5,325	95.8	95.2	94.8	86.6	87.6
塙町	8,463	6,466	76.4	76.7	75.3	75.1	79.1
鮫川村	3,144	1,712	54.5	54.3	51.1	49.1	51.1

小 計	30,524	26,877	87.2	87.0	86.1	84.0	85.4
合 計	139,203	130,759	93.9	94.1	93.7	93.1	93.4
福島県	1,851,790	1,745,287	94.2	94.0	93.5	93.2	90.0

② 水道施設の計画的な整備促進への支援

水道施設の整備及び更新について立入検査時に助言等を実施しました。

水道施設整備国庫補助事業（生活基盤施設耐震化等交付金事業等）を行う町村に対しては、執行状況の把握と指導を行いました。

事業実施町村 棚倉町、矢祭町、鮫川村

③ 研修会の開催

水道事業者等を対象に県主催で実施した水道技術力確保支援事業の研修会（3回開催、延べ6日間）に協力し、管内水道事業者へ技術情報等の提供を行い情報共有を図りました。

④ 危機管理対策の水道事業者間の連携の推進

水道施設等立入指導時に、危機管理対策及び応援体制について指導助言を行いました。

（2）飲用井戸等の衛生対策指導

（根拠）福島県飲用井戸等衛生対策要領

飲用井戸等使用者に対して、飲料水の衛生確保を図るための管理について助言を行いました。

相談件数 62 件

（3）飲料水の放射性物質検査事業

① 飲料水の放射性物質モニタリング検査事業

水道水の放射性物質検査の支援を実施したほか、市町村を經由し飲用井戸の所有者から依頼のあった飲用井戸水の放射性物質検査を行い、飲料水の安全確保に努めました。

なお、これまでに基準値（10Bq/kg）を超過したものはありません。

■実施件数

水道水 875 件

飲用井戸 0 件

検査結果 すべて ND（検出限界 1Bq/kg）

## VI-3 食品等の安全性の確保（衛生推進課）

### （1）食品の安全性の確保事業

（根拠）食品衛生法、食品表示法

#### ① 食品製造施設等の監視指導

食品の製造加工、調理・販売施設など食品取扱施設に対する定期的な立入検査、夏期一斉及び年末一斉立入検査を行い、衛生管理の徹底について指導しました。

令和元年度における延べ監視指導件数は1,757件で、その内許可施設の監視件数は1,438件、許可を要しない施設の監視件数は319件でした。

（参照資料編 表29,30）

#### ② 食品表示の適正化に係る指導

食品表示法に基づく食品表示基準の施行が令和2年4月1日と目前に迫っていることから、食品関係業者を対象とした食品表示講習会を開催しました。また、その他の衛生講習会においても食品表示について見直しを行うよう指導しています。

#### ■食品表示講習会の実施状況

実施回数	受講者数	備考
6	126	

#### ③ 食品の収去検査（食品の安全対策事業含む）

違反又は不良食品の流通を防止するため、食品製造施設や販売施設等から食品等の収去検査及び買上検査を行い、その結果に基づいて衛生管理等を指導しました。

（参照資料編 表31）

#### ■食品別収去検査状況

食品種別	総検体数	検査項目					不良検体
		細菌	残留農薬	食品添加物	残留動物医薬品	その他	
魚介類	6	4				2	
冷凍食品	4	4					
魚介類加工品							
肉卵類・その加工品	9	7		7	2		
乳・乳製品	4	3			1	1	
アイスクリーム類 ・氷菓	4	4				2	
穀類・その加工品	11	5	1	9		1	
野菜果物・その加工品	17	5	6	6		5	
菓子類	10	10		10			
清涼飲料水	5	4				5	
その他食品	1					1	
合計	71	46	7	32	4	16	

#### ■食品安全対策買上検査

食品種別	買上検体数	検査目的
魚介類	1	動物用医薬品
合計	1	

#### ④ 食品衛生思想の普及啓発

食品関係営業者や集団給食施設従事者などを対象に、衛生管理意識の向上や食中毒防止に関する衛生教育を行うとともに、食品営業者等からの依頼に対しては、講師を派遣して衛生講習会（出前講座）を実施し、食品衛生思想の普及啓発に努めました。

衛生教育の実施状況は、講習会を39回開催し、受講者は848名でした。このうち出前講座は19回、受講者は450名でした。

また、消費者の食品衛生に対する意識向上のため、下記の大型量販店において食品衛生街頭キャンペーンを行いました。

##### ■衛生教育講習実施状況 単位：回又は人

区 分	実施回数	受講者数
食品関係営業者等講習会	12	277
食品表示講習会	6	126
食品衛生責任者養成講習会	3	103
食品衛生責任者実務講習会	13	132
集団給食施設関係者講習会	2	124
消費者等食品衛生講習会	3	86
計	39	848

##### ■出前講座（再掲・食品表示講習を含む）

区 分	実施回数	受講者数
食品関係営業者等	17	417
消費者等	2	33
計	19	450

##### ■食品衛生街頭キャンペーン

第1回 令和元年8月5日（月）15:30～16:15

ベシシア白河モール店（白河市老久保28）

第2回 令和元年8月6日（火）15:30～16:15

ヨークベニマル棚倉店（東白川郡棚倉町大字花園字広沢45）

#### ⑤ 食中毒の発生状況

令和元年度は管内において7件の食中毒が発生し、計14名の患者が確認されました。

疫学的調査や微生物学的検査等により原因究明し、食品衛生法に基づき、再発防止のため必要な行政措置を行いました。

また、アニサキスによる食中毒が多い傾向にあったため、生食用鮮魚介類の加工・販売業者に対し、食中毒予防について啓発と指導を行いました。

##### ■管内の食中毒の発生件数

病因物質	発生件数	患者数
カンピロバクター	1	1
ノロウイルス	1	8
アニサキス	5	5
計	7	14

#### （2）HACCPによる衛生管理の導入推進（再掲）

食品事業者に対し、国際標準の食品衛生管理手法であるHACCPによる衛生管理に放射性物質対策を加えた本県独自の「ふくしま食品衛生管理モデル」（通称：ふくしま



HACCP)の導入を推進しました。

① HACCP導入のための業種別手引きの作成

福島県で開催したHACCPワーキンググループ会議に参加し、同会議においてHACCP導入普及のための支援マニュアル「ふくしまHACCP導入手引き書」を施設の営業形態別や食品の種類別ごとに作成し、管内の対象施設に配布しました。

② 手引き書等を用いた研修会等の開催

食品事業者等を対象とする講習会において、HACCPに沿った衛生管理の制度化について説明しました。

■HACCPに沿った衛生管理の制度化について説明した衛生講習会

区 分	実施回数	受講者数
食品関係営業者等講習会	12	277
食品衛生責任者養成講習会	3	103
食品衛生責任者実務講習会	13	132
計	28	512

③ 食品事業者の衛生管理計画への指導・助言

HACCPに取り組む食品事業者を支援するため、ふくしまHACCP導入支援研修会を開催し、県が開発したスマートフォン用アプリを活用して、HACCPの考えを取り入れた衛生管理計画の作成を支援することにより、HACCP導入の促進を図りました。

■ふくしまHACCP導入支援研修会の実施状況

実施回数	受講施設数
12	246

(3) 食品の放射性物質検査事業

県内産農林水産物等を原材料とする加工食品等の放射性物質検査を行い、基準値を超える食品の流通防止を図るとともに、食品の安全確保に努めました。

なお、令和元年度において、基準値を超過したものはありません。

実施期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

実施数：187検体

基準値超過数：0検体

VI-4 健康危機管理体制の強化（医療薬事課）

(1) 健康危機管理体制整備事業（医療薬事課）

- ・災害時医薬品等の備蓄

県では災害発生時に必要とされる医薬品等の品目を定め、福島県医薬品卸組合に委託し、災害時医薬品の備蓄を行っている。備蓄する営業所は二次医療圏毎に県が福島県医薬品卸組合と協議して指定する営業所であり、県南管内の卸売販売業の営業所も1カ所指定を受

けている。

令和2年3月13日に医薬品卸売販売業者の調査を実施し、適切に災害時医薬品が備蓄されていることを確認した。

## VI-5 災害時の保健医療福祉体制の強化（総務企画課）

### （1）避難行動要支援者避難支援個別計画策定等支援

#### ① 福祉避難所指定状況・個別支援計画策定状況（令和元年度末時点）

市町村	福祉避難所 指定状況	個別支援計画策定状況
白河市	6箇所	一部作成済
西郷村	17箇所	一部作成済
泉崎村	1箇所	一部作成済
中島村	1箇所	一部作成済
矢吹町	2箇所	一部作成済
棚倉町	2箇所	一部作成済
矢祭町	1箇所	一部作成済
塙町	2箇所	一部作成済
鮫川村	4箇所	一部作成済

#### ② 総合防災訓練（福祉避難所の開設・運営）

- ・ 9 / 15 中島村にて実施

## 参 照 表 目 次

R元年度事業実績中の項目	表 名	表 番	頁
II-2 生活習慣病等対策の推進	公共施設の受動喫煙防止に関する実態調査結果	1	97
II-2-(6) 歯科保健対策	幼児歯科健康診査の状況	2	98
III-2-(1) 地域医療体制の整備	管内医療機関等	3	99
	市町村別医師・歯科医師・薬剤師の数	4	100
IV-1 子育て支援サービスの充実	小児慢性特定疾病医療費支給認定状況	5	101
	先天性代謝異常等検査の状況	6	101
	令和元年度 女性のミカタ健康サポートコール相談件数	7	102
	令和元年度 不妊症、不育症に関する専門相談	8	102
	特定不妊治療費助成状況	9	102
	不育症治療費助成状況	10	102
IV 【日本一安心して子どもを産み 育てられる環境づくり】	管内の児童数の推移	11	103
	保育所入所児童及び保育対策等促進事業等の実施状況	12	104
	認可外保育施設の状況	13	105
	児童福祉施設への入所人員	14	106
	児童福祉施設別入所状況	15	107
	母子世帯及び父子世帯数	16	108
	母子相談受付状況	17	109
	母子父子寡婦福祉資金貸付状況	18	110
V 【ともにいきいき暮らせる 福祉社会の推進】	市町村別民生・児童委員数	19	111
	身体障がい児者(身障手帳所持者)の状況	20	112
	知的障がい児者(療育手帳所持者)の状況	21	113
	精神障がい者の状況	22	114
	女性相談の受付状況	23	115
	女性相談の主訴別受付状況	24	115
	配偶者暴力支援センターにおける相談件数等	25	115
	「福島県やさしさマーク」施設	26	116
VI-1-(1) 生活衛生関係営業施設の 衛生確保事業	環境衛生関係施設の年間監視指導状況	27	117
VI-2 安全な水の安定的な供給	水道施設等の状況	28	118
VI-3 食品等の安全性の確保	食品関係営業許可施設	29	119
	食品関係営業許可不要施設	30	120
	食品収去検査結果	31	121



表1 公共施設の受動喫煙防止に関する実態調査結果【市町村施設:令和元年5月1日現在】

	市役所・役場庁舎					市町村保健センター等					小学校					中学校					体育館等					
	箇所数	敷地内全面禁煙	庁舎内全面禁煙	空間分煙	空間分煙なし	箇所数	敷地内全面禁煙	庁舎内全面禁煙	空間分煙	空間分煙なし	小学校数	敷地内全面禁煙	校舎内全面禁煙	空間分煙	空間分煙なし	中学校数	敷地内全面禁煙	校舎内全面禁煙	空間分煙	空間分煙なし	体育館等数	敷地内全面禁煙	館内全面禁煙	空間分煙	空間分煙なし	
市町村	白河市	11	0	11	0	0	10	4	6	0	0	15	15	0	0	0	8	8	0	0	0	10	0	10	0	0
	西郷村	2	0	2	0	0	4	0	4	0	0	5	5	0	0	0	3	3	0	0	0	2	0	2	0	0
	泉崎村	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0
	中島村	1	0	1	0	0	3	0	3	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	3	0	0
	矢吹町	3	0	1	0	2	3	0	2	1	0	4	4	0	0	0	1	1	0	0	0	3	2	1	0	0
	棚倉町	1	0	1	0	0	2	2	0	0	0	5	5	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	2	0	0
	矢祭町	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	2	0	0
	塙町	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	2	2	0	0	0
	鮫川村	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0
小計	24	0	22	0	2	25	8	16	1	0	37	37	0	0	0	18	18	0	0	0	26	4	22	0	0	
割合(%)	100	0.0	91.7	0.0	8.3	100	32.0	64.0	4.0	0.0	100	100	0.0	0.0	0.0	100	100	0.0	0.0	0.0	100	15.4	84.6	0.0	0.0	
空間分煙率	県南	R 1.5	91.7%					100%					100%					100%								
		H30.5	95.5%					100%					100%					100%								
		H29.5	95.8%					100%					100%					100%								
		H28.5	96.0%					100%					100%					100%								
		H27.5	100%					100%					100%					100%								
		H26.5	100%					100%					100%					100%								
		H25.5	100%					100%					100%					100%								
		H24.12	100%					100%					100%					100%								
	県	R 1.5	85.8%					96.8%					100%					100%								

表2 幼児歯科健康診査の状況

(1) 1歳6か月児

・むし歯有病率(%)の推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
全国	2.1	1.9	1.8	1.8	1.5	1.3	1.2
県	3.0	2.5	2.1	2.1	1.6	1.6	1.2
県南地域	3.2	2.1	1.4	1.1	1.6	2.2	0.7
白河市	4.3	2.2	0.7	1.0	1.7	1.5	1.1
西郷村	2.7	2.2	0.6	1.1	1.2	2.7	1.1
泉崎村	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	4.5	0.0
中島村	4.1	0.0	3.4	2.3	0.0	2.4	0.0
矢吹町	1.4	2.6	1.5	1.9	1.7	3.9	0.0
棚倉町	4.3	4.7	5.1	0.9	3.4	2.8	0.0
矢祭町	2.5	2.1	2.0	0.0	2.1	1.9	0.0
塙町	1.6	0.0	2.0	1.5	0.0	1.8	0.0
鮫川村	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

・一人平均むし歯数(本)の推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
全国	0.06	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	0.03
県	0.09	0.07	0.07	0.07	0.04	0.04	0.03
県南地域	0.09	0.05	0.05	0.03	0.04	0.05	0.02
白河市	0.11	0.05	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03
西郷村	0.06	0.04	0.02	0.03	0.01	0.06	0.03
泉崎村	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.07	0.00
中島村	0.16	0.00	0.07	0.05	0.00	0.05	0.00
矢吹町	0.03	0.07	0.12	0.06	0.05	0.09	0.00
棚倉町	0.15	0.12	0.19	0.01	0.08	0.03	0.00
矢祭町	0.10	0.04	0.02	0.00	0.09	0.15	0.00
塙町	0.06	0.00	0.12	0.01	0.00	0.04	0.00
鮫川村	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(2) 3歳児

・むし歯有病率(%)の推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
全国	19.1	17.9	17.7	17.0	15.8	14.4	13.2
県	30.1	27.4	26.4	24.8	23.5	20.9	18.8
県南地域	31.2	28.9	25.6	24.6	20.4	19.9	18.4
白河市	33.8	29.5	29.4	23.8	21.1	17.7	18.9
西郷村	15.8	21.3	13.9	16.0	16.0	15.0	11.6
泉崎村	27.0	34.1	20.0	24.1	19.6	18.9	8.9
中島村	26.3	18.2	26.0	26.5	16.7	11.6	17.5
矢吹町	27.9	26.5	21.8	30.8	24.3	29.8	16.8
棚倉町	37.8	41.5	29.6	28.8	18.3	22.8	23.3
矢祭町	42.9	36.4	28.9	28.2	24.5	46.5	27.1
塙町	35.4	23.0	33.9	31.0	32.1	18.2	30.0
鮫川村	40.0	26.7	23.5	22.2	3.6	13.0	25.0

・一人平均むし歯数(本)の推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
全国	0.68	0.63	0.62	0.58	0.54	0.49	0.44
県	1.25	1.14	1.06	0.99	0.91	0.80	0.69
県南地域	1.36	1.20	1.26	1.14	0.81	0.75	0.64
白河市	1.43	1.19	1.29	0.97	0.85	0.63	0.64
西郷村	0.50	0.73	1.51	1.47	0.49	0.44	0.27
泉崎村	1.16	1.64	1.00	1.26	0.91	0.55	0.68
中島村	1.42	0.86	1.00	0.71	0.76	0.51	0.78
矢吹町	1.23	1.11	0.95	1.26	0.89	1.23	0.65
棚倉町	1.88	2.15	1.14	0.96	0.64	0.91	0.66
矢祭町	2.08	1.11	1.62	1.13	1.58	2.19	1.06
塙町	1.49	1.00	1.59	1.64	1.23	0.65	0.92
鮫川村	1.83	0.60	0.91	0.89	0.14	0.70	1.35

【出典】全国値：H24～26厚生労働省母子保健課・歯科保健課調べ H27～30地域保健・健康増進事業報告(厚生労働省)  
 県、県南地域：H24～26母子保健事業実績(福島県保健福祉部児童家庭課)、H27～30福島県歯科保健情報システム(福島県保健福祉部健康づくり推進課)

表3 管内医療機関等

(令和2年3月31日現在)

市町村名	病院	種別別病床数					診療所	種別病床数		歯科診療所	助産所	施術所	歯科技工所	備考
		一般	療養	精神	感染症	結核		一般	療養					
白河市	2	605			4	12	51	39	35		41	5		
西郷村	1	21					7		5	1	12	4		
泉崎村							3		3		5	1		
中島村							3		3			1		
矢吹町	3	102	91	346			8		10		9	2		
棚倉町							9	19	6		10	1		
矢祭町							4		2		4			
埴町	2	179	34	124			4		4	1	4			
鮫川村							2		1		1	1		
計	8	907	125	470	4	12	91	58	69	2	86	15		
30年度	8	907	125	470	4	12	91	58	70	1	91	15		
29年度	8	907	125	470	4	12	93	89	70	1	92	15		
28年度	8	907	125	473	4	12	92	89	71	1	94	14		
27年度	8	907	125	473	4	12	94	93	71		93	14		

※ 病床数は使用許可後の数

(参考)表4 市町村別医師・歯科医師・薬剤師の数  
市町村別医師・歯科医師・薬剤師数、人口10万対

	平成22年						平成24年					
	実数			人口10万対			実数			人口10万対		
	医師	歯科医師	薬剤師	医師	歯科医師	薬剤師	医師	歯科医師	薬剤師	医師	歯科医師	薬剤師
総数	207	93	188	137.9	62.0	125.2	204	97	199	138.7	66.0	135.3
白河市	140	45	120	216.4	69.5	185.5	138	48	124	217.8	75.7	195.7
西郷村	8	8	13	40.5	40.5	65.8	9	8	13	45.6	40.5	65.9
泉崎村	1	3	5	14.7	44.1	73.5	2	4	5	30.1	60.2	75.2
中島村	1	4	-	19.4	77.6	-	2	4	1	39.6	79.3	19.8
矢吹町	25	15	29	135.8	81.5	157.5	22	15	34	121.9	83.1	188.3
棚倉町	11	8	9	73.0	53.1	59.8	8	8	8	54.5	54.5	54.5
矢祭町	2	3	1	31.5	47.3	15.8	2	3	1	32.4	48.6	16.2
塙町	18	6	11	182.1	60.7	111.3	21	6	13	220.5	63.0	136.5
鮫川村	1	1	-	25.1	25.1	-	-	1	-	-	26.1	-

	平成26年						平成28年					
	実数			人口10万対			実数			人口10万対		
	医師	歯科医師	薬剤師	医師	歯科医師	薬剤師	医師	歯科医師	薬剤師	医師	歯科医師	薬剤師
総数	204	90	196	140.3	61.9	134.8	206	96	210	144.2	67.2	147.0
白河市	133	46	123	212.0	73.3	196.1	135	50	127	219.8	81.4	206.7
西郷村	8	7	11	40.5	35.4	55.6	7	8	12	34.4	39.3	59.0
泉崎村	3	3	4	45.8	45.8	61.1	2	3	6	31.0	46.6	93.1
中島村	1	3	1	20.0	60.0	20.0	1	4	1	20.1	80.4	20.1
矢吹町	26	13	33	145.0	72.5	184.1	27	13	38	155.7	75.0	219.1
棚倉町	9	7	10	62.3	48.4	69.2	9	8	10	64.1	57.0	71.2
矢祭町	2	3	1	33.5	50.2	16.7	2	3	1	34.1	51.2	17.1
塙町	21	7	13	225.6	75.2	139.6	22	6	15	244.9	66.8	166.9
鮫川村	1	1	-	27.3	27.3	-	1	1	-	28.9	28.9	-

	平成30年						令和2年					
	実数			人口10万対			実数			人口10万対		
	医師	歯科医師	薬剤師	医師	歯科医師	薬剤師	医師	歯科医師	薬剤師	医師	歯科医師	薬剤師
総数	211	85	213	150.6	60.7	152.0	199	96	210	139.3	67.2	147.0
白河市	139	45	129	230.7	74.7	214.1	131	50	127	213.2	81.4	206.7
西郷村	11	7	14	53.9	34.3	68.6	7	8	12	34.4	39.3	59.0
泉崎村	2	3	6	31.6	47.3	94.7	1	3	6	15.5	46.6	93.1
中島村	1	4	3	20.5	82.1	61.6	1	4	1	20.1	80.4	20.1
矢吹町	27	11	33	158.3	64.5	193.4	27	13	38	155.7	75.0	219.1
棚倉町	10	5	11	72.7	36.4	80.0	8	8	10	57.0	57.0	71.2
矢祭町	2	3	0	35.6	53.5	0.0	2	3	1	34.1	51.2	17.1
塙町	18	6	13	209.1	69.7	151.0	21	6	15	233.7	66.8	166.9
鮫川村	1	1	0	31.3	31.3	0.0	1	1	-	28.9	28.9	-

医師・歯科医師・薬剤師(人口10万対)管内、県、全国比較

年次	医師			歯科医師			薬剤師		
	管内	県	全国	管内	県	全国	管内	県	全国
平成14年	132.0	177.7	206.1	58.6	61.3	72.9	110.7	140.7	180.3
平成16年	128.8	178.1	211.7	59.5	63.5	74.6	111.3	145.2	189.0
平成18年	137.1	183.5	217.5	63.3	68.4	76.1	116.2	152.1	197.6
平成20年	145.0	190.0	224.5	63.3	69.2	77.9	121.2	163.7	209.7
平成22年	137.9	191.2	230.4	62.0	70.6	79.3	125.2	170.6	215.9
平成24年	138.7	187.8	237.8	66.0	67.6	80.4	135.3	167.6	219.6
平成26年	140.3	196.9	244.9	61.9	72.0	81.8	134.8	178.6	226.7
平成28年	144.2	204.5	251.7	67.2	72.4	82.4	147.0	188.4	237.4
平成30年	150.6	214.2	258.8	60.7	74.5	83.0	152.0	197.0	246.2

(出典:医師・歯科医師・薬剤師調査、福島県保健福祉部)



表5 小児慢性特定疾病医療費支給認定状況

(1)市町村別認定状況

令和2年3月31日現在 単位:人

市町村	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	計
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群に	皮膚疾患	骨系統疾患	脈管系疾患	
白河市	8	3	0	4	12	1	2	1	2	2	8	5	1	1	0	0	50
西郷村	5	0	0	2	6	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	18
泉崎村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中島村	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
矢吹町	1	0	0	1	2	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	9
棚倉町	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
矢祭町	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
埴町	2	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
鮫川村	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
管外	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
計	17	4	0	13	28	3	4	1	2	3	10	10	2	1	0	0	98

(2)小児慢性特定疾病医療費支給認定状況の推移（平成21年度～令和元年度）

単位:人

年度	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	計 (延)	
	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群に	皮膚疾患	骨系統疾患	脈管系疾患		
21	18	19	2	15	38	4	12	6	10		4	1	0	/			129	
22	19	17	2	13	34	5	10	4	8		4	2	0					118
23	24	21	2	12	31	3	12	3	6		4	3	0					121
24	30	18	0	15	28	3	10	2	6		4	2	0					118
25	31	17	0	11	24	2	6	0	6		2	2	0					101
26	27	15	0	9	25	2	7	0	6		2	2	0					95
27	27	10	0	9	26	2	5	0	6		4	7	1		0			97
28	22	7	0	11	29	2	3	1	2	3	6	7	0		0			93
29	18	6	0	13	30	1	3	1	5	2	9	6	1		0	0	0	95
30	16	4	0	14	28	2	4	1	2	3	8	10	1		1	0	0	94
R元	17	4	0	13	28	3	4	1	2	3	10	10	2	1	0	0	98	

表6 先天性代謝異常等検査状況の推移

単位:人

年度	精密検査 対象者	結果の内訳			疾患名
		異常あり	異常なし	経過観察	
H26	2	0	1	1	先天性副腎過形成症(2名)
H27	1	1	0	0	先天性甲状腺機能低下症
H28	0	0	0	0	
H29	1	0	1	0	先天性甲状腺機能低下症
H30	1	0	0	1	高フェニルアラニン血症
R元	0	0	0	0	

表7 令和元年度 女性のミカタ健康サポートコール相談件数

R2.3.31 現在

単位：人

種別	サポート コール（延）	サポートコール以外（延）	
		電話相談	来所相談
思春期	34	8	0
妊娠・避妊に関すること	1	5	0
不妊に関すること	6	0	0
不育症に関すること	1	0	0
その他	8	28	2
計	50	41	2

表8 令和元年度 不妊症、不育症に関する専門相談

不妊症

単位：人

実施方法	相談延べ件数
電話相談	82
来所相談	79
メール相談	0
郵送	22
計	183

不育症

単位：人

実施方法	相談延べ件数
電話相談	1
来所相談	1
メール相談	0
郵送	1
計	3

表9 特定不妊治療費助成状況

(1)年次別申請状況の推移

単位：人

年度	実数	延数
23	48	77
24	65	108
25	79	112
26	62	89
27	79	109
28	72	119
29	58	86
30	76	114
31(元)	50	72

(2)令和元年度 市町村別申請状況

単位：人

市町村	実数	延数
白河市	30	41
西郷村	6	11
泉崎村	2	2
中島村	1	2
矢吹町	6	8
棚倉町	2	3
矢祭町	2	4
塙町	1	1
鮫川村	0	0
計	50	72

表10 不育症治療費助成状況の推移

単位：人

年度	実数	延数
26	2	2
27	0	0
28	1	1
29	0	0
30	3	4
31(元)	0	0

表11 管内の児童数の推移

[単位;人]

区分 国勢調査年	県 南 管 内			県 内		
	人口総数 (A)	児童数 (B)	児童比率 (B/A)	人口総数 (A)	児童数 (B)	児童比率 (B/A)
昭和45年	140,772	49,006	34.8%	1,946,077	632,680	32.5%
昭和50年	140,375	42,613	30.4%	1,970,616	581,302	29.5%
昭和55年	142,376	40,632	28.5%	2,035,272	562,989	27.7%
昭和60年	147,999	40,358	27.3%	2,080,304	551,795	26.5%
平成 2年	159,180	41,632	26.2%	2,104,058	520,850	24.8%
平成 7年	154,858	36,781	23.8%	2,133,592	472,970	22.2%
平成12年	155,015	33,109	21.4%	2,126,935	426,363	20.0%
平成17年	153,347	29,217	19.1%	2,091,319	380,067	18.2%
平成22年	150,117	26,455	17.6%	2,029,064	341,463	16.8%
平成27年	144,080	23,346	16.2%	1,914,039	286,764	15.0%

(出典：国勢調査報告による年齢（各年齢）別人口表)  
・児童数；児童福祉法第4条に基づく満18歳に満たない者の数

表12 保育所入所児童及び保育対策等促進事業等の実施状況

NO	市町村名	保育所名	設置区分	定員	入所児童数(令和2年4月1日現在)							定員充足率(%)	多子世帯保育料軽減事業(R円)
					0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児以上	計		
1	白河市	わかば保育園	公立	150	8	25	30	26	30	31	150	100%	○
2	"	さくら保育園	公立	90	4	18	18	16	21	15	92	102%	
3	"	おもてごう保育園	公立	65	8	18	26	0	0	0	52	80%	
4	"	ひがし保育園	公立	55	3	20	18	0	0	0	41	75%	
5	"	たいしん保育園	公立	50	3	14	16	0	0	0	33	66%	
6	"	白河みのり保育園	社会福祉協議会	89	3	17	13	19	19	17	88	99%	
7	"	白河保育園	社会福祉協議会	120	6	26	18	19	16	11	96	80%	
8	"	認定こども園 ぼだい樹	学校法人	137	4	14	19	15	29	28	109	80%	
9	"	認定こども園 西こども園	学校法人	84	3	11	12	15	19	18	78	93%	
10	"	認定こども園 さくらの木	学校法人	69	0	10	13	11	12	14	60	87%	
11	"	丘の上保育園	学校法人	60	8	10	18	0	0	0	36	60%	
12	西郷村	まきば保育園	公立	165	5	25	23	30	32	46	161	98%	○
13	"	みずほ保育園	社会福祉協議会	160	2	23	29	29	26	32	141	88%	
14	"	くまっこ保育園	社会福祉協議会	140	5	16	19	26	26	11	103	74%	
15	"	川谷保育園	社会福祉法人	100	2	19	17	22	19	18	97	97%	○
16	泉崎村	泉崎保育所	社会福祉協議会	60	9	31	26	0	0	0	66	110%	
17	中島村	中島保育所	公立	55	3	24	29	0	0	0	56	102%	○
18	矢吹町	認定こども園 野のはな	学校法人	90	6	12	12	8	7	11	56	62%	○
19	"	矢吹町ひかり保育園	社会福祉協議会	120	6	24	24	18	18	16	106	88%	
20	"	認定こども園 ポプラの木	学校法人	130	9	19	30	23	21	24	126	97%	
21	棚倉町	棚倉保育園	社会福祉法人	110	12	43	41	0	0	0	96	87%	○
22	矢祭町	やまつりこども園 保育部	公立	70	3	22	28	0	0	0	53	76%	○
23	埴町	埴保育園	公立	80	1	12	12	30	0	0	55	69%	○
24	鮫川村	きめがわこどもセンター	公立	130	6	1	10	22	8	18	65	50%	○
計				2,379	119	454	501	329	303	310	2,016	85%	9

※認定こども園については1号認定児を含む。

表13 認可外保育施設の状況

(令和2年3月31日現在)

市町村名	施設区分		施設数	入所児童数						備考
				0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上	学童児	
白河市	事業所内	院内	2	14	16	10	8	5	0	53
		その他	1	3	3	4	0	0	0	10
	その他		1	0	1	1	1	2	2	7
	計		4	17	20	15	9	7	2	70
西郷村	事業所内	院内	1	8	3	3	0	0	0	14
		その他	1	8	5	1	0	0	0	14
	その他		1	1	7	1	4	13	0	26
	計		3	17	15	5	4	13	0	54
矢吹町	事業所内	院内	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	1	3	1	0	0	0	5
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0
	計		1	1	3	1	0	0	0	5
棚倉町	事業所内	院内	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	1	2	0	0	0	3
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0
	計		1	0	1	2	0	0	0	3
塙町	事業所内	院内	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他		1	2	10	13	12	6	0	43
	計		1	2	10	13	12	6	0	43
合計	事業所内	院内	3	22	19	13	8	5	0	67
		その他	4	12	12	8	0	0	0	32
	その他		3	3	18	15	17	21	2	76
	計		10	37	49	36	25	26	2	175
平成30年度	事業所内	院内	3	19	16	20	7	20	5	87
		その他	4	9	9	7	3	0	0	28
	その他		4	8	16	13	25	7	7	76
	計		11	36	41	40	35	27	12	191
平成29年度	事業所内	院内	3	8	25	24	16	10	16	99
		その他	3	1	8	8	5	0	0	22
	その他		4	10	15	28	17	2	8	80
	計		10	19	48	60	38	12	24	201
平成28年度	事業所内	院内	4	12	27	28	16	10	16	92
		その他	5	1	12	11	5	0	0	21
	その他		6	19	30	53	32	2	13	92
	計		15	32	69	92	53	12	29	205
平成27年度	事業所内	院内	4	11	24	19	13	23	2	78
		その他	3	0	6	9	6	0	0	22
	その他		6	5	24	19	28	13	3	100
	計		13	16	54	47	47	36	5	200
平成24年度	事業所内	院内	4	3	19	15	24	15	2	79
		その他	3	0	8	11	3	0	0	23
	その他		7	8	20	27	32	8	5	82
	計		14	11	47	53	59	23	7	184
平成25年度	事業所内	院内	3	0	13	16	15	31	4	64
		その他	3	6	7	7	3	0	0	18
	その他		6	6	26	21	14	12	3	86
	計		12	12	46	44	32	43	7	168
平成24年度	事業所内	院内	3	4	14	11	11	22	2	64
		その他	3	0	4	6	5	3	0	12
	その他		6	16	16	20	23	9	2	80
	計		12	20	34	37	39	34	4	156

(出典：認可外保育施設の現況調査外)

表14 児童福祉施設への施設入所人員

(令和元年度)

施設種別 区分	児 養 護	児 自 立 支 援	児 童 自 立 生 活 助 援	乳 児 院	情 緒 障 害 児 短 期 治 療	里 親	フ ァ ミ リ ー ホ ー ム	知 障 が い 児	的 障 が い 児	ろ う あ 児	肢 体 不 自 由 児	重 症 心 身 障 が い 児	計
前年度末 現在措置数	29	0	0	0	0	3	2	11	0	0	0	2	47
年度中 措置数	5 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (2)
年度中 措置解除数	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (0)
年度末 現在措置数	30	0	0	0	0	4	2	12	0	0	0	1	49

平成30年度	29	0	0	0	0	3	2	11	0	0	0	2	47
平成29年度	24	0	1	0	0	4		13	0	0	0	2	44
平成28年度	24	0	0	0	0	6		13	0	0	0	1	44
平成27年度	26	0	0	0	0	6		14	0	0	0	1	47
平成26年度	32	0	1	1	0	5		16	0	0	0	1	56
平成25年度	32	0	0	0	0	5		19	0	1	0	1	58
平成24年度	26	1	—	1	1	7		17	0	1	0	1	55
平成23年度	31	0	—	1	—	7		13	0	2	0	1	55
平成22年度	31	2	—	2	—	8		18	1	2	0	2	66

・ ( )内の数値は、施設間の移動又は保健福祉事務所間のケース移管による措置変更のもので、外数表示。

・ 障がい児施設に係る年度中措置解除数には、契約制度移行に伴う施設入所措置解除及び児童福祉法の一部改正による18歳以上の障がい児施設入所者の県から市町村への実施主体変更のものを含む。

表15 児童福祉施設別入所状況

(令和2年4月1日現在)

施設区分	市町村名 白河市	西 白 河 郡				東 白 川 郡				その他	合計
		西郷村	泉崎村	中島村	矢吹町	棚倉町	矢祭町	埴町	鮫川村		
児 童 養 護 施 設											
いわき育英舎											0
アイリス学園								3			3
青葉学園	1				2						3
福島愛育園		1		2	1			1			5
白河学園	7	1									8
堀川愛生園										2	2
会津児童園		3								2	5
相馬愛育園											0
森の風学園			3			1					4
小 計	8	5	3	2	3	1	0	4	0	4	30
児 童 自 立 支 援 施 設											
福島学園											0
児童自立生活援助事業(自立援助ホーム)											
NEXT福島											0
乳 児 院											
若松乳児院											0
フ ァ ミ リ ー ホ ー ム											
まる家	2										2
里 親 委 託	1	1	1			1					4
福 祉 型 障 害 児 入 所 施 設											
(旧)知的障害児施設											
安積愛育園											0
大笹生学園										1	1
桜が丘学園	2	1						1		1	5
白河めぐみ学園	3				1						4
白河こひつじ学園		1								1	2
福島県ばんだい荘わかば											0
原町学園											0
東洋学園児童部											0
小 計	5	2	0	0	1	0	0	1	0	3	12
(旧)ろうあ児施設											
福島光風学園											0
医 療 型 障 害 児 入 所 施 設											
(旧)肢体不自由児施設											
福島県総合療育センター											0
福島整肢療護園											0
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(旧)重症心身障害児施設											
福島整肢療護園											0
国立病院機構福島病院	1										1
国立病院機構いわき病院											0
小 計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	17	8	4	2	4	2	0	5	0	7	49

平成31年度	15	6	4	2	4	2	0	7	0	5	45
平成30年度	17	10	4	2	6	2	0	0	0	4	45
平成29年度	14	11	1	2	5	4	0	0	0	4	41
平成28年度	16	12	1	3	5	4	0	0	0	5	46
平成27年度	18	16	1	4	9	3	0	0	0	5	56
平成26年度	19	17	1	4	13	1	0	0	0	4	59

表16 母子世帯及び父子世帯数

(単位:世帯数)

	年度	白 河 市	西 白 河 郡				東 白 川 郡				合計	備考
			西 郷 村	泉 崎 村	中 島 村	矢 吹 町	棚 倉 町	矢 祭 町	埴 町	鮫 川 村		
母子世帯	元年度	617	208	68	67	163	120	40	66	27	1,376	(令和元年6月1日現在)
	30年度	647	197	66	77	175	146	38	81	26	1,453	(平成30年6月1日現在)
	29年度	657	295	79	55	186	160	35	78	24	1,569	(平成29年6月1日現在)
	28年度	701	210	78	60	173	164	31	84	25	1,526	(平成28年6月1日現在)
	27年度	761	219	76	53	217	162	32	83	30	1,633	(平成27年6月1日現在)
	26年度	714	208	71	60	208	163	32	78	23	1,557	(平成26年6月1日現在)
	25年度	686	205	64	65	216	167	48	80	26	1,557	(平成25年6月1日現在)
父子世帯	元年度	63	25	9	2	12	12	11	9	14	157	(令和元年6月1日現在)
	30年度	64	27	8	10	13	19	11	12	15	179	(平成30年6月1日現在)
	29年度	60	33	6	10	18	23	11	10	19	190	(平成29年6月1日現在)
	28年度	64	23	6	13	23	25	7	13	21	195	(平成28年6月1日現在)
	27年度	81	25	8	12	24	21	6	28	27	232	(平成27年6月1日現在)
	26年度	76	28	12	25	23	22	5	27	24	242	(平成26年6月1日現在)
	25年度	70	23	9	22	21	23	18	24	27	237	(平成25年6月1日現在)

(出典:ひとり親世帯数等調査外)



表17 母子相談受付状況

(単位:件)

	生活一般			児 童			生活援護			そ の 他			合 計		
	西白	東白	計	西白	東白	計	西白	東白	計	西白	東白	計	西白	東白	計
12年度	194	156	350	18	4	22	164	62	226	0	0	0	376	222	598
13年度	179	109	288	17	9	26	142	62	204	0	0	0	338	180	518
14年度	175	124	299	16	3	19	128	44	172	0	0	0	319	171	490
15年度	135	196	331	11	10	21	103	26	129	0	0	0	249	232	481
16年度	236	162	398	32	11	43	195	40	235	0	1	1	463	214	677
17年度	138	225	363	26	21	47	261	90	351	0	0	0	425	336	761
18年度	110	288	398	36	7	43	275	183	458	0	0	0	421	478	899
19年度	107	219	326	40	10	50	267	276	543	1	0	1	415	505	920
20年度	82	174	256	7	6	13	186	254	440	9	0	9	284	434	718
21年度	12	167	179	0	2	2	444	273	717	0	0	0	456	442	898
22年度	156	157	313	2	2	4	297	212	509	0	0	0	455	371	826
23年度	308	158	466	72	4	76	342	246	588	0	0	0	722	408	1,130
24年度	11	156	167	1	3	4	261	282	543	0	0	0	273	441	714
25年度	86	146	232	1	0	1	331	247	578	0	0	0	418	393	811
26年度	82	128	210	0	6	6	429	271	700	0	0	0	511	405	916
27年度	100	39	139	25	0	25	471	200	671	0	0	0	596	239	835
28年度	191	48	239	57	1	58	558	198	756	0	0	0	806	247	1,053
29年度	200	70	270	56	7	63	550	130	680	3	1	4	809	208	1,017
30年度	106	76	182	32	14	46	368	202	570	5	5	10	511	297	808
元年度	(2)7	(1)8	(3)15	1	(2)2	(2)3	243	78	321	0	0	0	(2)251	(3)88	(5)339

(出典:母子自立支援員相談指導結果報告書)

※(注)元年度の( )は父子相談件数で外書き。また、元年度から集計方法を変更したため件数が激減している。

表18 母子父子寡婦福祉資金貸付状況(平成31年度)

(単位:円)

	新規貸付														継続貸付					合計																				
	修学資金		就学支度資金		事業開始資金		事業継続資金		生活資金		住宅資金		技能習得資金		医療介護資金		就職支度資金		特別児童扶養資金			修業資金		小計		修学資金 修業資金		生活資金		技能習得資金		特別児童 扶養資金		小計						
	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額	件	金額				
白河市																								0	0	1	465,000									1	465,000	1	465,000	
西郷村																								0	0									0	0	0	0			
泉崎村																								0	0	2	343,200									2	343,200	2	343,200	
中島村																								0	0									0	0	0	0			
矢吹町																								0	0									0	0	0	0			
棚倉町																								0	0									0	0	0	0			
矢祭町																								0	0									0	0	0	0			
塙町																								0	0									0	0	0	0			
鮫川村																								0	0									0	0	0	0			
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	808,200	0	0	0	0	0	0	3	808,200	3	808,200

平成30年度	3	783,000	2	970,000	0	0	0	0	0	0	0	1	744,547	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2,497,547	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2,497,547
平成29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,152,000	0	0	0	0	0	0	1	1,152,000	1	1,152,000
平成28年度	1	520,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	520,000	4	3,593,000	1	492,000	0	0	0	0	5	4,085,000	6	4,605,000	
平成27年度	0	0	1	465,000	0	0	0	1	492,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	957,000	5	4,357,300	0	0	0	0	0	5	4,357,300	7	5,314,300		
平成26年度	2	749,000	1	122,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1,191,000	7	6,248,400	0	0	0	0	0	7	6,248,400	11	7,439,400		
平成25年度	4	2,252,000	2	556,660	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2,808,660	7	4,694,680	0	0	0	0	0	7	4,694,680	13	7,503,340		
平成24年度	3	1,813,600	3	890,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2,703,600	10	6,710,280	0	0	0	0	10	6,710,280	16	9,413,880			
平成23年度	3	2,076,000	1	146,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2,492,000	11	6,749,280	0	0	0	0	11	6,749,280	16	9,241,280			
平成22年度	5	1,880,640	1	293,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2,954,140	12	8,139,000	0	0	0	0	12	8,139,000	19	11,093,140			
平成21年度	7	5,210,750	2	769,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	890,000	11	6,870,550	8	5,121,000	0	0	1	600,000	9	5,721,000	20	12,591,550		

表19

## 民生委員・児童委員(RO2. 4. 1現在)

(単位:人)

	民生委員	新任	再任	男	女	主任	新任	再任	男	女	合計	新任	再任	男	女
白河市	123	39	84	75	48	20	3	17	10	10	143	42	101	85	58
西郷村	39	15	24	27	12	2	1	1	0	2	41	16	25	27	14
泉崎村	16	8	8	11	5	2	0	2	0	2	18	8	10	11	7
中島村	13	8	5	10	3	2	0	2	0	2	15	8	7	10	5
矢吹町	33	10	23	8	25	2	1	1	0	2	35	11	24	8	27
棚倉町	41	24	17	27	14	4	1	3	1	3	45	25	20	28	17
矢祭町	23	12	11	6	17	1	0	1	0	1	24	12	12	6	18
塙町	33	15	18	19	14	2	0	2	1	1	35	15	20	20	15
鮫川村	16	11	5	12	4	2	0	2	1	1	18	11	7	13	5
計	337	142	195	195	142	37	6	31	13	24	374	148	226	208	166

表20 身体障がい児者(身障手帳所持者)の状況

(令和2年4月1日現在)

市町村		身障手帳交付者数			人 口(人) (R2.4.1現在)	人 口 比 (%)
		18歳未満	18歳以上	合計		
西 白 河 郡	西 郷 村	13	623	636	20,457	3.10
	泉 崎 村	3	276	279	6,246	4.46
	中 島 村	3	203	206	4,995	4.12
	矢 吹 町	9	703	712	16,866	4.22
	計	28	1,805	1,833	48,564	3.77
東 白 川 郡	棚 倉 町	7	557	564	13,827	4.07
	矢 祭 町	4	263	267	5,657	4.71
	塙 町	3	408	411	8,549	4.80
	鮫 川 村	1	176	177	3,245	5.45
	計	15	1,404	1,419	31,278	4.53
郡 合 計		43	3,209	3,252	79,842	4.07
白 河 市		39	2,172	2,211	59,393	3.72
管 内 合 計		82	5,381	5,463	139,235	3.92
平成31年4月1日		73	5,382	5,455	140,493	3.88
平成30年4月1日		72	5,441	5,513	140,508	3.92
平成29年4月1日		72	5,443	5,515	141,867	3.88
平成28年4月1日		70	5,535	5,605	143,338	3.91
平成27年4月1日		76	6,492	6,568	144,795	4.53
平成26年4月1日		75	6,397	6,472	145,497	4.44
平成25年4月1日		72	6,287	6,359	146,857	4.33
平成24年4月1日		73	6,134	6,207	147,385	4.21
平成23年4月1日		75	6,118	6,193	149,800	4.13
平成22年4月1日		75	6,104	6,179	150,039	4.11
平成21年4月1日		81	5,978	6,059	150,931	4.01
平成20年4月1日		91	6,165	6,256	151,734	4.12
平成19年4月1日		92	6,043	6,135	152,438	4.02
平成18年4月1日		94	5,876	5,970	152,982	3.90

(出典：福島県障がい者総合福祉センター調べ)

表21 知的障がい児者(療育手帳所持者)の状況

(令和2年4月1日現在)

市町村名		判定区分									人口 (人) (R2.4.1現在)	人口比 (%)
		18歳未満			18歳以上			合計		合計		
		A	B	小計	A	B	小計	A	B			
西 白 河 郡	西郷村	18	39	57	54	88	142	72	127	199	20,457	0.97
	泉崎村	2	8	10	17	36	53	19	44	63	6,246	1.01
	中島村	2	6	8	19	28	47	21	34	55	4,995	1.10
	矢吹町	10	26	36	43	120	163	53	146	199	16,866	1.18
	計	32	79	111	133	272	405	165	351	516	48,564	1.06
東 白 川 郡	棚倉町	5	31	36	43	69	112	48	100	148	13,827	1.07
	矢祭町	3	5	8	19	34	53	22	39	61	5,657	1.08
	塙町	6	13	19	36	53	89	42	66	108	8,549	1.26
	鮫川村	3	5	8	16	24	40	19	29	48	3,245	1.48
	計	17	54	71	114	180	294	131	234	365	31,278	1.17
郡合計		49	133	182	247	452	699	296	585	881	79,842	1.10
白河市		36	120	156	178	316	494	214	436	650	59,393	1.09
管内合計		85	253	338	425	768	1,193	510	1,021	1,531	139,235	1.10
平成31年4月1日		78	242	320	418	744	1,162	496	986	1,482	140,493	1.05
平成30年4月1日		75	240	315	417	723	1,140	492	963	1,455	140,508	1.04
平成29年4月1日		75	243	318	409	690	1,099	484	933	1,417	141,867	1.00
平成28年4月1日		84	234	318	409	664	1,073	493	898	1,391	143,338	0.97
平成27年4月1日		88	210	298	400	639	1,039	488	849	1,337	144,795	0.92
平成26年4月1日		85	197	282	451	635	1,086	536	832	1,368	145,497	0.94
平成25年4月1日		93	190	283	442	608	1,050	535	798	1,333	146,857	0.91
平成24年4月1日		91	187	278	440	586	1,026	531	773	1,304	147,385	0.88
平成23年4月1日		85	177	262	435	568	1,003	520	745	1,265	149,800	0.84
平成22年4月1日		78	170	248	434	543	977	512	713	1,225	150,039	0.82
平成21年4月1日		80	155	235	419	519	938	499	674	1,173	150,931	0.78
平成20年4月1日		82	161	243	416	492	908	498	653	1,151	151,734	0.76
平成19年4月1日		89	147	236	395	480	875	484	627	1,111	152,438	0.73
平成18年4月1日		93	135	228	376	466	842	469	601	1,070	152,982	0.70

(出典：福島県障がい者総合福祉センター調べ)

表22 精神障がい者の状況

(令和2年3月31日現在)

市町村		精神保健福祉手帳所持者数				自立支援医療費 (精神通院医療)	人 口 (R2.4.1現在)	人 口 比 (手帳)
		1級	2級	3級	合計	受給者数	(人)	(%)
西 白 河 郡	西郷村	15	75	55	145	242	20,457	0.70
	泉崎村	5	18	14	37	84	6,246	0.59
	中島村	1	13	10	24	60	4,995	0.48
	矢吹町	21	86	54	161	364	16,866	0.95
	計	42	192	133	367	750	48,564	0.75
東 白 川 郡	棚倉町	5	31	32	68	169	13,827	0.49
	矢祭町	1	12	11	24	43	5,657	0.42
	塙町	3	41	27	71	155	8,549	0.83
	鮫川村	2	16	7	25	42	3,245	0.77
	計	11	100	77	188	409	31,278	0.60
郡合計		53	292	210	555	1,159	79,842	0.69
白河市		36	229	194	459	797	59,393	0.77
管内合計		89	521	404	1,014	1,956	139,235	0.72
平成31年4月1日		80	522	347	949	1,863	140,493	0.67
平成30年4月1日		85	496	318	899	1,791	140,508	0.63
平成29年4月1日		81	439	293	813	1,700	141,867	0.57
平成28年4月1日		104	536	311	951	2,185	143,338	0.66
平成27年4月1日		84	409	233	726	1,593	144,795	0.50
平成26年4月1日		81	398	198	677	1,479	145,497	0.46
平成25年4月1日		77	359	165	601	1,427	146,857	0.40
平成24年4月1日		83	317	148	548	1,401	147,385	0.37
平成23年4月1日		77	316	132	525	1,322	149,800	0.35
平成22年4月1日		75	284	97	456	1,263	150,039	0.30
平成21年4月1日		61	262	95	418	1,145	150,931	0.27

(出典：福島県精神保健福祉センター調べ)

表23 女性相談の受付状況

(令和元年度)

内 訳 経 路	来 所			訪 問			電 話			その他 (手紙等)			受付件数計		
	新規	再来	小計	新規	再来	小計	新規	再来	小計	新規	再来	小計	新規	再来	計
本 人	15	35	50	2	7	9	15	92	107	0	1	1	32	135	167
その他	4	3	7	1	3	4	24	47	71	0	0	0	29	53	82
計	19	38	57	3	10	13	39	139	178	0	1	1	61	188	249

表24 女性相談の主訴別受付状況

(令和元年度)

主 訴	人間関係					経済関係			医療関係			住居問題	その他	計
	夫等	子ども	親族	交際相手	その他	生活困窮	サラ金・借金	その他	病気	精神的問題	その他			
受付件数	114	8	5	0	48	21	3	7	0	15	4	24	0	249
%	45.8	3.2	2.0	0.0	19.3	8.4	1.2	2.8	0.0	6.0	1.6	9.6	0.0	100.0

表25 配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数等(令和元年度)

相談の形態	件数	加害者からの行為の形態					
		配偶者からの暴力等			元配偶者からの暴力等	交際相手からの暴力	ストーカー行為
		婚姻届の状況					
		届出あり	届出なし	届出有無不明			
来 所	28	25	0	0	3	0	0
電 話	33	32	0	0	1	0	0
訪問・その他	4	4	0	0	0	0	0
計	65	61	0	0	4	0	0

【一時保護委託等の実績件数】

一時保護委託	0
保護命令申立の支援	3
住民基本台帳事務における支援措置申出の支援	4
配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書の発行	0

(注)本表は、県南保健福祉事務所が配偶者暴力相談支援センターとして受け付けた相談件数で、内容にDVを含むものの延件数です。

表26 「福島県やさしさマーク」施設

番号	分類	建築物等の名称	市町村	交付年度
1	医療施設	白河病院	白河市	平成5年度
2	医療施設	新白河中央病院	白河市	平成5年度
3	官公庁舎	福島県白河合同庁舎	白河市	平成5年度
4	医療施設	渡部病院	矢吹町	平成5年度
5	社会福祉施設等	福島県社会福祉事業団太陽の国病院	西郷村	平成6年度
6	文化施設	矢吹町図書館	矢吹町	平成6年度
7	官公庁舎	白河社会保険事務所	白河市	平成9年度
8	学校等	西郷村第二保育所	西郷村	平成10年度
9	物品販売業	コメリH&G東村店	白河市	平成10年度
10	社会福祉施設等	特別養護老人ホーム小峰苑	白河市	平成11年度
11	物品販売業	メガステージ白河ダイユーエイト棟	白河市	平成11年度
12	物品販売業	メガステージ白河酒・やまや	白河市	平成11年度
13	物品販売業	メガステージ白河べる（ベビーチャイルドミルク）棟	白河市	平成11年度
14	物品販売業	メガステージ白河ユニクロ棟	白河市	平成11年度
15	物品販売業	メガステージ白河ヨークベニマル棟	白河市	平成11年度
16	物品販売業	メガステージ白河庄子デンキ（電撃倉庫）棟	白河市	平成11年度
17	物品販売業	メガステージ白河地元館（else）館	白河市	平成11年度
18	物品販売業	メガステージ白河マツモトキヨシ棟	白河市	平成11年度
19	医療施設	きたむら整形外科	矢吹町	平成12年度
20	理容・美容所	コワフュール ドゥー ブレッジ	白河市	平成12年度
21	社会福祉施設等	白河市表郷福祉センター	白河市	平成12年度
22	文化施設	福島県文化財センター白河館	白河市	平成13年度
23	医療施設	だいらく歯科クリニック	白河市	平成13年度
24	社会福祉施設等	総合社会福祉施設太陽の国 太陽の国管理センター	西郷村	平成13年度
25	社会福祉施設等	総合社会福祉施設太陽の国 太陽の国厚生センター	西郷村	平成13年度
26	社会福祉施設等	総合社会福祉施設太陽の国 福島県勤労身体障害者体育館	西郷村	平成13年度
27	薬局	（有）隆矢薬局（あゆみ調剤薬局）	白河市	平成14年度
28	医療施設	らくらく医院	白河市	平成14年度
29	医療施設	福島県立矢吹病院	矢吹町	平成14年度
30	官公庁舎	福島県県南保健福祉事務所	白河市	平成14年度
31	社会福祉施設等	介護老人福祉施設寿恵園	棚倉町	平成15年度
32	官公庁舎	白河警察署	白河市	平成19年度
33	公衆便所	南湖公園菅生館駐車場トイレ	白河市	平成22年度
34	物品販売業	ヨークベニマル白河横町店	白河市	平成23年度
35	官公庁舎	棚倉警察署	棚倉町	平成25年度
36	物品販売業	ダイユーエイト白河店	白河市	平成29年度

(出典：福島県やさしさマーク交付先一覧表)



表27 環境衛生関係施設の年間監視指導状況(平成31年4月1日～令和2年3月31日までを集計したもの)

4月～3月31日分集計値

R2.3.31 現在

分類	番号	業種	区分	行政処分												
				① R2.3.31 現在 総施設数	② 許可認可 届出受理 施設数	③ 許可認可 前及び 届出時の 調査指導 延件数	④ 監視指導 延件数	⑤ 無届出 施設の 調査指導 延件数	⑥ ③+④+⑤ 総監視 件数	⑦ ⑥÷① 1施設 当たり 監視率%	⑧ ④のうち 苦情処理 による 監視件数	⑨ 違反 件数	⑩ 説諭 処分	⑪ 営業 停止 処分	⑫ 改善 命令	
営業 関係 施設	1	ホテル		22			12		12	54.5						
	2	旅館		72	1	1	23		24	33.3						
	3	簡易宿所		33	3	3	6		9	27.3						
	4	下宿		1					0							
	5	常設興行場		6			6		6	100.0						
	6	その他の興行場		1	1	1		1	2	200.0		1	1			
	7	普通公衆浴場														
	8	その他の公衆浴場		45			23		23	51.1	1					
	9	理容所		198			42		42	21.2						
	10	美容所		308	12	12	46		58	18.8						
	11	クリーニング所(一般)		20			2		2	10.0						
	12	取次所		52	2	2	2		4	7.7						
A 小計				758	19	19	162	1	182	24.0	1	1	1	0	0	
飲料 水 施設	13	水道用水供給事業		1			1		1	100.0						
	14	上水道		6			6		6	100.0						
	15	簡易水道		5			5		5	100.0						
	16	専用水道		19			18		18	94.7						
	17	簡易専用水道		86			15		15	17.4						
	18	準簡易専用水道		49			3		3	6.1						
	19	給水施設		16			16		16	100.0						
B 小計				182	0	0	64		64	35.2	0	0	0	0	0	
その 他 の 施 設	20	火葬場		2					0							許可の 内訳
	21	墓地・納骨堂		431	1	1	1		2	0.5						
	22	特定建築物		45			34		34	75.6						
	23	ビル管理業登録業者		8			8		8	100.0						
	24	コインオペレーションクリーニング		33	3	3	1		4	12.1						
	25	無店舗取次店		1					0							
	26	一般プール		15			15		15	100.0						
27	その他の水浴場															
C 小計				535	4	4	59		63	11.8	0	0	0	0	0	
その 他	28	井戸等							0							試買施設 1/28 2施設 11点
	29	家庭用品関係				2		2								
	30	そ 族 こん 虫						0								
	31	住環境関係						0								
32	その他施設							0							—	
D 小計							2		2		0	0	0	0		
合計				1475	23	23	287	1	311	21.1	1	1	1	0	0	

(=A+B+C)

(=A+B+C)

廃止施設
0
0
0
0
0
0
1

種別	区分	新規	変更	廃止
	火葬場			
	墓地	1		
	納骨堂			

表28 水道施設等の状況

令和2年3月31日現在 単位：か所

市町村	用水供給事業	上水道	簡易水道	専用水道	簡易専用水道	準簡易専用水道	給水施設	計
白河市		(1)		(7)	(53)	(63)	(4)	(128)
西郷村	1	1		10	30	17	3	62
泉崎村		1			9	5		15
中島村			1		3	1		5
矢吹町		1		3	16	5	3	28
小計	1	3(1)	1	13(7)	58(53)	28(63)	6(4)	110(128)
棚倉町		1	3	3	18	8	2	35
矢祭町		1			4	5	1	11
埴町		1		3	5	5	7	21
鮫川村			1		1	3		5
小計	0	3	4	6	28	21	10	72
合計	1	6(1)	5	19(7)	86(53)	49(63)	16(4)	182(128)
延監視件数	1	6	5	18	15	3	16	64

※( )は白河市上水道は厚生労働省管轄のため、白河市専用水道、簡易専用水道、準簡易専用水道及び給水施設は白河市に権限移譲のため対象外

表29 食品関係営業許可施設

令和2年3月31日現在

	営業施設数	監視件数	営業許可件数		廃業施設数	違反件数	処分件数							告発	処分以外の措置件数	指導票発行数	除去件数	
			新規	継続			許可取消	営業禁止	営業停止	改善命令	廃棄命令	回収命令	その他				検体数	不適件数
飲食店営業	一般食堂・レストラン等	827	216	48	98	67	1			1								
	仕出し屋・弁当屋	118	36	4	9	9												
	旅館	71	29	2	12	4												
	その他	425	543	51	40	50												
	臨時営業（再掲）	26	26	26														
（小計）	1,441	824	105	159	130													
菓子製造業	251	249	28	24	29													10
臨時営業（再掲）	11	11	11															
乳処理業	1	3		1														4
特別乳さく取処理業																		
乳製品製造業	4	6																
集乳業	1	1		1														
魚介類販売業	193	54	7	23	12													4
魚介類せり売り営業	1	5																2
魚肉ねり製品製造業																		
食品の冷凍又は冷蔵業	4	4																4
かん詰又はびん詰食品製造業	40	11	2	3	4													
喫茶店営業	296	76	18	24	34													
臨時営業（再掲）																		
あん類製造業	7	3	1	1	1													
アイスクリーム類製造業	21	12	1	4	1													4
乳類販売業	327	63	20	28	27	1						1						
臨時営業（再掲）	2	2	2															
食肉処理業	8	2	1		1													
食肉販売業	210	56	11	21	15													1
食肉製品製造業	5	7																7
乳酸菌飲料製造業																		
食用油脂製造業	6	2																
マーカリン又はショートニング製造業																		
みそ製造業	27	2		2														
醤油製造業	2	1		1														
ソース類製造業	6	5	1	1	2													
酒類製造業	8	3		1														
豆腐製造業	11	5	2		3													
納豆製造業	5	3	1	2	1													
めん類製造業	46	8	2	3		1						1						5
そうざい製造業	94	23	2	12	5													
添加物製造業	1																	
清涼飲料水製造業	12	10		2														5
氷雪製造業																		
氷雪販売業	2																	
合計	3,030	1,438	202	313	265	3			1			2						46

表30 食品関係営業許可不要施設

令和2年3月31日現在

	施設数	監視件数	違反件数	処分件数						告発	処分以外の措置件数	指導票発行数	収去件数	
				営業禁止	営業停止	改善命令	廃棄命令	回収命令	その他				検体数	不適検体数
集団給食施設	学 校	24	5											
	病 院 ・ 診 療 所	6	6											
	事 業 所	1												
	そ の 他 ( 保 育 所 等 )	57	12											
	( 小 計 )	88	23											
乳 さ く 取 業	63													
食品製造業	漬 物 製 造 業	201	3										5	
	野 菜 類 ( 漬 物 を 除 く ) 加 工 業	43	3											
	魚 介 類 加 工 業		1											
	こ ん に や く 製 造 業	9	1											
	そ の 他	110	11										11	
( 小 計 )	363	19										16		
野 菜 果 物 販 売 業	305	36											7	
そ う ざ い 販 売 業	205	36												
菓 子 ( パ ン を 含 む ) 販 売 業	1,090	51												
食 品 販 売 業 ( 上 記 以 外 )	1,170	53											2	
添加物(法第7条第1項の規定により規格が定められたものを除く)の製造業														
添 加 物 の 販 売 業	103	13												
水 雪 採 取 業														
器 具 ・ 容 器 包 装 ・ お も ち ゃ の 製 造 業														
器 具 ・ 容 器 包 装 ・ お も ち ゃ の 販 売 業	162	88												
合 計	3,549	319											25	

表31 食品収去検査結果

令和2年3月31日現在

食 品 種 別	検査した 収去検体 数 (実数)	不良 検体数 (実数)	不 良 理 由 (延 べ 数)				
			大腸菌群	異 物	添 加 物 使用基準	法 定 外 添 加 物	その他
魚 介 類	6						
冷 凍 食 品	無加熱摂取冷凍食品						
	凍結前加熱加熱後摂取冷凍食品	1					
	凍結前未加熱加熱後摂取冷凍食品	3					
魚介類加工品（缶詰・瓶詰除く）							
肉卵類及びその加工品（缶詰・瓶詰除く）	9						
乳及び乳製品	4						
アイスクリーム類・氷菓	4						
穀類及びその加工品（缶詰・瓶詰除く）	11						
野菜類・果物及びその加工品（缶詰・瓶詰除く）	17						
菓子類	10						
清涼飲料水	5						
酒精飲料							
氷雪							
水							
かん詰びん詰食品							
その他の食品	1						
添加物							
器具・容器包装・おもちゃ							
計	71						
30年度末	633	0					0
29年度末	643	1					1
28年度末	880	0					
27年度末	926	0					
26年度末	809	1	1				
25年度末	892	1					1
24年度末	924	1					
23年度末	132	0					



## 所在地

### ○県南保健福祉事務所

〒961-0074 福島県白河市郭内127番地  
電話 市外局番 (0248)

総務企画部	
◇総務企画課	22-5441 22-5447

健康福祉部	
◇保健福祉課	22-5649
高齢者支援チーム	22-5478
児童家庭支援チーム	22-5647
県中児童相談所白河相談室	22-5648
障がい者支援チーム	22-5649
◇生活保護課	22-5483
◇健康増進課	22-5443

生活衛生部	
◇医療薬事課	22-5479
医事薬事チーム	22-5479
感染症予防チーム	22-6405
◇衛生推進課	22-5486
環境衛生チーム	22-5486
食品衛生チーム	22-5487

### F A X

総務企画部・健康福祉部 22-5451  
生活衛生部 23-1252

### ホームページアドレス

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21130a/>

### Eメールアドレス

kennan.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp



### ○東白川福祉相談コーナー

〒963-6131 福島県東白川郡棚倉町大字関口字上志宝50番地1  
福島県棚倉合同庁舎内  
電話・FAX (0247) 33-2225

